

**藤井寺市地域福祉に関するアンケート調査
調査結果報告書**

藤井寺市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収状況	1
4. 報告書を見る際の注意事項	1
II 市民アンケート調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 地域や福祉に関する行動について	5
3. 生活課題や福祉について	20
4. 地域福祉にかかわる機関や団体について	35
5. 自由記述	49
III 福祉関係者アンケート調査結果	50
1. 回答者の属性、活動団体について	50
2. 地域や福祉に関する意識について	54
3. 地域や福祉に関する行動について	59
4. 地域力について	63
5. 行政や社会福祉協議会、福祉事業者などの地域福祉を支えるしくみについて	66
6. 自由記述	73
IV 調査票（市民アンケート）	75
V 調査票（福祉関係者アンケート）	87

I 調査概要

1. 調査の目的

令和2年度で計画期間が終了となる「第3期藤井寺市地域福祉計画」の見直しと、更なる地域福祉の推進に向けた「第4期藤井寺市地域福祉計画」の策定にあたり、市民の地域生活における課題や地域福祉に対する意識、福祉関係者の活動状況や課題等を把握し、計画の基礎資料とするために実施した。

2. 調査の設計

【市民アンケート】

- ・調査対象：藤井寺市在住の18歳以上の男女 2,500人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和2年3月7日～令和2年3月20日

【福祉関係者アンケート】

- ・調査対象：藤井寺市の福祉関係者（社協職員・区長・福祉委員・民生委員児童委員・社協に登録しているボランティア・PTA） 500人
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和2年3月7日～令和2年3月20日

3. 回収状況

	対象者数	有効回収数	有効回収率
市民アンケート	2,500人	1,039件	41.6%
福祉関係者アンケート	500人	343件	68.6%

4. 報告書を見る際の注意事項

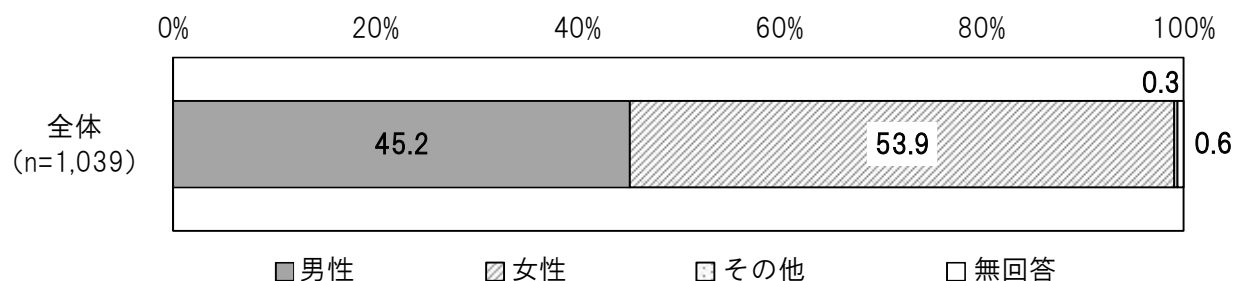
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 1つの質問に2つ以上回答できる複数回答可能の設問については、内訳の合計が100.0%を越える場合がある。
- 小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。
- サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。

Ⅱ 市民アンケート調査結果

1. 回答者の属性

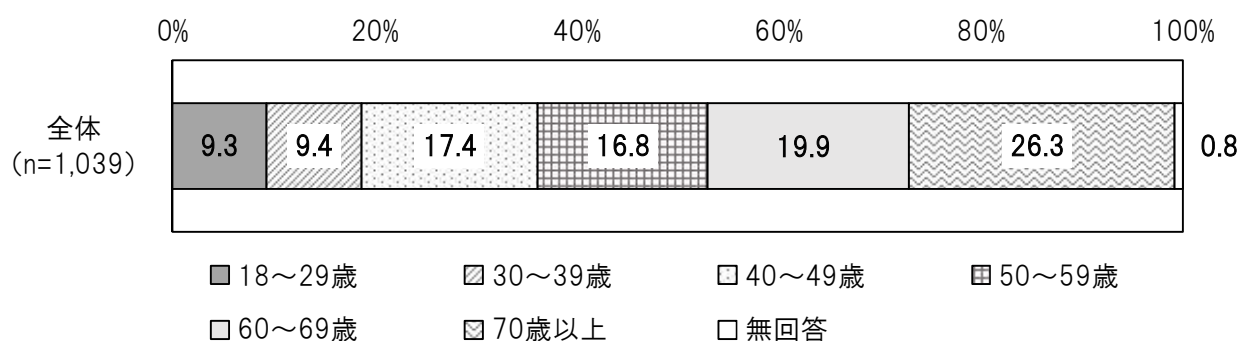
(1) 性別

・性別は「男性」が45.2%、「女性」が53.9%となっている。



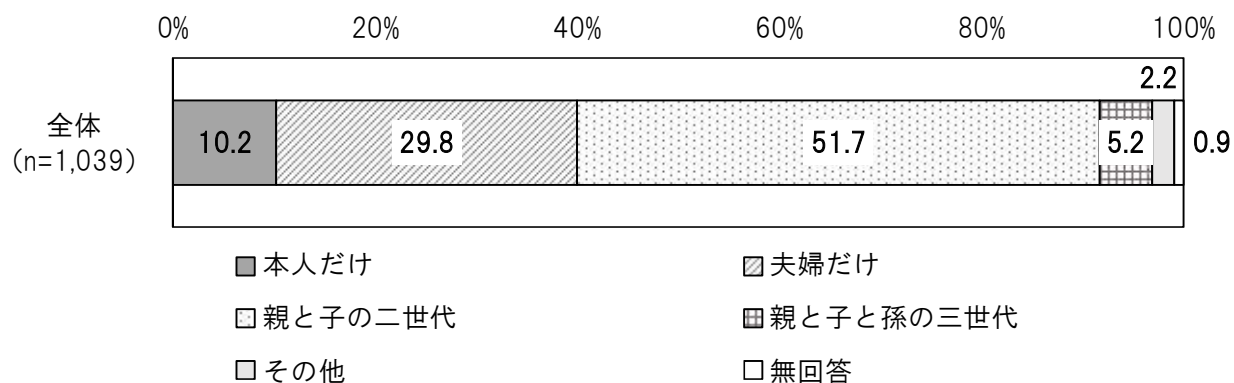
(2) 年齢

・年齢は「70 歳以上」が 26.3%と2割以上を占め最も高く、次いで「60～69 歳」(19.9%)、「40～49 歳」(17.4%) となっている。



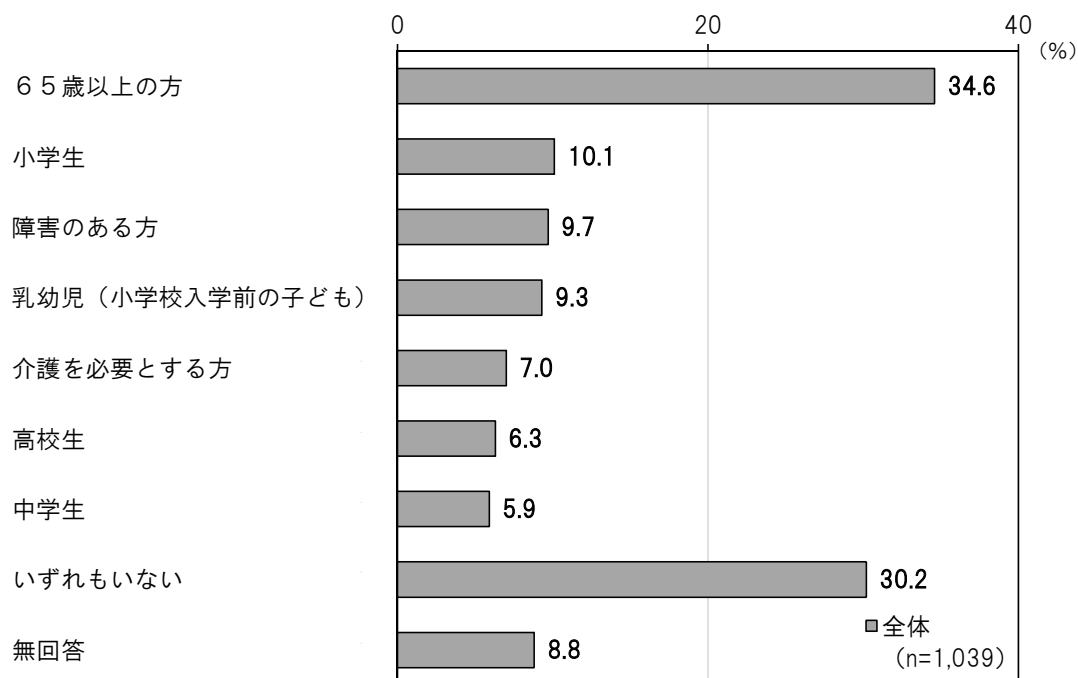
(3) 家族構成

・家族構成は「親と子の二世帯」が51.7%と半数以上を占め最も高く、次いで「夫婦だけ」(29.8%)、「本人だけ」(10.2%) となっている。



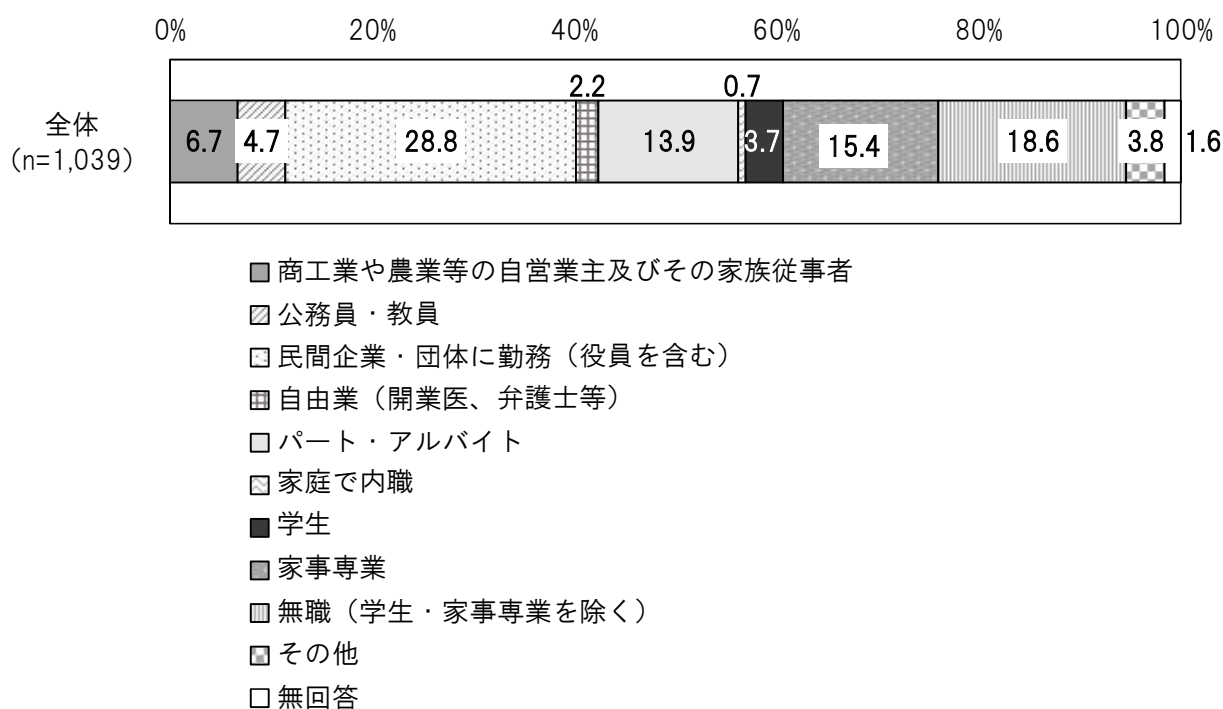
(4) 同居家族の中にいる人（回答者自身も含む）

- ・同居家族の中にいる人については、「いずれもない」を除き、「65 歳以上の方」が 34.6%と3割以上を占め最も高く、次いで「小学生」（10.1%）、「障害のある方」（9.7%）となっている。



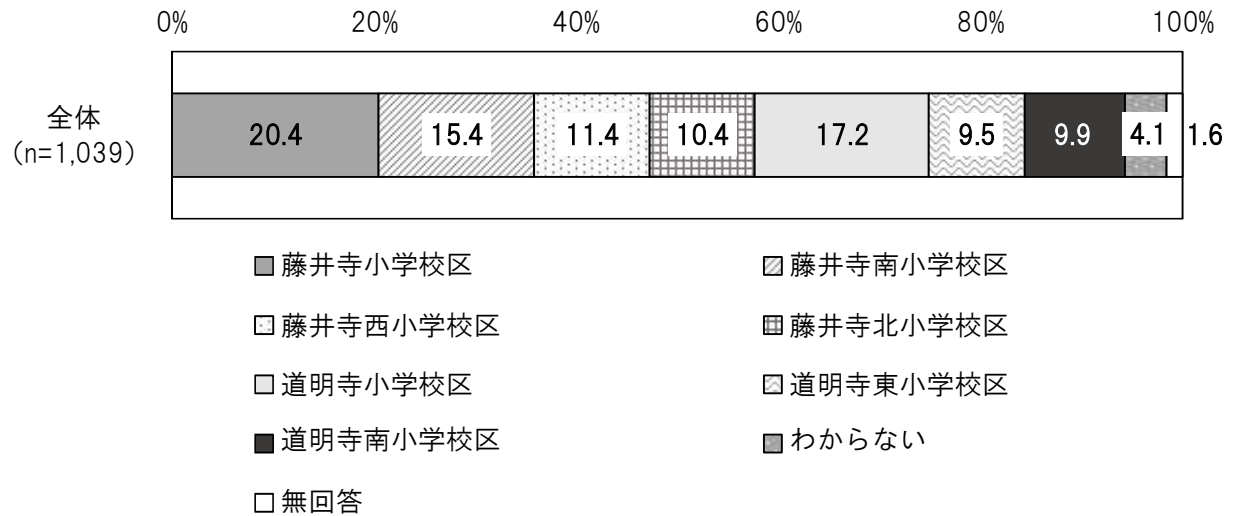
(5) 職業

- ・職業については、「民間企業・団体に勤務」が 28.8%と3割近くを占め最も高く、次いで「無職」（18.6%）、「家事専業」（15.4%）となっている。



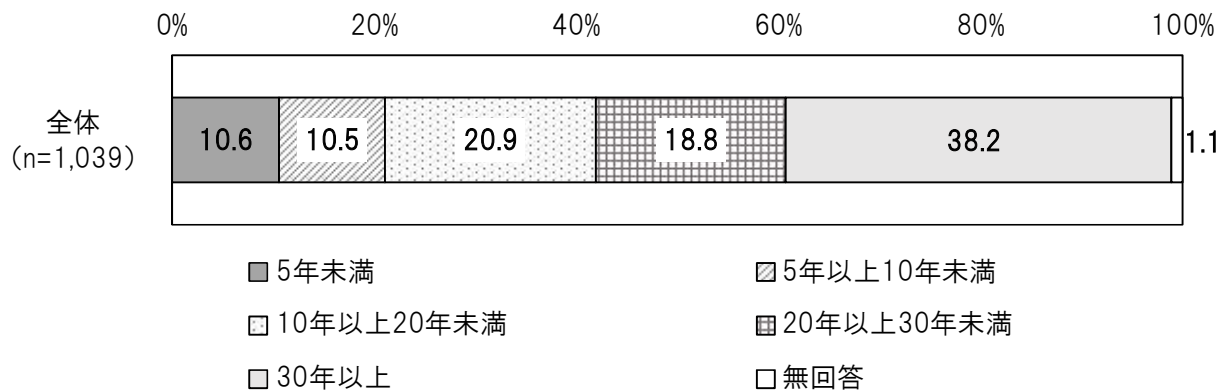
(6) 居住地区（小学校区）

- ・居住地区については、「藤井寺小学校区」が20.4%と2割以上を占め最も高く、次いで「道明寺小学校区」（17.2%）、「藤井寺南小学校区」（15.4%）となっている。



(7) 現在の小学校区での居住年数

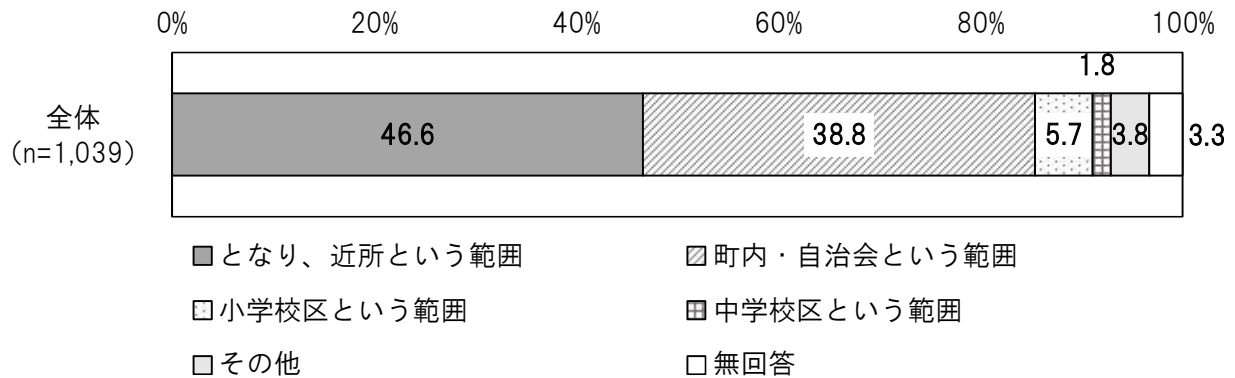
- ・現在の小学校区での居住年数については、「30 年以上」が 38.2%と4割近くを占め最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」（20.9%）、「20 年以上 30 年未満」（18.8%）となっている。



2. 地域や福祉に関する行動について

(1) 支え合い・助け合いのできる「地域」の範囲

- 支え合い・助け合いのできる「地域」の範囲は、「となり、近所という範囲」が46.6%と4割以上を占め最も高く、次いで「町内・自治会という範囲」(38.8%)となっている。



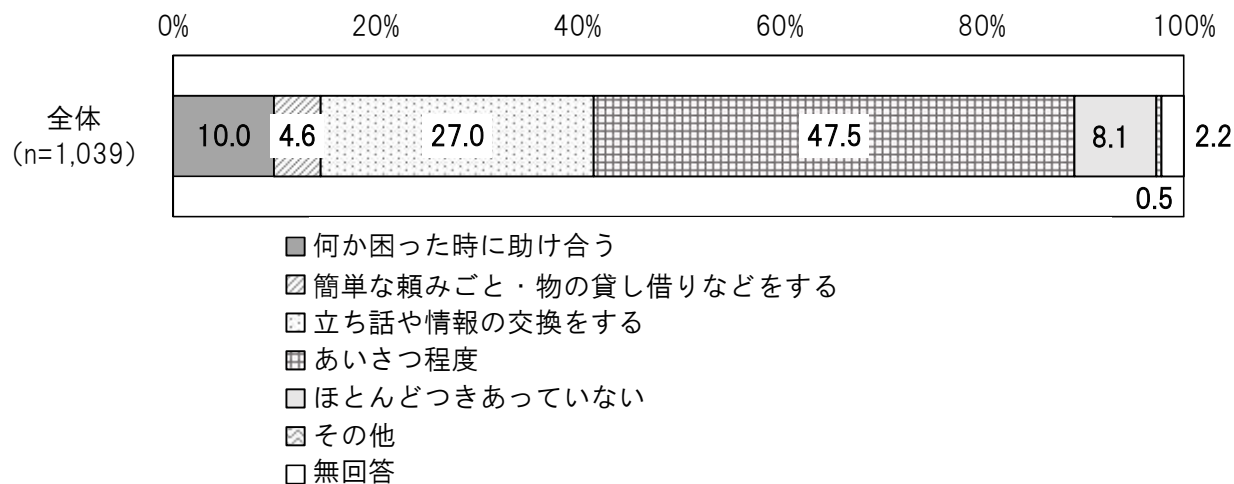
- 年代別にみると、60～69 歳で「町内・自治会という範囲」が最も高くなっている。また、30～49 歳で「小学校区という範囲」が1 割以上を占めやや高くなっている。
- 地区別にみると、藤井寺西小学校区で「町内・自治会という範囲」が最も高くなっている。また、道明寺南小学校区で「となり、近所という範囲」がやや高くなっている。

	回答者数 (人)	となり、近所という範囲	町内・自治会という範囲	小学校区という範囲	中学校区という範囲	その他	無回答
18～29歳	97	49.5	36.1	5.2	5.2	2.1	2.1
30～39歳	98	43.9	31.6	16.3	2.0	4.1	2.0
40～49歳	181	44.2	35.4	11.0	1.7	5.0	2.8
50～59歳	175	44.6	39.4	4.6	2.9	6.3	2.3
60～69歳	207	42.0	46.9	4.3	1.4	4.3	1.0
70歳以上	273	52.7	38.5	0.4	0.4	1.1	7.0
藤井寺小学校区	212	45.8	39.2	3.8	1.4	4.2	5.7
藤井寺南小学校区	160	43.8	41.9	5.0	1.9	5.6	1.9
藤井寺西小学校区	118	34.7	47.5	9.3	0.8	4.2	3.4
藤井寺北小学校区	108	43.5	43.5	5.6	0.9	2.8	3.7
道明寺小学校区	179	50.8	36.3	4.5	2.8	4.5	1.1
道明寺東小学校区	99	46.5	41.4	6.1	4.0	1.0	1.0
道明寺南小学校区	103	56.3	28.2	9.7	1.9	1.9	1.9

(2) 近所の人とのつきあいについて

① 近所づきあいの程度

- ・近所づきあいの程度については、「あいさつ程度」が47.5%と最も高く、次いで「立ち話や情報の交換をする」(27.0%)となっている。

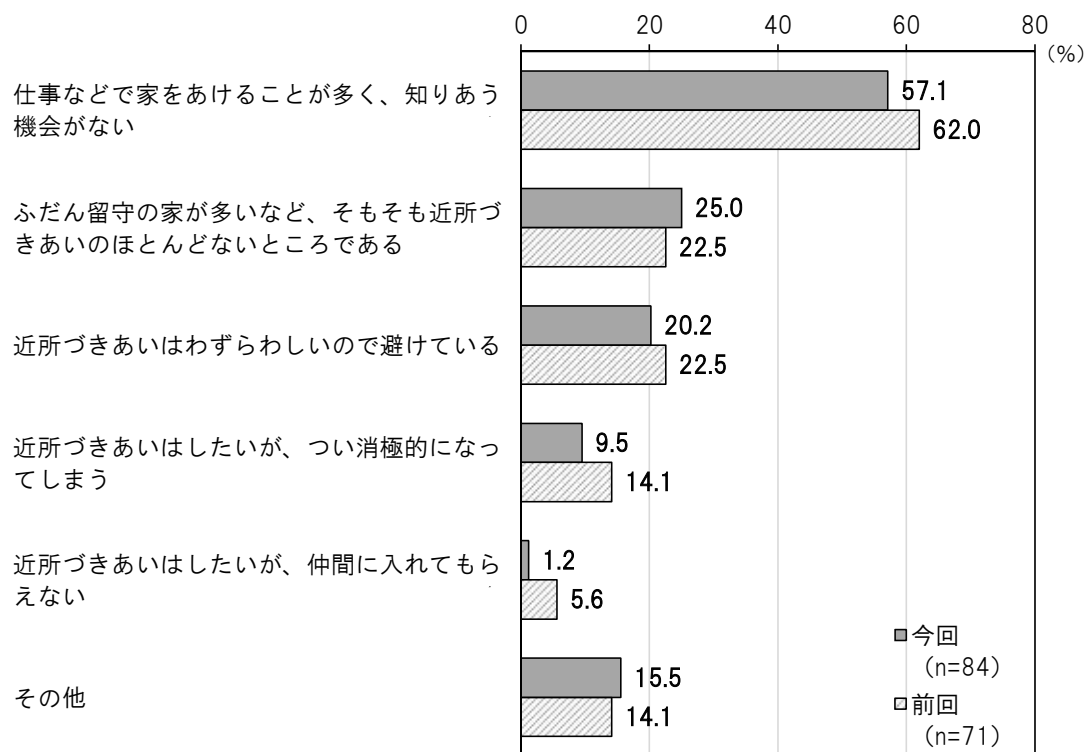


- ・年代別にみると、年代が下がるにつれ「あいさつ程度」が高くなる傾向にある。一方で、概ね、年代が上がるにつれ「立ち話や情報の交換をする」が高くなる傾向にある。また、70歳以上で「何か困った時に助け合う」が1割以上を占め、やや高くなっている。
- ・地区別にみると、道明寺小学校区で「何か困った時に助け合う」がやや低くなっている。

	回答者数(人)	う何か困った時に助け合	簡単な頼みごと・物の貸し借りなどをする	立ち話や情報の交換をする	あいさつ程度	ほとんどつきあっていない	その他	無回答
18～29歳	97	3.1	1.0	12.4	73.2	8.2	-	2.1
30～39歳	98	6.1	2.0	14.3	58.2	16.3	1.0	2.0
40～49歳	181	5.0	7.2	23.2	55.2	6.1	1.1	2.2
50～59歳	175	9.7	4.6	25.7	46.3	11.4	0.6	1.7
60～69歳	207	9.7	4.8	36.2	38.6	8.2	-	2.4
70歳以上	273	17.6	5.1	33.7	36.3	4.4	0.4	2.6
藤井寺小学校区	212	9.9	4.2	25.5	50.5	8.0	-	1.9
藤井寺南小学校区	160	8.8	3.8	32.5	41.9	8.1	1.3	3.8
藤井寺西小学校区	118	11.0	1.7	30.5	44.1	9.3	0.8	2.5
藤井寺北小学校区	108	12.0	8.3	23.1	48.1	5.6	0.9	1.9
道明寺小学校区	179	5.0	5.6	29.1	52.0	6.7	-	1.7
道明寺東小学校区	99	16.2	6.1	28.3	42.4	4.0	1.0	2.0
道明寺南小学校区	103	11.7	2.9	25.2	49.5	8.7	-	1.9

②あまり近所づきあいをしない理由（※①で「ほとんどつきあっていない」と回答した方のみ）

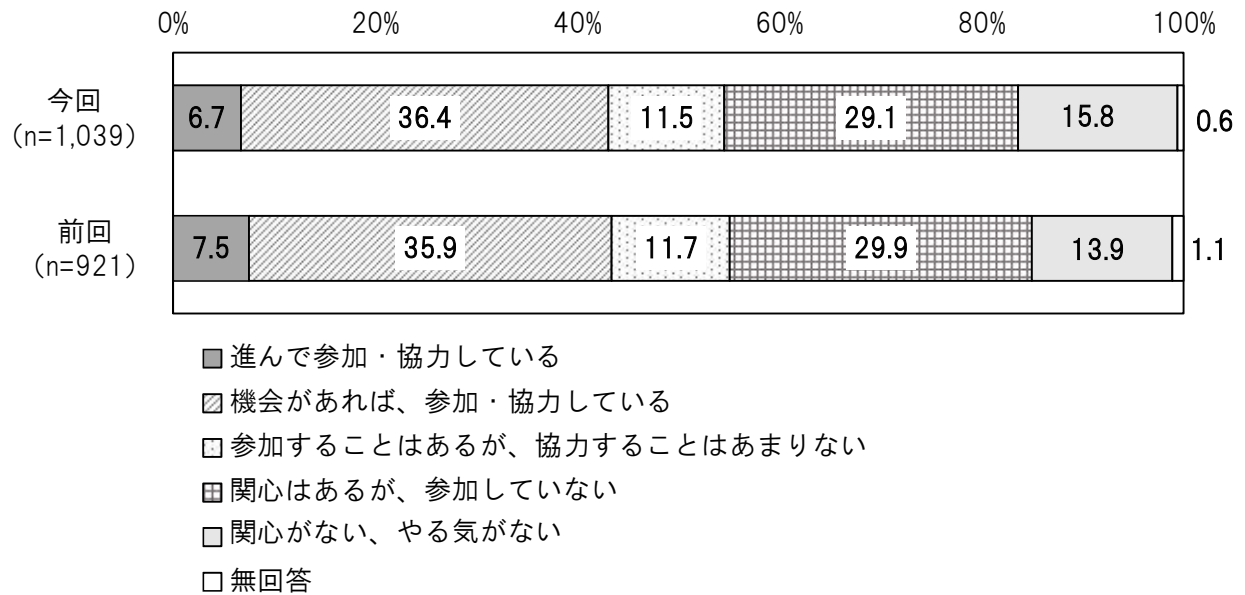
- ・近所づきあいをしない理由については「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」が57.1%と半数以上を占め最も高く、次いで「ふだん留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいのほとんどないところである」（25.0%）、「近所づきあいはわずらわしいので避けている」（20.2%）となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



(3) 地域の行事や活動等への参加状況

①地域の行事や活動への参加について

- ・地域の行事や活動への参加については「機会があれば、参加・協力している」が36.4%と3割以上を占め最も高く、次いで「関心はあるが、参加していない」(29.1%)となっている。また、「進んで参加・協力している」「機会があれば、参加・協力している」「参加することはあるが、協力することはない」を合わせた『参加している』は54.6%と半数以上を占めている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



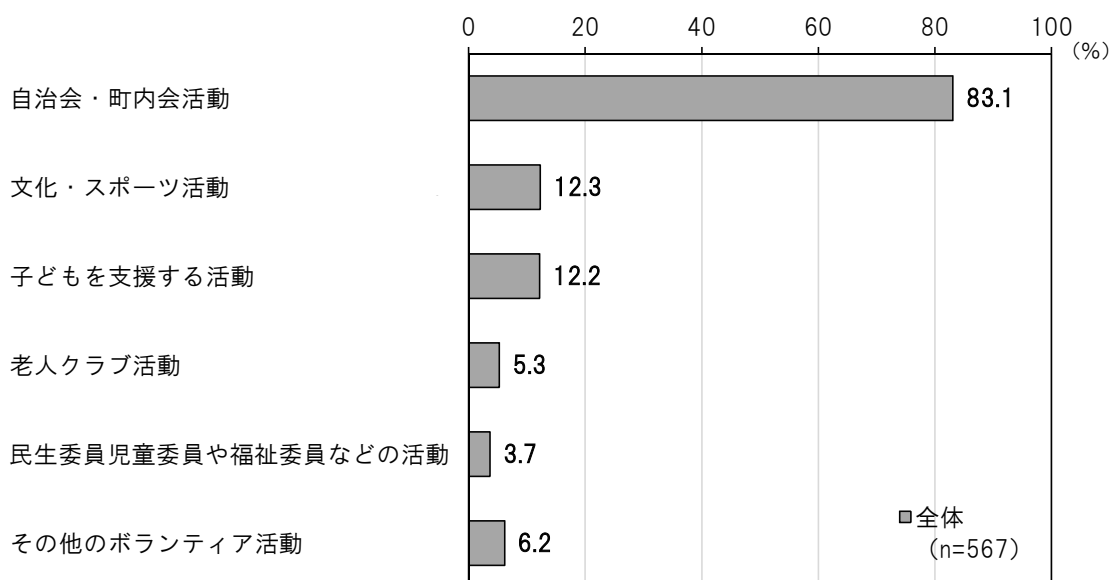
- 年代別にみると、18～39 歳では「関心はあるが、参加していない」が、それ以外の年代では「機会があれば、参加・協力している」が最も高くなっている。また、概ね、年代が下がるにつれ『参加していない』が高くなる傾向にある。
- 地区別にみると、道明寺小学校区で「関心はあるが、参加していない」が最も高くなっている。また、道明寺東小学校区では『参加している』が67.7%と6割以上を占め、高くなっている。

(%)

	回答者数（人）	進んで参加・協力している	機会があれば、参加・協力している	参加することはあるが、協力することはあまりない	関心はあるが、参加していない	関心がない、やる気がない	無回答
18～29歳	97	3.1	12.4	10.3	46.4	27.8	-
30～39歳	98	3.1	25.5	12.2	39.8	19.4	-
40～49歳	181	3.3	42.5	11.6	27.1	14.9	0.6
50～59歳	175	3.4	34.9	14.3	25.7	21.7	-
60～69歳	207	10.6	44.0	10.1	24.2	10.6	0.5
70歳以上	273	11.0	40.3	10.6	26.0	10.6	1.5
藤井寺小学校区	212	6.1	37.3	12.3	26.4	17.9	-
藤井寺南小学校区	160	5.6	43.8	6.3	31.3	12.5	0.6
藤井寺西小学校区	118	4.2	33.1	18.6	28.8	14.4	0.8
藤井寺北小学校区	108	10.2	34.3	11.1	28.7	14.8	0.9
道明寺小学校区	179	7.8	29.6	13.4	31.8	17.3	-
道明寺東小学校区	99	11.1	47.5	9.1	19.2	13.1	-
道明寺南小学校区	103	6.8	41.7	9.7	28.2	12.6	1.0

②参加している活動（※①で「進んで参加・協力している」「機会があれば参加・協力している」「参加することはあるが、協力することはあまりない」と回答した方のみ）

- 参加している活動については「自治会・町内会活動」が 83.1%と8割以上を占め最も高く、次いで「文化・スポーツ活動」（12.3%）、「子どもを支援する活動」（12.2%）となっている。

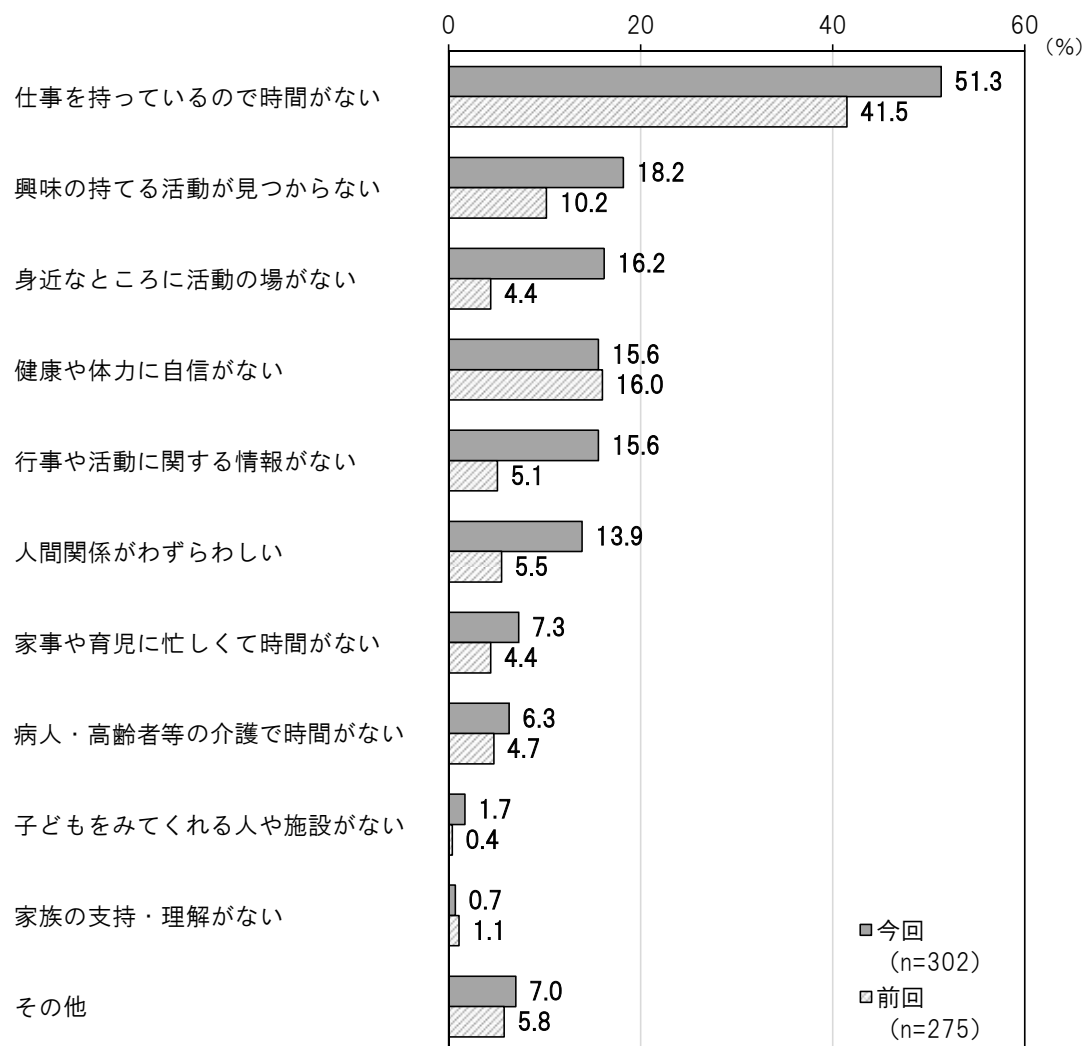


- 年代別にみると、40～49 歳では「子どもを支援する活動」が2割以上を占め高くなっている。
- 地区別にみると、藤井寺北小学校区で「自治会・町内会活動」が9割以上とやや高くなっている。

	回答者数 (人)	自治会・町内会活動	子どもを支援する活動	老人クラブ活動	文化・スポーツ活動	民生委員児童委員や福祉委員などの活動	その他のボランティア活動	無回答
18～29歳	25	56.0	16.0	-	32.0	-	4.0	-
30～39歳	40	87.5	17.5	-	7.5	-	-	-
40～49歳	104	82.7	24.0	1.0	13.5	1.9	2.9	1.0
50～59歳	92	87.0	17.4	-	13.0	2.2	5.4	2.2
60～69歳	134	82.8	6.7	3.0	9.7	6.0	11.2	3.0
70歳以上	169	84.0	4.7	14.8	11.8	5.3	6.5	5.3
藤井寺小学校区	118	81.4	8.5	4.2	13.6	5.1	6.8	2.5
藤井寺南小学校区	89	84.3	10.1	4.5	7.9	3.4	6.7	3.4
藤井寺西小学校区	66	78.8	12.1	4.5	10.6	3.0	4.5	3.0
藤井寺北小学校区	60	91.7	5.0	8.3	11.7	5.0	8.3	-
道明寺小学校区	91	82.4	18.7	7.7	17.6	3.3	5.5	3.3
道明寺東小学校区	67	82.1	22.4	4.5	13.4	4.5	4.5	-
道明寺南小学校区	60	88.3	10.0	5.0	10.0	1.7	5.0	3.3

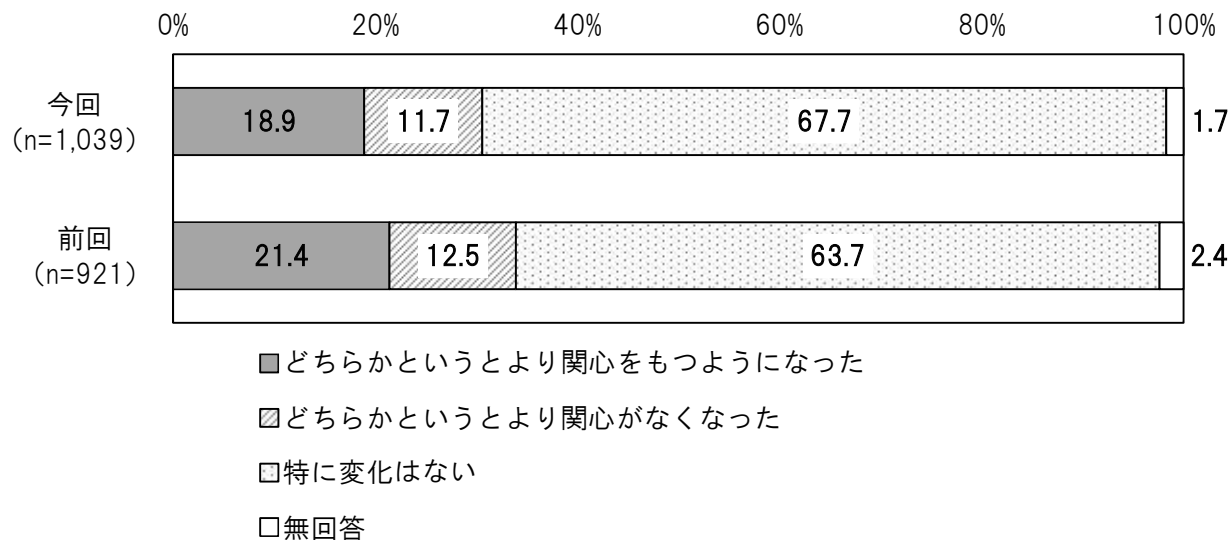
③地域の行事や活動に参加しない理由（※①で「関心はあるが、参加していない」と回答した方のみ）

- 地域の行事や活動に参加しない理由については「仕事を持っているので時間がない」が 51.3%と半数以上を占め最も高く、次いで「興味の持てる活動が見つからない」（18.2%）、「身近なところに活動の場がない」（16.2%）となっている。
- 前回結果と比較すると、「仕事を持っているので時間がない」、「興味の持てる活動が見つからない」、「身近なところに活動の場がない」、「行事や活動に関する情報がない」、「人間関係がわずらわしい」で前回より5ポイント以上高くなっている。



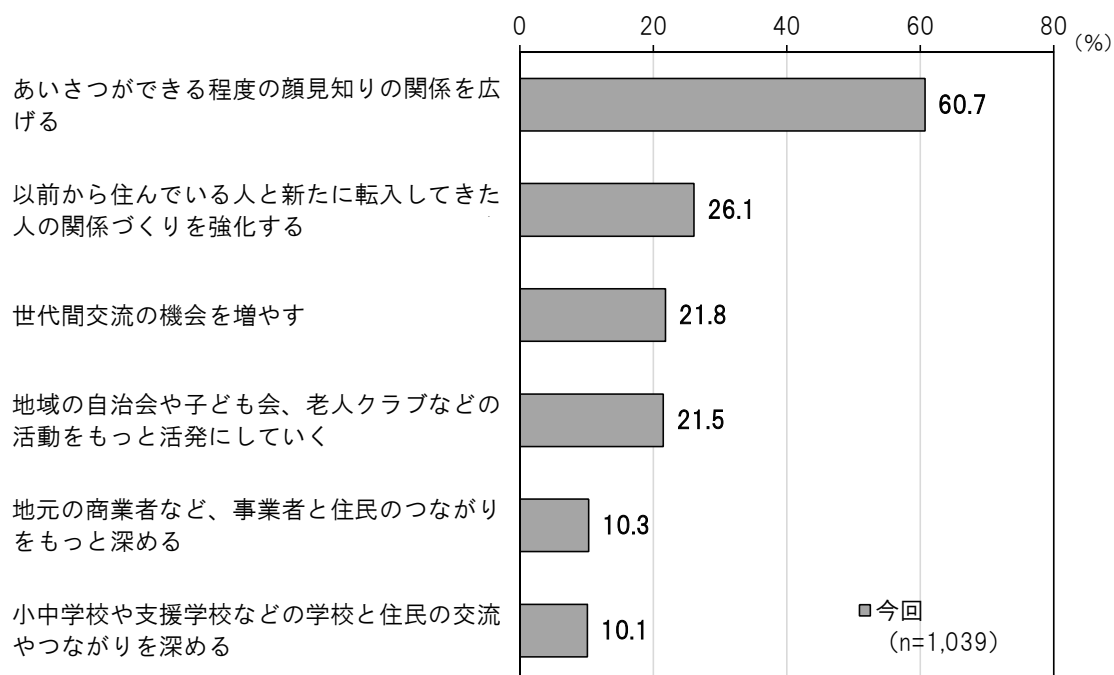
(4) 地域の行事や活動についての関心の変化

- ・地域の行事や活動についての関心の変化については「特に変化はない」が67.7%と6割以上を占め最も高く、次いで「どちらかというより関心をもつようになった」(18.9%)となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



(5) 地域の行事や活動が、地域でもっと活発に行われるようにしていくために大切なこと

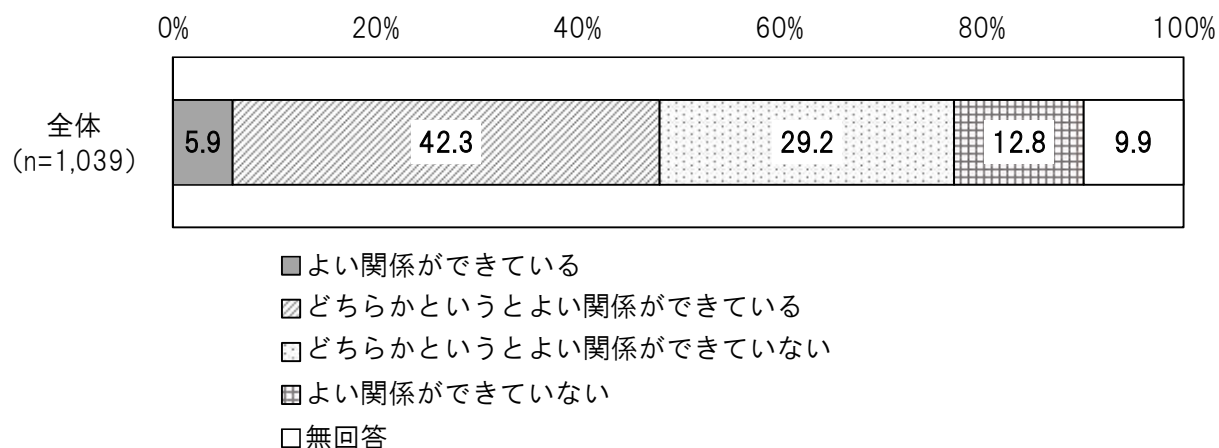
- ・地域の行事や活動が、地域でもっと活発に行われるようにしていくために大切なことについては「あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる」が60.7%と6割以上を占め最も高く、次いで「以前から住んでいる人と新たに転入してきた人との関係づくりを強化する」(26.1%)、「世代間交流の機会を増やす」(21.8%)となっている。



(6) 地域福祉に関する行政と住民との協働について

①地域福祉に関する行政と住民との協働について

- ・地域福祉に関する行政と住民との協働については「どちらかというとい関係ができてい」が42.3%と最も高く、次いで「どちらかというとい関係ができていない」(29.2%)となっている。また、「よい関係ができてい」・「どちらかというとい関係ができてい」を合わせた『よい関係ができてい』は48.2%と半数近くとなっている。

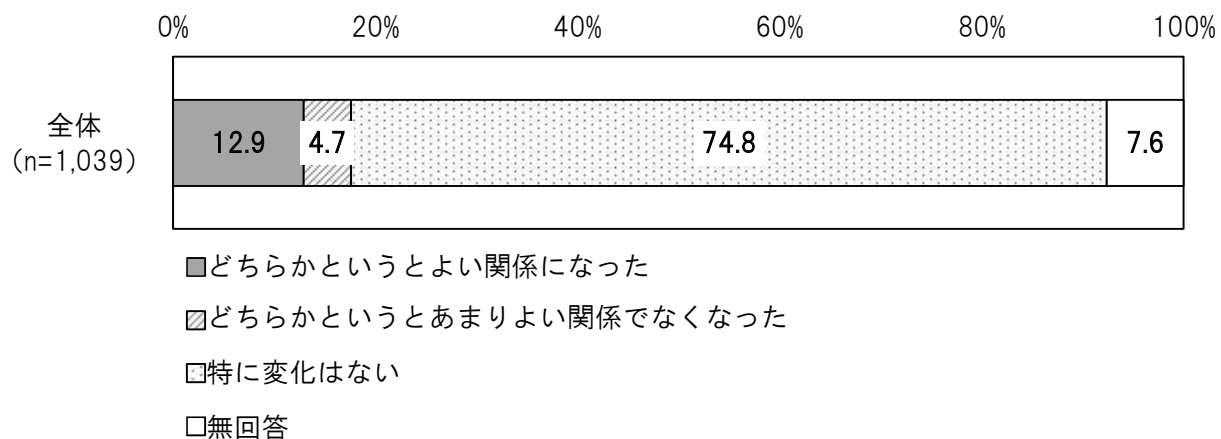


- ・年代別にみると、30～39歳で『よい関係ができてい』がやや低くなっている。
- ・地区別にみると、道明寺東小学校区で『よい関係ができてい』がやや高くなっている。

	回答者数(人)	よい関係ができてい	どちらかというとい関係ができてい	どちらかというとい関係ができていない	よい関係ができてい	無回答
18～29歳	97	5.2	53.6	23.7	12.4	5.2
30～39歳	98	4.1	35.7	32.7	17.3	10.2
40～49歳	181	3.9	43.1	32.0	13.3	7.7
50～59歳	175	5.1	40.0	28.0	18.9	8.0
60～69歳	207	3.4	41.5	32.9	10.6	11.6
70歳以上	273	10.3	42.5	24.9	9.2	13.2
藤井寺小学校区	212	5.2	43.4	30.2	11.3	9.9
藤井寺南小学校区	160	5.6	42.5	26.3	14.4	11.3
藤井寺西小学校区	118	4.2	41.5	31.4	13.6	9.3
藤井寺北小学校区	108	8.3	38.9	34.3	7.4	11.1
道明寺小学校区	179	4.5	44.1	31.8	12.8	6.7
道明寺東小学校区	99	8.1	47.5	26.3	11.1	7.1
道明寺南小学校区	103	7.8	43.7	25.2	14.6	8.7

②地域福祉に関する行政と住民との協働の変化

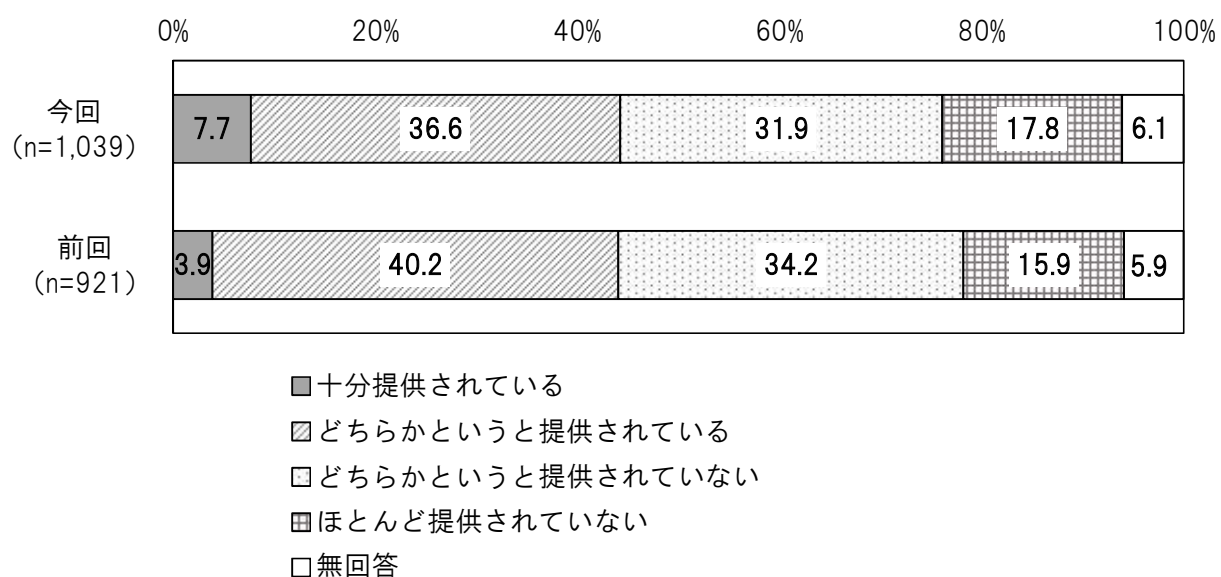
- ・地域福祉に関する行政と住民との協働の変化については「特に変化はない」が 74.8%と7割以上を占め最も高くなっている。
- ・「どちらかというとい関係になった」は 12.9%と1割以上となっている。



(7) 福祉サービスや福祉活動の情報提供について

①福祉サービスや福祉活動の情報提供について

- ・福祉サービスや福祉活動の情報提供については「どちらかというとい提供されている」が 36.6%と最も高く、次いで「どちらかというとい提供されていない」(31.9%)となっている。
- ・また「どちらかというとい提供されていない」・「ほとんど提供されていない」を合わせた『提供されていない』は 49.7%と半数近くを占めている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



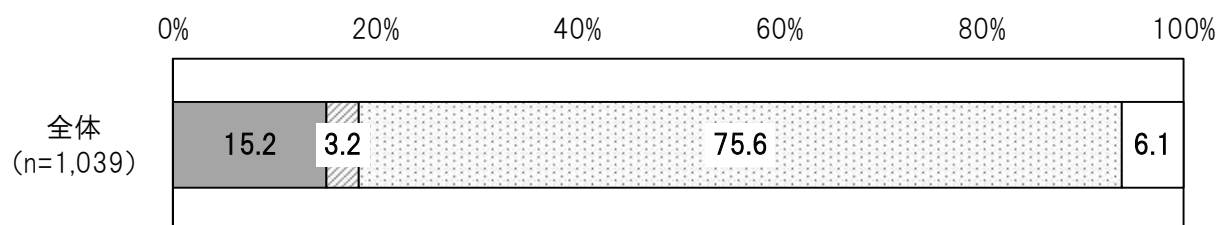
- 年代別にみると、30～39 歳・50～69 歳では「どちらかというと提供されていない」が最も高く、それ以外の年代では「どちらかというと提供されている」が最も高くなっている。また、30～39 歳で『提供されていない』が61.2%と6割以上占め高く、70 歳以上で『提供されている』が54.6%と半数以上を占め高くなっている。
- 地区別にみると、藤井寺南小学校区では「どちらかというと提供されていない」が最も高くなっている。また、道明寺南小学校区では『提供されている』が 54.4%と半数以上を占め、高くなっている。

(%)

	回答者数(人)	十分提供されている	どちらかというと提供されている	どちらかというと提供されていない	ほとんど提供されていない	無回答
18～29歳	97	7.2	42.3	29.9	15.5	5.2
30～39歳	98	3.1	29.6	41.8	19.4	6.1
40～49歳	181	7.7	35.9	28.7	24.9	2.8
50～59歳	175	5.1	31.4	34.9	24.0	4.6
60～69歳	207	5.3	34.8	37.2	16.4	6.3
70歳以上	273	12.5	42.1	24.9	11.0	9.5
藤井寺小学校区	212	2.8	44.3	32.5	14.6	5.7
藤井寺南小学校区	160	9.4	31.3	36.3	17.5	5.6
藤井寺西小学校区	118	5.9	36.4	34.7	14.4	8.5
藤井寺北小学校区	108	8.3	33.3	33.3	16.7	8.3
道明寺小学校区	179	8.9	33.0	31.3	22.9	3.9
道明寺東小学校区	99	8.1	40.4	29.3	17.2	5.1
道明寺南小学校区	103	9.7	44.7	26.2	16.5	2.9

②福祉サービスや福祉活動の情報提供の変化

- 福祉サービスや福祉活動の情報提供の変化については「特に変化はない」が75.6%と7割以上を占め最も高くなっている。また、「どちらかというより提供されるようになった」は15.2%と1割以上を占めている。



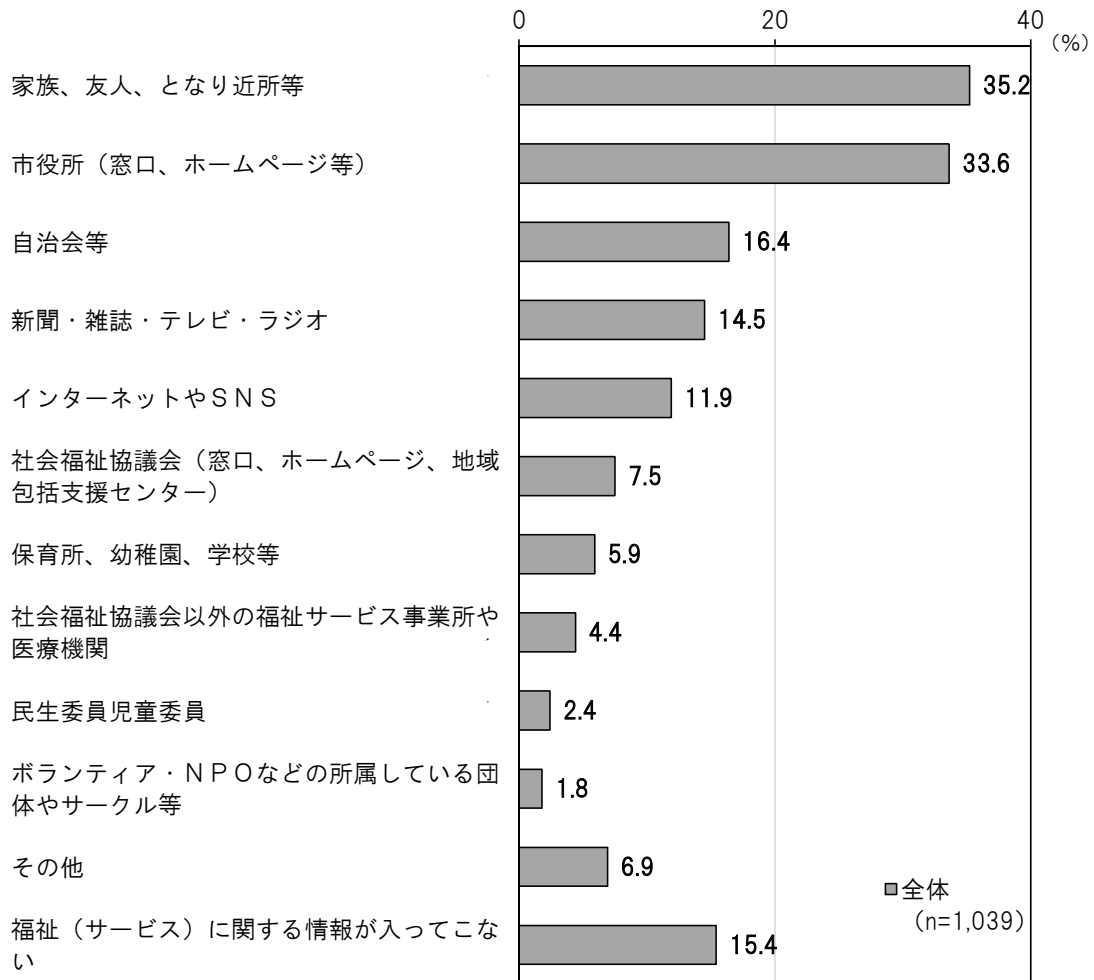
- ☒ どちらかというより提供されるようになった
- ☒ どちらかというより提供されなくなった
- ☒ 特に変化はない
- ☐ 無回答

- 年齢別にみると、70歳以上で「どちらかというより提供されるようになった」が20.5%と2割以上を占めやや高くなっている。

					(%)
	回答者数 (人)	どちらかというより 提供されるようになった	どちらかというより 提供されなくなった	特に変化はない	無回答
18～29歳	97	12.4	-	81.4	6.2
30～39歳	98	13.3	1.0	79.6	6.1
40～49歳	181	10.5	1.7	85.6	2.2
50～59歳	175	16.0	4.0	76.6	3.4
60～69歳	207	13.5	6.3	72.5	7.7
70歳以上	273	20.5	3.3	67.4	8.8

(8) 福祉サービスに関する情報の入手源

- 福祉サービスに関する情報の入手源については「家族、友人、となり近所等」が 35.2%と最も高く、次いで「市役所（窓口、ホームページ等）」(33.6%)、「自治会等」(16.4%) となっている。一方で、「福祉（サービス）に関する情報が入ってこない」が 15.4%と1割以上の人は福祉サービスに関する情報を入手できていない状況となっている。



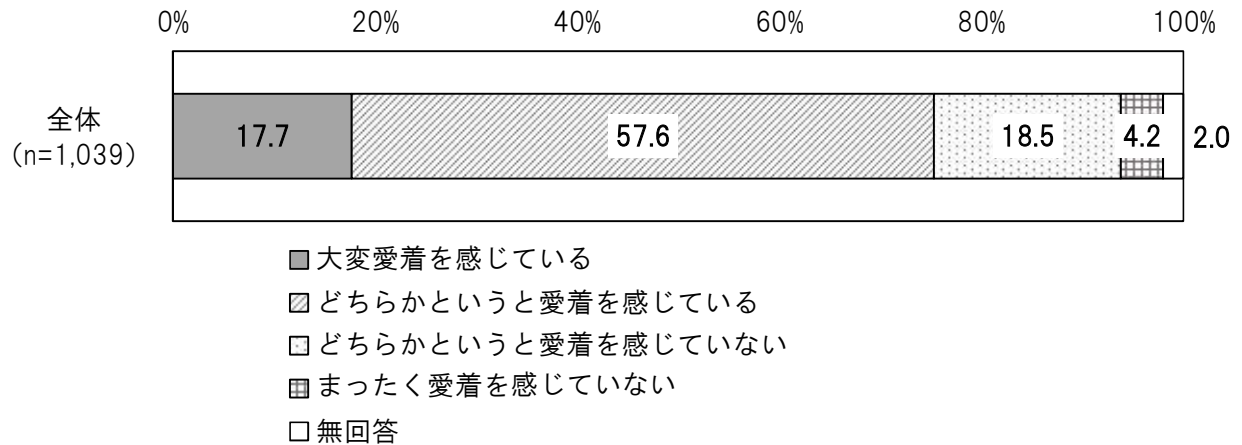
- 年代別にみると、30～39歳・50～69歳では「市役所（窓口、ホームページ等）」が、それ以外の年代では「家族、友人、となり近所等」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「自治会等」が高くなる傾向にあり、60歳以上では2割以上を占めている。30～39歳の子育て世代では「保育所、幼稚園、学校等」が2割以上を占め高くなっている。50～59歳で「福祉（サービス）に関する情報が入ってこない」が2割以上となっており、やや高くなっている。

(%)

	回答者数（人）	家族、友人、となり近所等	市役所（窓口、ホームページ等）	自治会等	民生委員児童委員	社会福祉協議会（窓口、ホームページ、地域包括支援センター）	社会福祉協議会以外の福祉サービス事業所や医療機関	保育所、幼稚園、学校等
18～29歳	97	43.3	26.8	5.2	-	2.1	3.1	5.2
30～39歳	98	31.6	39.8	9.2	-	4.1	-	20.4
40～49歳	181	38.7	35.4	9.9	0.6	1.7	2.2	15.5
50～59歳	175	27.4	34.3	14.3	1.1	5.7	5.7	1.7
60～69歳	207	30.9	37.7	22.2	2.9	11.1	6.3	1.9
70歳以上	273	39.9	28.9	23.8	5.9	13.2	5.9	-
	回答者数（人）	ボランティア・NPOなどの所属している団体やサークル等	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネットやSNS	その他	福祉（サービス）に関する情報が入ってこない	無回答	
18～29歳	97	1.0	14.4	18.6	4.1	19.6	2.1	
30～39歳	98	-	10.2	21.4	4.1	17.3	2.0	
40～49歳	181	1.1	6.1	12.7	6.6	17.7	1.7	
50～59歳	175	1.7	14.3	16.0	9.1	23.4	1.1	
60～69歳	207	4.3	18.4	12.1	10.1	10.1	2.4	
70歳以上	273	1.5	18.7	2.9	5.5	10.6	8.4	

(9)「自分のまち」と感じる地域に対する愛着

- ・「自分のまち」と感じる地域に対する愛着については「どちらかというと愛着を感じている」が57.6%と最も高く、次いで「どちらかというと愛着を感じていない」(18.5%)となっている。
- ・また、「大変愛着を感じている」・「どちらかというと愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は75.3%と、7割以上の人々が「自分のまち」に愛着を感じている結果となっている。



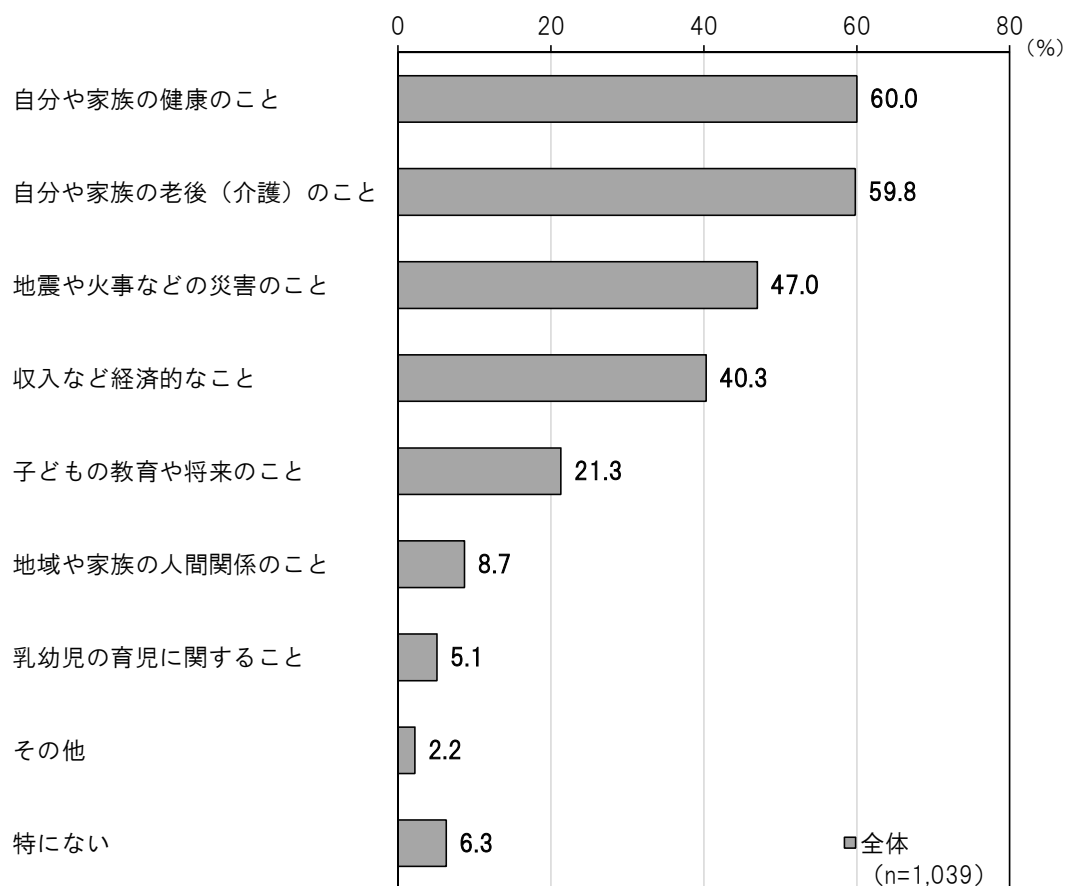
- ・地区別にみると、藤井寺西小学校区で『愛着を感じている』が8割以上を占め、やや高くなっている。

						(%)
	回答者数 (人)	大変愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じて いる	どちらかという と愛着を感じて いない	まったく愛着を 感じていない	無回答
藤井寺小学校区	212	19.8	56.1	18.4	4.2	1.4
藤井寺南小学校区	160	17.5	58.1	18.1	3.1	3.1
藤井寺西小学校区	118	19.5	65.3	12.7	1.7	0.8
藤井寺北小学校区	108	19.4	53.7	22.2	2.8	1.9
道明寺小学校区	179	14.5	59.8	21.2	3.9	0.6
道明寺東小学校区	99	17.2	61.6	17.2	3.0	1.0
道明寺南小学校区	103	20.4	52.4	16.5	6.8	3.9

3. 生活課題や福祉について

(1) 日頃の生活で感じる悩みや不安

- ・日頃の生活で感じる悩みや不安については「自分や家族の健康のこと」が 60.0%と6割を占め最も高く、次いで「自分や家族の老後（介護）のこと」（59.8%）、「地震や火事などの災害のこと」（47.0%）となっている。



- 年代別にみると、18～29 歳では「収入など経済的なこと」、30～39 歳では「自分や家族の健康のこと」、それ以外の年代では「自分や家族の老後（介護）のこと」が最も高くなっている。また、概ね、年代が上がるにつれ、「自分や家族の老後（介護）のこと」が高くなる傾向にある。30～39 歳では「子どもの教育や将来のこと」・「乳幼児の育児に関すること」が全体から 20 ポイント以上高く、子どもに関する悩み・不安が大きいことが分かる。

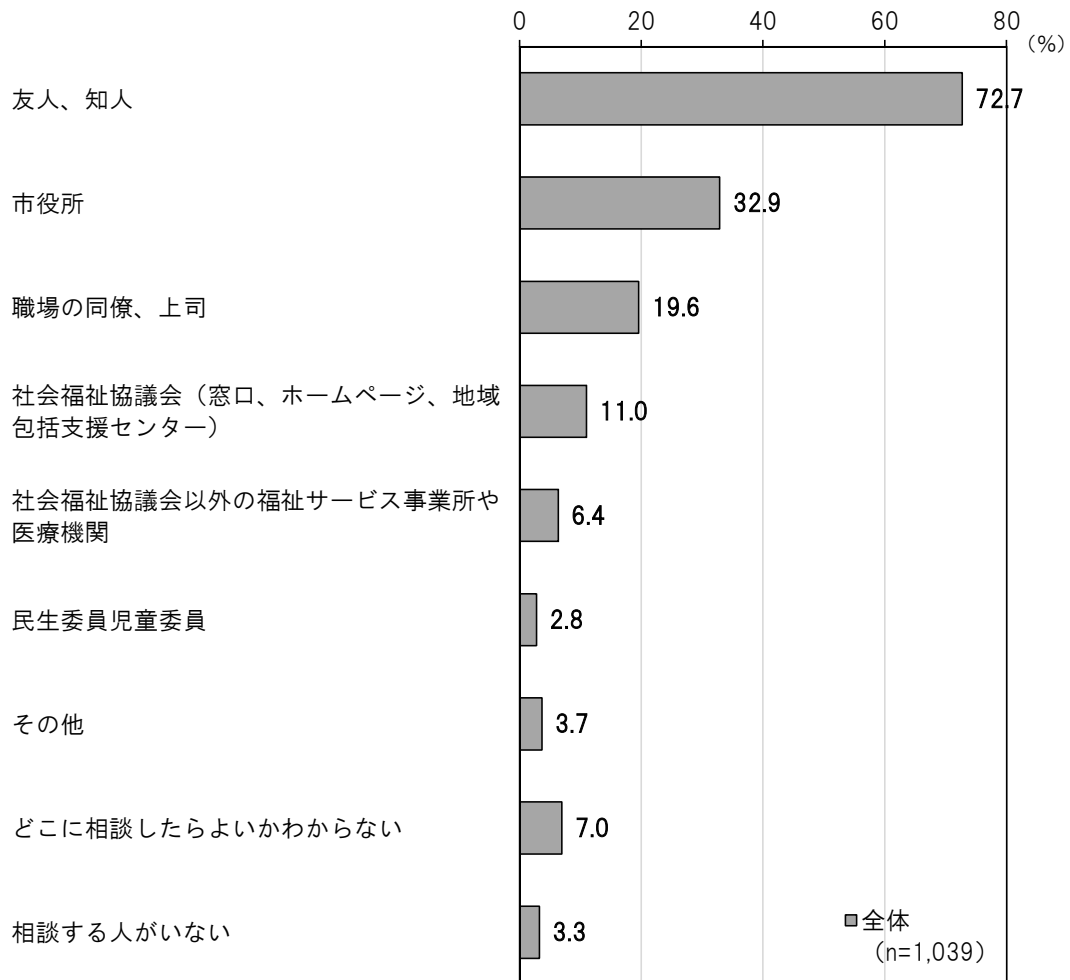
(%)

	回答者数（人）	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後（介護）のこと	子どもの教育や将来のこと	乳幼児の育児に関すること	収入など経済的なこと
18～29 歳	97	47.4	35.1	11.3	5.2	48.5
30～39 歳	98	64.3	44.9	51.0	27.6	53.1
40～49 歳	181	50.3	54.7	48.1	4.4	41.4
50～59 歳	175	62.3	65.7	22.9	2.9	50.3
60～69 歳	207	64.3	69.1	8.7	1.9	35.3
70 歳以上	273	64.5	66.3	5.1	1.1	28.9
	回答者数（人）	地域や家族の人間関係のこと	地震や火事などの災害のこと	その他	特にない	無回答
18～29 歳	97	4.1	35.1	5.2	17.5	1.0
30～39 歳	98	10.2	41.8	1.0	7.1	-
40～49 歳	181	8.3	49.7	3.3	3.9	-
50～59 歳	175	10.9	47.4	1.7	4.0	1.1
60～69 歳	207	6.8	50.7	1.4	6.3	0.5
70 歳以上	273	10.3	48.4	1.8	5.1	2.2

(2) 困った時の家族以外の相談先

① 困った時の家族以外の相談先

- 困った時の家族以外の相談先については「友人、知人」が72.7%と7割以上を占め最も高く、次いで「市役所」(32.9%)、「職場の同僚、上司」(19.6%)となっている。



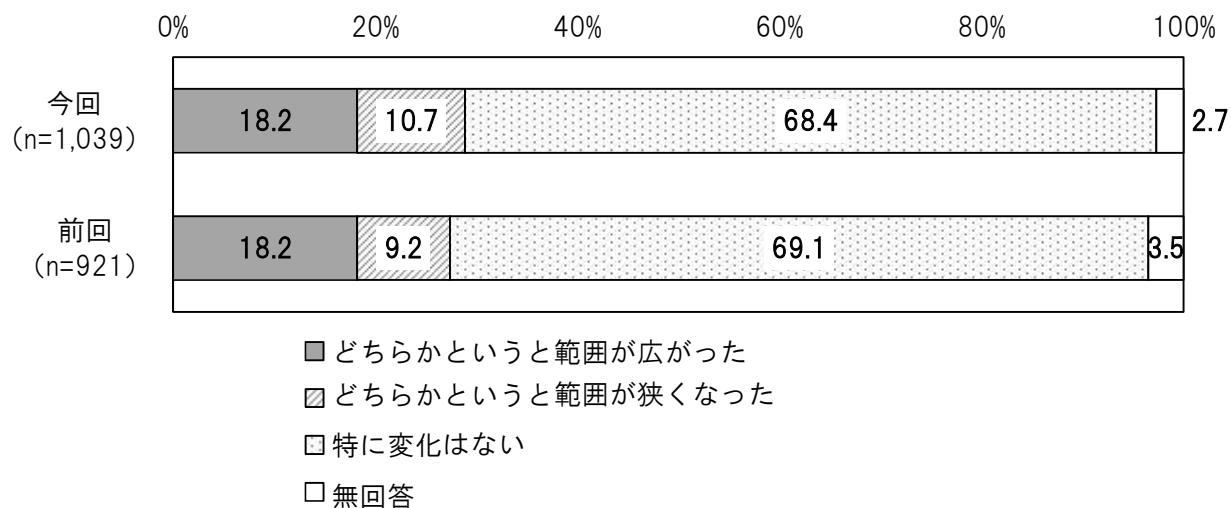
- 年代別にみると、年代が下がるにつれ「職場の同僚、上司」が高くなる傾向にある。また、概ね、年代が上がるにつれ「市役所」、「社会福祉協議会（窓口、ホームページ、地域包括支援センター）」が高くなる傾向にある。

(%)

	回答者数（人）	友人、知人	職場の同僚、上司	市役所	民生委員児童委員	社会福祉協議会（窓口、ホームページ、地域包括支援センター）
18～29歳	97	87.6	37.1	12.4	-	2.1
30～39歳	98	75.5	35.7	27.6	1.0	4.1
40～49歳	181	83.4	33.7	24.9	2.2	4.4
50～59歳	175	76.6	26.9	31.4	1.1	9.7
60～69歳	207	69.1	10.1	42.5	1.0	13.5
70歳以上	273	60.1	1.5	41.8	7.3	20.1
	回答者数（人）	社会福祉協議会以外の福祉サービス事業所や医療機関	その他	どこに相談したらよいかわからない	相談する人がいない	無回答
18～29歳	97	2.1	1.0	4.1	2.1	-
30～39歳	98	1.0	2.0	9.2	3.1	1.0
40～49歳	181	5.5	1.7	5.5	0.6	-
50～59歳	175	5.7	4.6	4.6	6.3	-
60～69歳	207	11.1	5.3	7.2	4.3	1.0
70歳以上	273	7.3	4.8	9.5	2.6	3.3

②相談できる相手先の変化

- ・困った時の家族以外の相談先の変化については「特に変化はない」が 68.4%と7割近くを占め最も高く、次いで「どちらかという範囲が広がった」(18.2%)となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



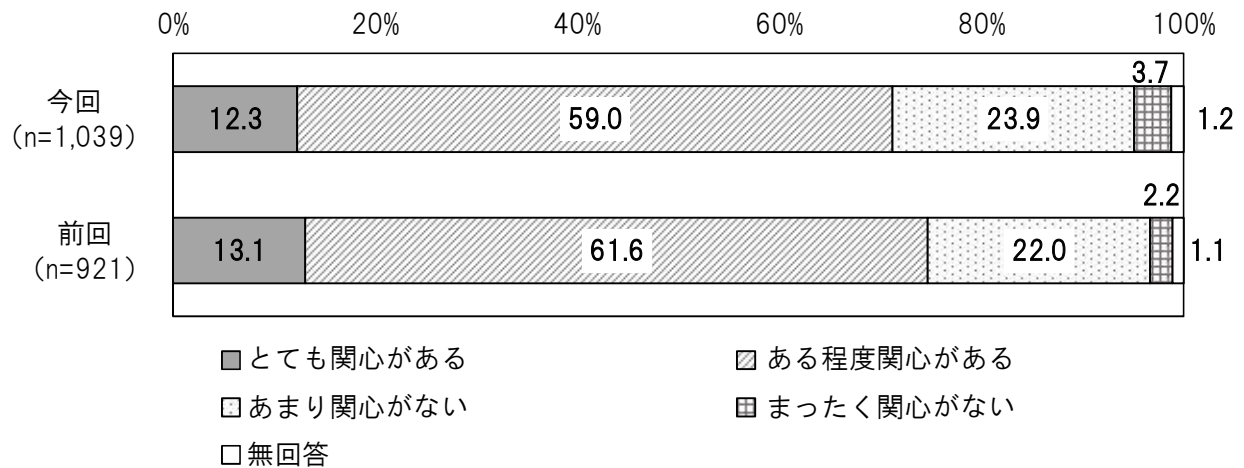
- ・年代別にみると、18～29 歳で「どちらかという範囲が広がった」が 37.1%と3割以上を占め高くなっている。

	回答者数 (人)	どちらかという範囲が広がった (%)	どちらかという範囲が狭くなった (%)	特に変化はない (%)	無回答 (%)
18～29歳	97	37.1	7.2	55.7	-
30～39歳	98	24.5	4.1	71.4	-
40～49歳	181	14.9	9.4	75.1	0.6
50～59歳	175	13.1	6.9	79.4	0.6
60～69歳	207	14.0	12.6	69.6	3.9
70歳以上	273	17.9	15.8	59.7	6.6

(3) 福祉への関心

①福祉への関心

- 福祉への関心については「ある程度関心がある」が59.0%と6割近くを占め最も高く、次いで「あまり関心がない」(23.9%)となっている。また、「とても関心がある」・「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は71.3%と7割以上の人が福祉への関心をもっている結果となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。

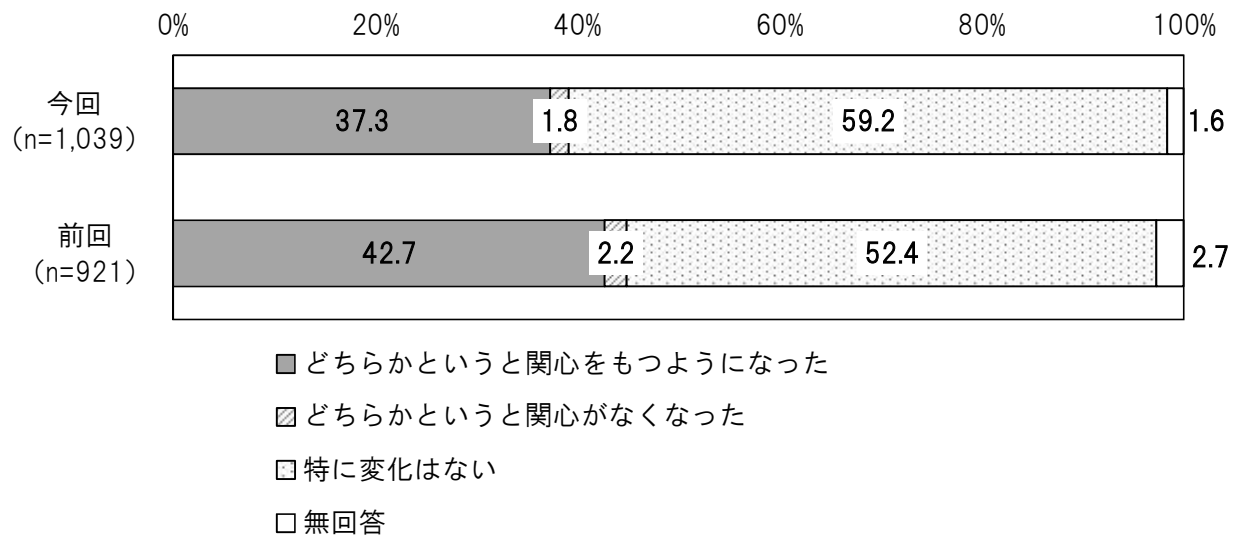


- 年代別にみると、概ね、年代が上がるにつれ『関心がある』が高くなる傾向にある。18～29歳では『関心がある』が52.5%と6割未満となっている。
- 地区別にみると、藤井寺北小学校区で『関心がある』が64.8%とやや低くなっている。

	回答者数 (人)	とても 関心があ る	ある 程度関 心があ る	い あ ま り 関 心 が な い	ま た た く 関 心 が な い	無 回 答
18～29歳	97	8.2	44.3	40.2	7.2	-
30～39歳	98	7.1	56.1	28.6	8.2	-
40～49歳	181	7.7	59.7	28.7	3.9	-
50～59歳	175	10.9	61.7	24.0	3.4	-
60～69歳	207	16.4	61.4	18.4	2.9	1.0
70歳以上	273	16.5	61.2	17.2	1.5	3.7
藤井寺小学校区	212	10.4	61.3	24.1	3.8	0.5
藤井寺南小学校区	160	16.3	60.0	20.0	1.9	1.9
藤井寺西小学校区	118	15.3	61.0	19.5	2.5	1.7
藤井寺北小学校区	108	17.6	47.2	30.6	2.8	1.9
道明寺小学校区	179	11.2	57.5	25.7	4.5	1.1
道明寺東小学校区	99	8.1	64.6	23.2	4.0	-
道明寺南小学校区	103	8.7	61.2	26.2	2.9	1.0

②福祉への関心の変化

- 福祉への関心の変化については「特に変化はない」が 59.2%と6割近くを占め最も高く、次いで「どちらかというに関心をもつようになった」(37.3%) となっている。
- 前回結果と比較すると、「どちらかというに関心をもつようになった」が前回より 5.4 ポイント低くなっている。



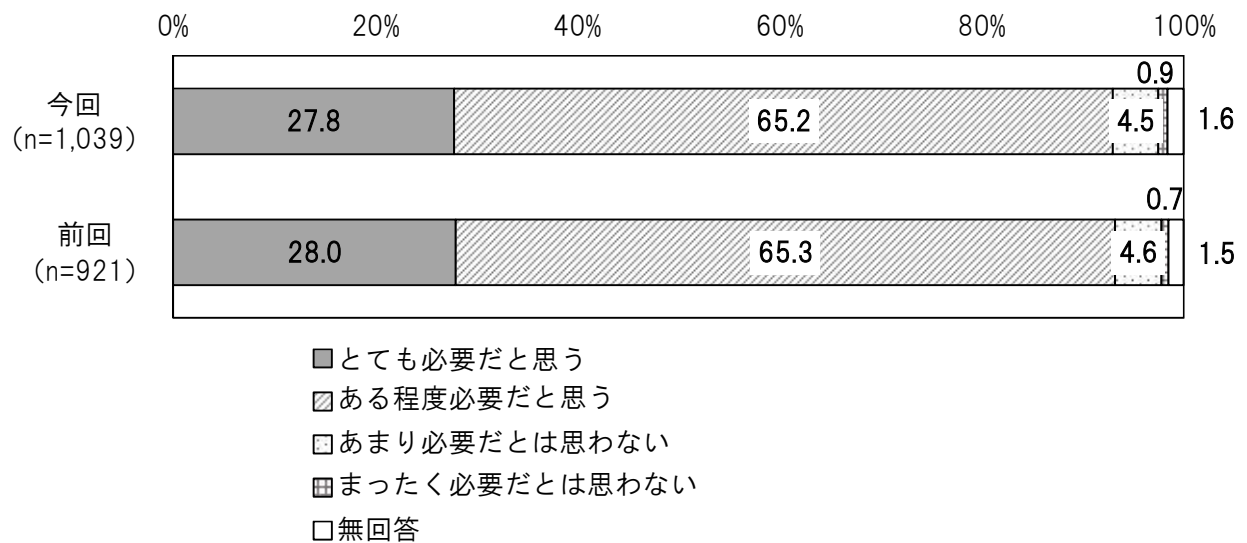
- 年代別にみると、18～29 歳で「どちらかというに関心をもつようになった」が3割未満と低くなっている。

	回答者数 (人)	どちらかというに関心をもつようになった (%)	どちらかというに関心がなくなった (%)	特に変化はない (%)	無回答 (%)
18～29歳	97	29.9	-	70.1	-
30～39歳	98	35.7	1.0	63.3	-
40～49歳	181	32.6	1.7	65.2	0.6
50～59歳	175	41.1	1.7	57.1	-
60～69歳	207	39.1	2.4	58.0	0.5
70歳以上	273	40.7	2.6	51.3	5.5

(4) 地域の福祉課題に対する、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性

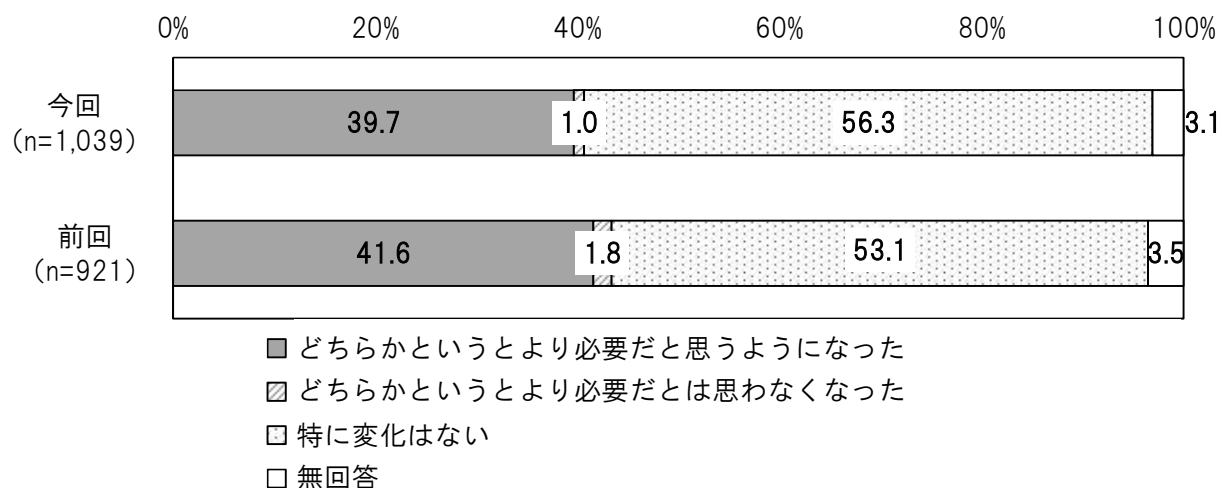
①地域の福祉課題に対する、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性

- ・住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性については「ある程度必要だと思う」が 65.2%と6割以上を占め最も高く、次いで「とても必要だと思う」(27.8%) となっている。また、「とても必要だと思う」・「ある程度必要だと思う」を合わせた『必要だと思う』は 93.0%と、9割以上の人が地域の福祉課題に対して住民相互の支え合い・助け合いが必要だと感じている結果となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



②地域の福祉課題に対する、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性の変化

- ・住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性の変化については「特に変化はない」が 56.3%と最も高く、次いで「どちらかという必要だと思うようになった」(39.7%)となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



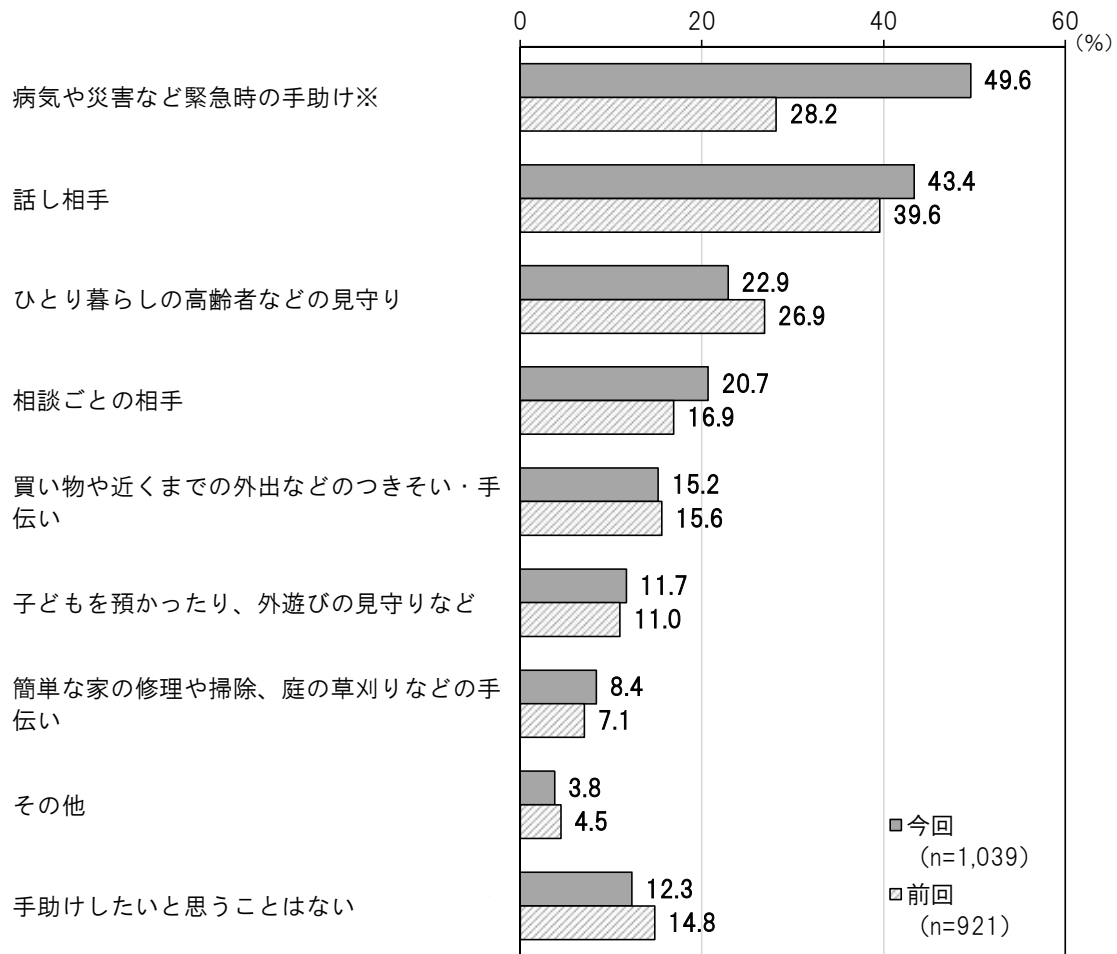
- ・年代別にみると、30～49 歳で「どちらかという必要だと思うようになった」がやや低くなっている。
- ・地区別にみると、藤井寺北小学校区・道明寺南小学校区で「どちらかという必要だと思うようになった」がやや低くなっている。

	回答者数 (人)	どちらかというより必要だと思ようになった (%)	どちらかというより必要だとは思わなくなった (%)	特に変化はない (%)	無回答 (%)
18～29歳	97	35.1	1.0	61.9	2.1
30～39歳	98	30.6	3.1	65.3	1.0
40～49歳	181	33.1	-	65.7	1.1
50～59歳	175	40.0	1.1	58.3	0.6
60～69歳	207	45.4	1.0	51.7	1.9
70歳以上	273	44.7	0.4	46.9	8.1
藤井寺小学校区	212	40.6	-	57.5	1.9
藤井寺南小学校区	160	45.0	-	51.3	3.8
藤井寺西小学校区	118	38.1	0.8	57.6	3.4
藤井寺北小学校区	108	31.5	2.8	60.2	5.6
道明寺小学校区	179	43.0	1.7	54.2	1.1
道明寺東小学校区	99	43.4	1.0	52.5	3.0
道明寺南小学校区	103	34.0	1.9	61.2	2.9

(5) 近所とのつきあいの中での相互の手助け

①今後、近所とのつきあいの中で、「手助けしたい」こと

- ・近所とのつきあいの中で「手助けしたい」ことについては「病気や災害など緊急時の手助け」が49.6%と半数近くを占め最も高く、次いで「話し相手」(43.4%)となっている。一方で、「手助けしたいと思うことはない」が12.3%と1割以上を占めている。
- ・前回結果と比較すると、「病気や災害など緊急時の手助け」が前回より21.4ポイント高くなっている。



※前回調査時は「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」

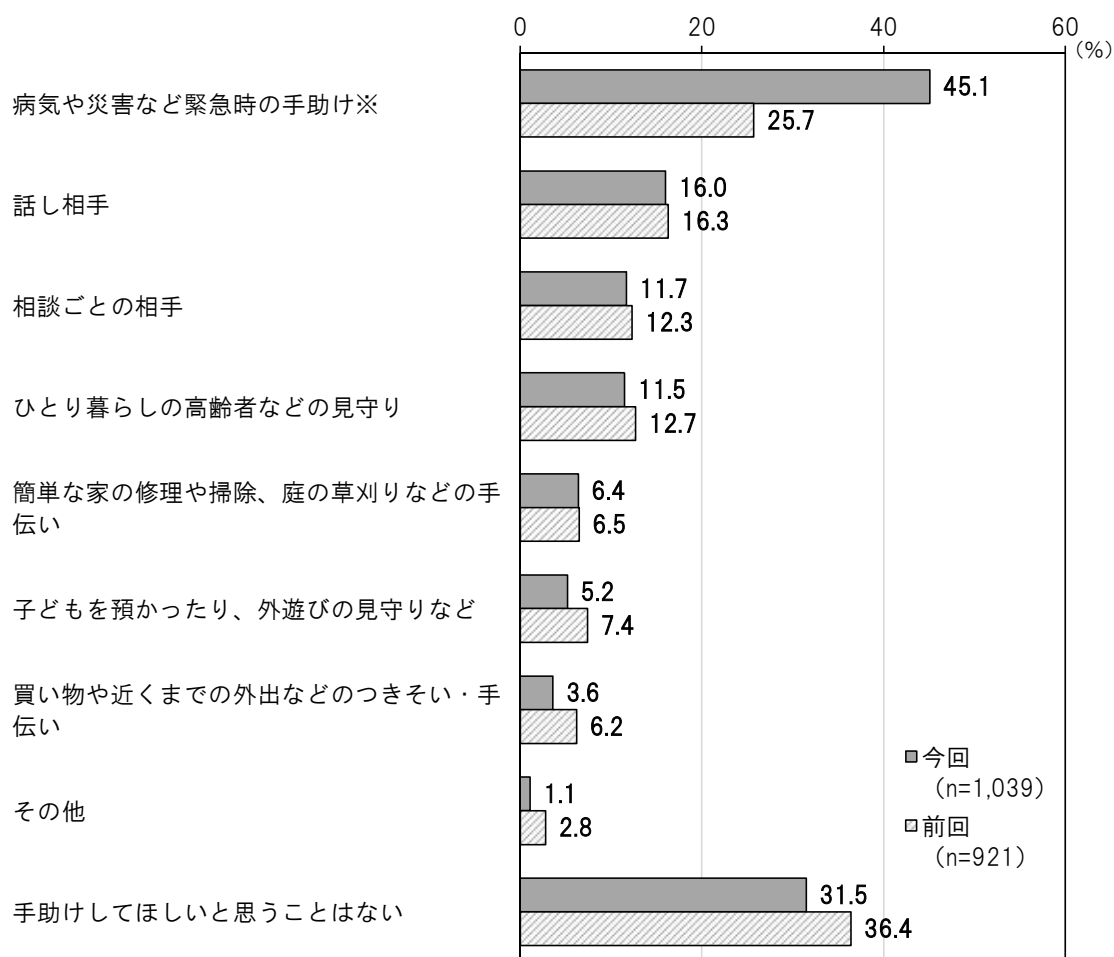
- 年代別にみると、70 歳以上で「話し相手」が、それ以外の年代では「病気や災害など緊急時の手助け」が最も高くなっている。また、18～39 歳で「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」、50～59 歳で「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」、70 歳以上で「相談ごとの相手」がやや高くなっている。
- 地区別にみると、道明寺東・道明寺南小学校区で「話し相手」が、それ以外の地区で「病気や災害など緊急時の手助け」が最も高くなっている。

(%)

	回答者数 (人)	話し相手	相談ごとの相手	いつでも買い物の外や近き所い・手伝	子どもを預かり、外遊びの見守りなど	ひとり暮らしの高齢者などの見守り
18～29歳	97	41.2	12.4	16.5	21.6	18.6
30～39歳	98	37.8	18.4	14.3	24.5	13.3
40～49歳	181	36.5	19.3	10.5	17.7	19.3
50～59歳	175	34.3	22.9	19.4	10.9	31.4
60～69歳	207	46.9	15.9	17.9	7.2	28.5
70歳以上	273	53.8	28.2	13.6	4.0	20.5
藤井寺小学校区	212	42.9	15.6	11.3	10.4	19.3
藤井寺南小学校区	160	46.9	25.0	15.6	14.4	25.6
藤井寺西小学校区	118	37.3	20.3	13.6	11.0	16.1
藤井寺北小学校区	108	42.6	22.2	13.9	14.8	19.4
道明寺小学校区	179	45.8	22.9	19.0	11.2	26.3
道明寺東小学校区	99	43.4	27.3	18.2	13.1	27.3
道明寺南小学校区	103	45.6	13.6	16.5	10.7	21.4
	回答者数 (人)	い刈や簡 り掃除、単 などの庭の 手伝草理	緊急病 時の気 手助けや 災害 など	その他	手助け したい と思う ことは ない	無回答
18～29歳	97	8.2	50.5	2.1	15.5	1.0
30～39歳	98	6.1	55.1	4.1	15.3	1.0
40～49歳	181	8.8	55.2	3.3	12.2	2.2
50～59歳	175	9.1	54.3	3.4	14.3	0.6
60～69歳	207	11.1	55.6	2.9	12.1	0.5
70歳以上	273	6.2	35.9	5.1	9.2	9.5
藤井寺小学校区	212	5.7	46.7	3.3	17.0	1.9
藤井寺南小学校区	160	10.6	53.8	3.1	8.8	1.9
藤井寺西小学校区	118	11.9	52.5	3.4	15.3	4.2
藤井寺北小学校区	108	9.3	51.9	3.7	13.9	4.6
道明寺小学校区	179	8.4	57.5	1.7	10.6	1.7
道明寺東小学校区	99	5.1	42.4	6.1	8.1	4.0
道明寺南小学校区	103	10.7	40.8	6.8	10.7	4.9

②今後、近所とのつきあいの中で、「手助けしてほしい」こと

- ・近所とのつきあいの中で「手助けしてほしい」ことについては「病気や災害など緊急時の手助け」が45.1%と4割以上を占め最も高く、次いで「話し相手」（16.0%）となっている。一方で、「手助けしてほしいと思うことはない」が31.5%と3割以上を占めている。
- ・前回結果と比較すると、「病気や災害など緊急時の手助け」が前回より19.4ポイント高くなっている。



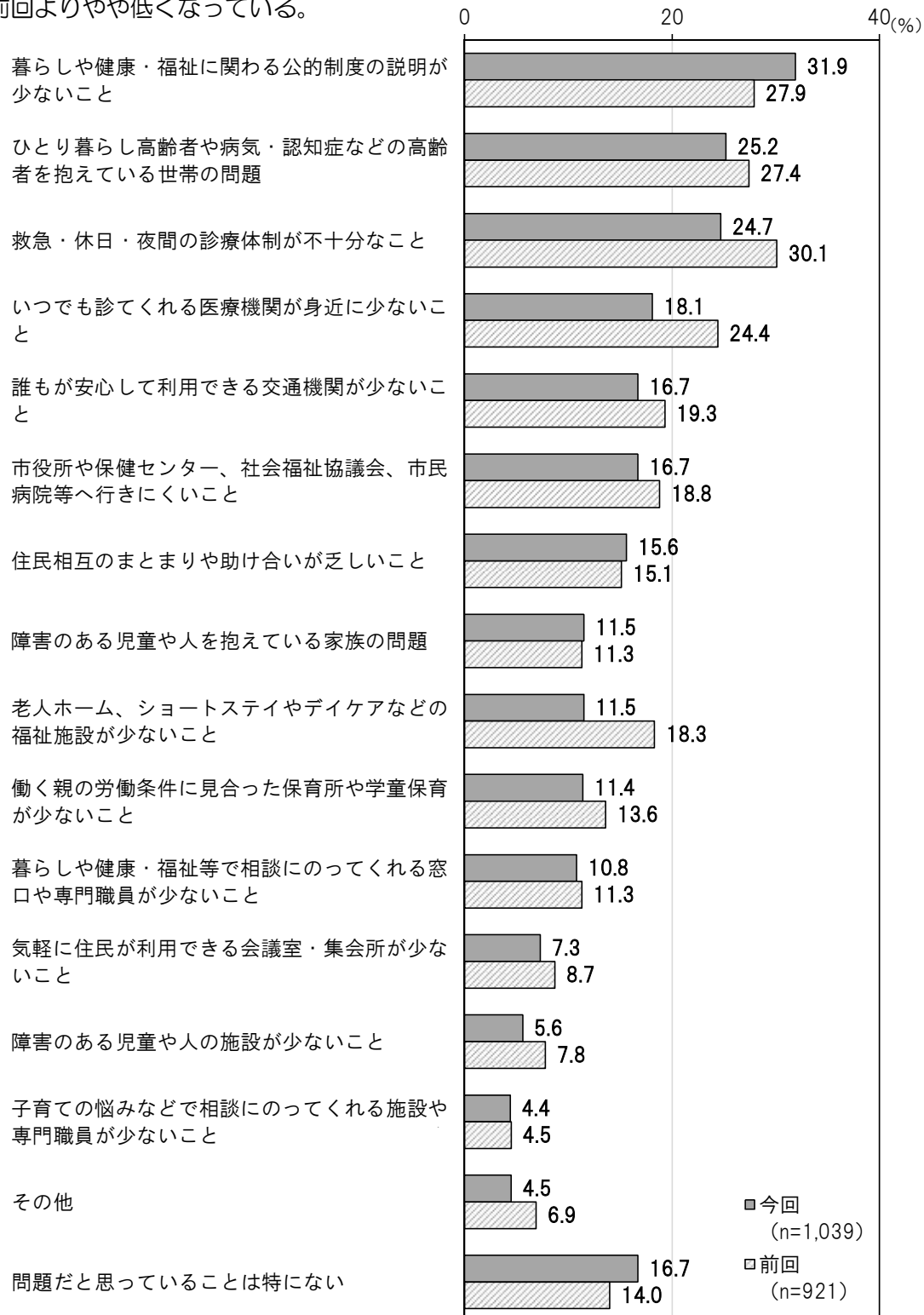
※前回調査時は「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」

- 年代別にみると、18～29 歳では「手助けしてほしいと思うことはない」が、それ以外の年代では「病気や災害など緊急時の手助け」が最も高くなっている。30～39 歳では「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」が2割以上を占め高くなっている。70 歳以上では「話し相手」、「相談ごとの相手」、「ひとり暮らし高齢者などの見守り」がやや高くなっている。
- 地区別にみると、道明寺小学校区で「病気や災害など緊急時の手助け」が 55.3%と半数以上を占め高くなっている。

						(%)
	回答者数 (人)	話し相手	相談ごとの相手	いつでも外物や近き きそい・手伝	子どもの外遊びの 見守りなど	ひとり暮らしの高齢者などの見守り
18～29歳	97	12.4	11.3	2.1	5.2	5.2
30～39歳	98	10.2	11.2	4.1	23.5	5.1
40～49歳	181	11.6	11.6	1.7	9.9	7.2
50～59歳	175	10.9	6.9	2.9	1.1	12.0
60～69歳	207	15.9	8.7	2.9	1.9	14.0
70歳以上	273	25.6	17.9	5.1	0.4	16.8
藤井寺小学校区	212	14.6	10.4	2.8	2.8	9.4
藤井寺南小学校区	160	21.9	13.1	5.0	5.6	11.3
藤井寺西小学校区	118	13.6	6.8	0.8	5.9	13.6
藤井寺北小学校区	108	13.0	11.1	2.8	6.5	9.3
道明寺小学校区	179	14.0	14.5	6.1	5.0	14.0
道明寺東小学校区	99	16.2	15.2	2.0	9.1	13.1
道明寺南小学校区	103	18.4	10.7	3.9	6.8	9.7
	回答者数 (人)	簡単な家の修理 や掃除、庭の草刈りなどの手伝	病気や災害など 緊急時の手助け	その他	手助けを してほしい と思うこと はない	無回答
18～29歳	97	5.2	39.2	2.1	41.2	-
30～39歳	98	6.1	46.9	1.0	31.6	2.0
40～49歳	181	4.4	47.0	1.7	29.3	3.9
50～59歳	175	8.6	44.6	-	38.3	3.4
60～69歳	207	6.8	50.2	1.0	32.4	3.4
70歳以上	273	6.6	41.8	1.1	24.9	10.3
藤井寺小学校区	212	7.1	42.0	0.9	37.3	4.7
藤井寺南小学校区	160	9.4	46.3	1.3	26.3	4.4
藤井寺西小学校区	118	5.1	50.0	0.8	28.8	5.1
藤井寺北小学校区	108	4.6	44.4	-	31.5	4.6
道明寺小学校区	179	7.8	55.3	0.6	24.6	4.5
道明寺東小学校区	99	5.1	42.4	1.0	33.3	4.0
道明寺南小学校区	103	4.9	40.8	3.9	35.9	2.9

(6) 日頃問題だと思っていること

- ・日頃問題だと思っていることについては「暮らしや健康・福祉に関わる公的制度の説明が少ないこと」が31.9%と3割以上を占め最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者や病気・認知症などの高齢者を抱えている世帯の問題」(25.2%)、「救急・休日・夜間の診療体制が不十分なこと」(24.7%)となっている。一方で、「問題だと思っていることは特にない」が16.7%と1割以上を占めている。
- ・前回結果と比較すると、「救急・休日・夜間の診療体制が不十分なこと」、「いつでも診てくれる医療機関が身近に少ないこと」、「老人ホーム、ショートステイやデイケアなどの福祉施設が少ないこと」が前回よりやや低くなっている。



- ・地区別にみると、藤井寺西小学校区で「ひとり暮らし高齢者や病気・認知症などの高齢者を抱えている世帯の問題」が、他の地区では「暮らしや健康・福祉に関わる公的制度の説明が少ないこと」が最も高くなっている。

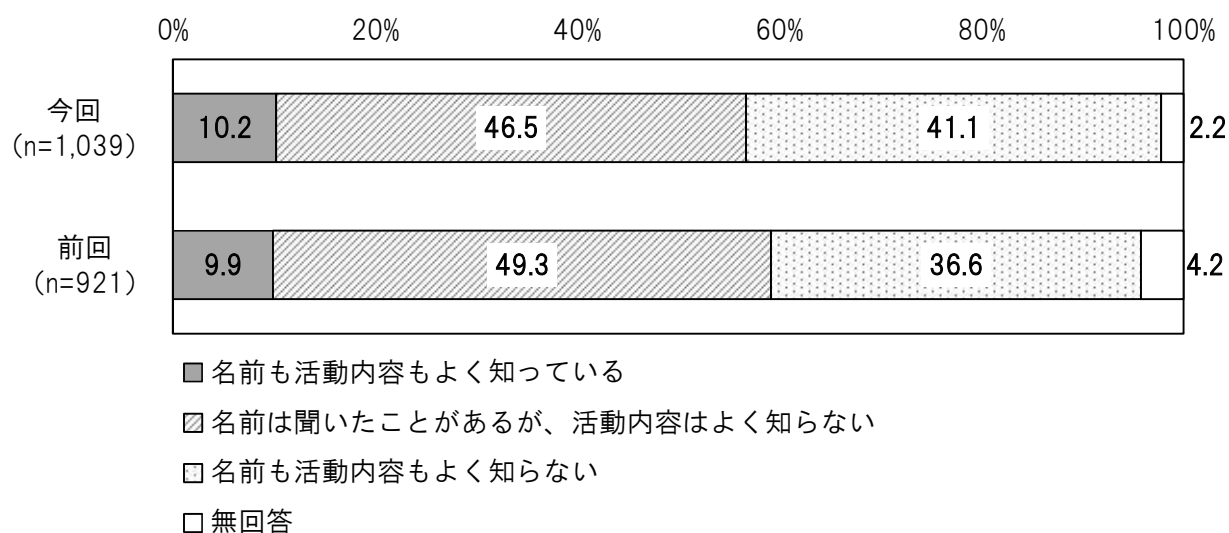
								(%)
	回答者数(人)	誰もが安心して利用できる交通機関が少ないこと	気軽に住民が利用できる会議室・集会所が少ないこと	暮らしや健康・福祉に関わる公的制度の説明が少ないこと	市役所や保健センター、社会福祉協議会、市民病院等へ行きにくい	いつでも診てくれる医療機関が身近に少ないこと	救急・休日・夜間の診療体制が不十分なこと	暮らしや健康・福祉等で相談のつてくれる窓口や専門職員が少ないこと
藤井寺小学校区	212	17.0	6.6	32.1	11.3	17.0	23.1	11.3
藤井寺南小学校区	160	18.1	7.5	33.1	21.3	11.9	23.1	13.1
藤井寺西小学校区	118	9.3	6.8	23.7	16.9	19.5	22.9	9.3
藤井寺北小学校区	108	13.0	5.6	31.5	13.9	26.9	28.7	11.1
道明寺小学校区	179	24.0	8.4	33.5	17.9	17.3	27.9	10.6
道明寺東小学校区	99	9.1	10.1	38.4	15.2	21.2	24.2	7.1
道明寺南小学校区	103	11.7	5.8	33.0	16.5	19.4	28.2	11.7
	回答者数(人)	子育ての悩みなどで相談のつてくれる施設や専門職員が少ないこと	住民相互のまとまりや助け合いが乏しいこと	ひとり暮らし高齢者や病気・認知症などの高齢者を抱えている世帯の問題	障害のある児童や人を抱えている家族の問題	働く親の労働条件に見合った保育所や学童保育が少ないこと	老人ホーム、ショートステイやデイケアなどの福祉施設が少ないこと	障害のある児童や人の施設が少ないこと
藤井寺小学校区	118	5.7	16.5	23.6	9.9	12.7	9.4	3.8
藤井寺南小学校区	89	1.9	15.6	26.3	10.6	9.4	16.9	4.4
藤井寺西小学校区	66	5.1	16.9	27.1	11.0	14.4	11.9	4.2
藤井寺北小学校区	60	3.7	19.4	27.8	15.7	10.2	12.0	6.5
道明寺小学校区	91	3.4	15.6	27.4	12.3	12.8	10.6	8.4
道明寺東小学校区	67	6.1	12.1	23.2	14.1	10.1	7.1	8.1
道明寺南小学校区	60	7.8	13.6	21.4	7.8	12.6	9.7	5.8
	回答者数(人)	その他	問題だと思っ ていることは 特にな い	無回答				
藤井寺小学校区	118	5.2	20.3	3.3				
藤井寺南小学校区	89	3.8	18.1	2.5				
藤井寺西小学校区	66	5.9	19.5	3.4				
藤井寺北小学校区	60	1.9	13.0	2.8				
道明寺小学校区	91	5.0	12.8	3.9				
道明寺東小学校区	67	4.0	15.2	1.0				
道明寺南小学校区	60	4.9	17.5	6.8				

4. 地域福祉にかかわる機関や団体について

(1) 社会福祉協議会について

① 藤井寺市社会福祉協議会（市社協）の認知度

- ・ 藤井寺市社会福祉協議会の認知度については「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が46.5%と4割以上を占め最も高くなっている。
- ・ 前回結果と大きな差はみられない。

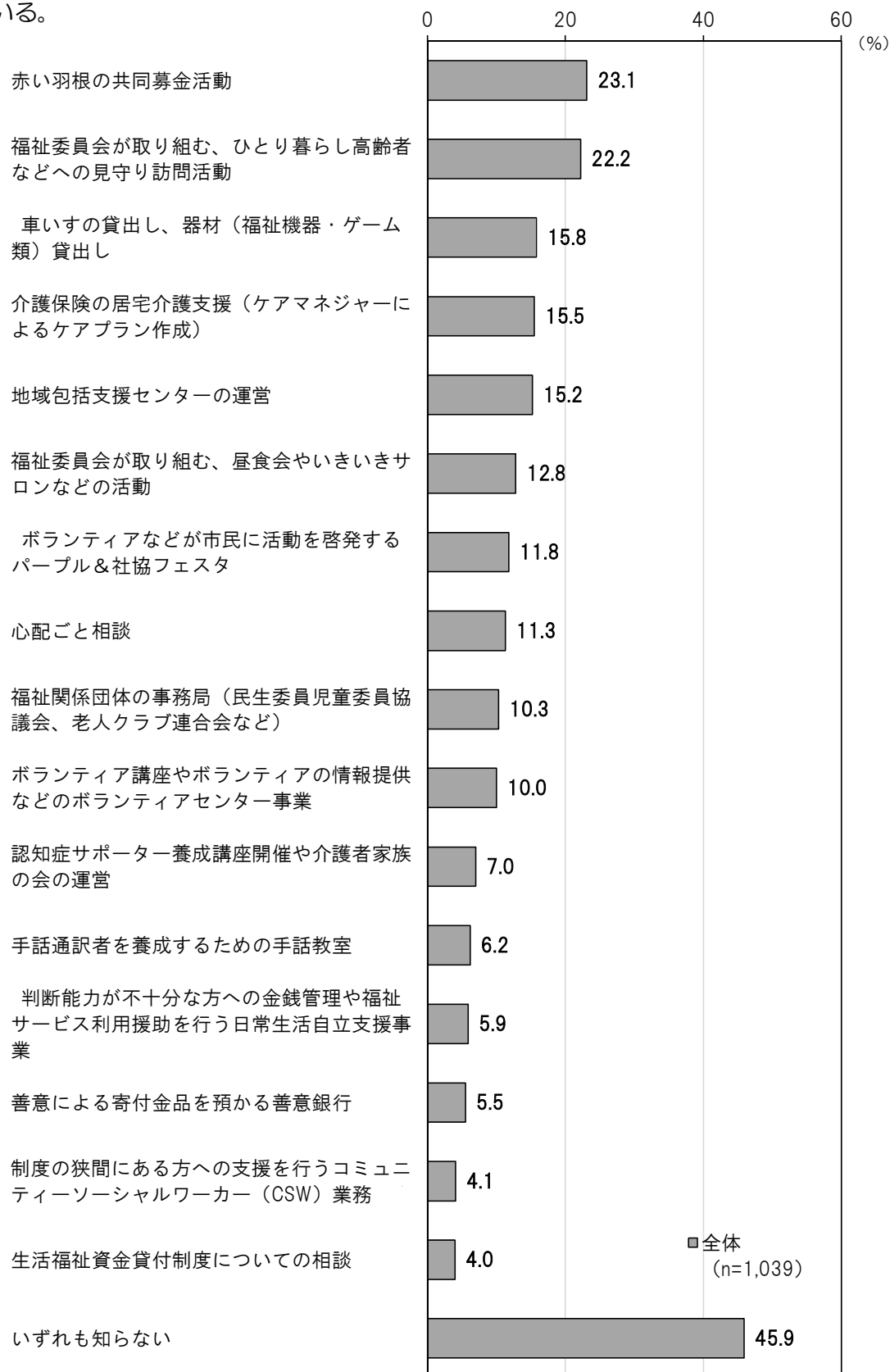


- ・ 年代別にみると、60歳以上で「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が、それ以外の年代では「名前も活動内容もよく知らない」が最も高くなっている。また、年代が下がるにつれ、「名前も活動内容もよく知らない」が高くなり、18～29歳では7割以上となっている。
- ・ 地区別にみると、道明寺南小学校区で「名前も活動内容もよく知らない」が、それ以外の地区では「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が最も高くなっている。

	回答者数(人)	名前も活動内容もよく知っている	名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない	名前も活動内容もよく知らない	無回答
18～29歳	97	-	29.9	70.1	-
30～39歳	98	5.1	39.8	55.1	-
40～49歳	181	6.1	45.9	47.5	0.6
50～59歳	175	11.4	41.7	45.1	1.7
60～69歳	207	10.1	54.1	33.8	1.9
70歳以上	273	17.9	52.7	23.8	5.5
藤井寺小学校区	212	8.5	45.8	43.4	2.4
藤井寺南小学校区	160	11.3	50.6	34.4	3.8
藤井寺西小学校区	118	11.0	49.2	38.1	1.7
藤井寺北小学校区	108	9.3	50.0	38.0	2.8
道明寺小学校区	179	10.6	44.7	44.1	0.6
道明寺東小学校区	99	12.1	50.5	37.4	-
道明寺南小学校区	103	12.6	40.8	45.6	1.0

②知っている市社協の事業

- 市社協の事業の認知度については「いずれも知らない」が 45.9%と4割以上と占め最も高くなっている。知っている事業では「赤い羽根の共同募金活動」が 23.1%と2割以上を占め最も高く、次いで「福祉委員会が取り組む、ひとり暮らし高齢者などへの見守り訪問活動」（22.2%）となっている。



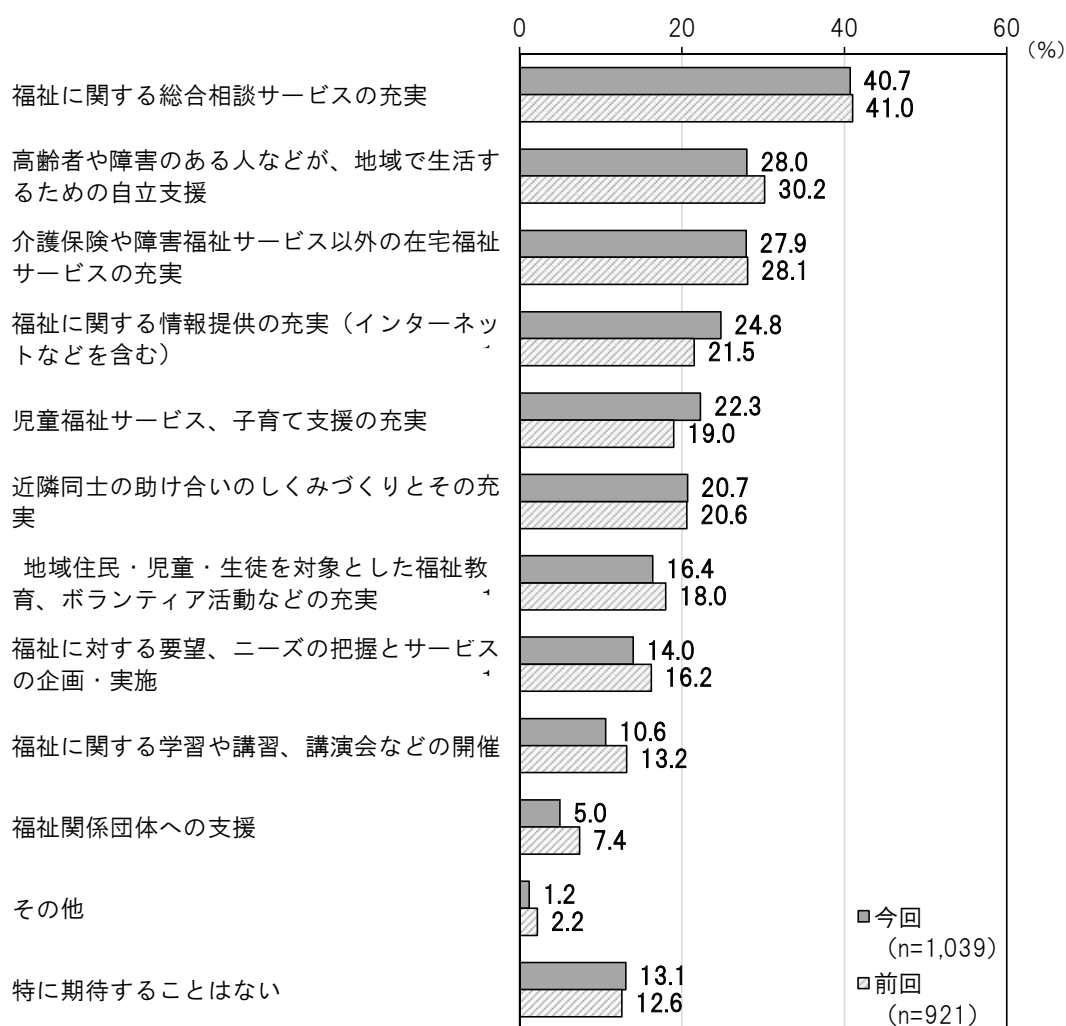
- ・年代別にみると、70 歳以上で「赤い羽根の共同募金活動」が、それ以外の年代では「いずれも知らない」が最も高くなっている。概ね全体的に年代が上がるにつれ認知度が高くなっており、18～39 歳では「いずれも知らない」人の割合が6割以上を占めている。

(%)

	回答者数（人）	福祉委員会が取り組む、ひとり暮らし高齢者などへの見守り訪問活動	福祉委員会が取り組む、昼食会やいきいきサロンなどの活動	ボランティア講座やボランティアの情報提供などのボランティアセンター事業	判断能力が不十分な方への金銭管理や福祉サービス利用援助を行う日常生活自立支援事業	車いすの貸出し、器材（福祉機器・ゲーム類）貸出し	善意による寄付金品を預かる善意銀行	生活福祉資金貸付制度についての相談
18～29歳	97	6.2	3.1	3.1	3.1	7.2	2.1	1.0
30～39歳	98	8.2	9.2	6.1	4.1	9.2	1.0	2.0
40～49歳	181	15.5	10.5	6.1	5.0	6.6	3.3	2.8
50～59歳	175	20.6	13.1	10.9	10.3	17.7	8.0	6.3
60～69歳	207	32.4	17.4	15.0	7.7	16.9	7.2	6.3
70歳以上	273	30.8	15.4	11.4	3.7	24.5	7.0	3.7
	回答者数（人）	手話通訳者を養成するための手話教室	心配ごと相談	福祉関係団体の事務局（民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会など）	赤い羽根の共同募金活動	介護保険の居宅介護支援（ケアマネジャー）によるケアプラン作成	地域包括支援センターの運営	ボランティアなどが市民に活動を啓発するパブル&社協フェスタ
18～29歳	97	2.1	5.2	5.2	17.5	7.2	8.2	3.1
30～39歳	98	3.1	3.1	7.1	14.3	9.2	9.2	10.2
40～49歳	181	5.0	7.7	7.2	17.7	7.2	9.9	12.7
50～59歳	175	4.6	14.3	8.6	16.6	18.3	17.1	10.3
60～69歳	207	9.2	13.0	15.9	27.5	18.8	20.8	15.9
70歳以上	273	8.4	15.4	12.5	32.6	22.0	18.3	13.2
	回答者数（人）	制度の狭間にある方への支援を行うコミュニケーション・ヤルワーカー（CSW）業務	認知症サポーター養成講座の開催や介護者家族の会の運営	いずれも知らない	無回答			
18～29歳	97	3.1	5.2	67.0	-			
30～39歳	98	3.1	5.1	64.3	4.1			
40～49歳	181	2.8	5.5	54.7	4.4			
50～59歳	175	4.6	6.9	53.1	2.3			
60～69歳	207	5.8	9.7	38.2	2.9			
70歳以上	273	4.4	7.7	27.5	8.4			

③市社協に期待すること

- ・市社協に期待することについては「福祉に関する総合相談サービスの充実」が40.7%と最も高く、次いで「高齢者や障害のある人などが、地域で生活するための自立支援」(28.0%)、「介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実」(27.9%)となっている。一方で、「特に期待することはない」が13.1%と1割以上を占めている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



- 年代別にみると、18～39 歳では「児童福祉サービス、子育て支援の充実」が、それ以外の年代では「福祉に関する総合相談サービスの充実」が最も高くなっている。

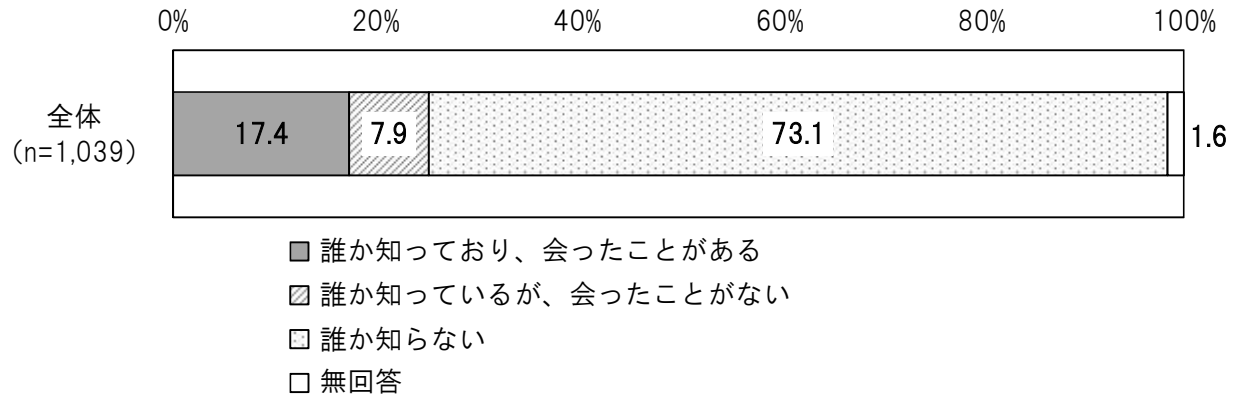
(%)

	回答者数（人）	福祉に関する総合相談サービスの充実	近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実	地域住民・児童・生徒を対象とした福祉教育、ボランティア活動など	児童福祉サービス、子育て支援の充実	介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実	高齢者や障害のある人などが、地域で生活するための自立支援	福祉に関する情報提供の充実（インターネットなどを含む）
18～29歳	97	24.7	18.6	20.6	36.1	21.6	26.8	19.6
30～39歳	98	21.4	24.5	23.5	42.9	9.2	17.3	22.4
40～49歳	181	43.6	16.0	22.7	34.8	26.5	20.4	25.4
50～59歳	175	46.9	16.6	15.4	20.0	33.7	34.9	33.1
60～69歳	207	48.3	24.6	15.5	15.9	30.0	31.9	30.4
70歳以上	273	42.9	23.4	9.9	8.4	32.2	30.0	18.3
	回答者数（人）	福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施	福祉関係団体への支援	福祉に関する学習や講習、講演会などの開催	その他	特に期待することはない	無回答	
18～29歳	97	13.4	6.2	10.3	3.1	25.8	2.1	
30～39歳	98	17.3	3.1	10.2	-	15.3	6.1	
40～49歳	181	12.2	2.2	7.2	1.1	12.7	3.9	
50～59歳	175	18.3	4.0	8.0	1.7	15.4	4.6	
60～69歳	207	18.4	5.8	15.0	0.5	8.7	6.3	
70歳以上	273	8.4	7.0	11.4	1.1	9.2	12.8	

(2) 民生委員児童委員について

① 民生委員児童委員の認知度

- 民生委員児童委員の認知度については「誰か知らない」が 73.1%と7割以上を占め最も高くなっている。「誰か知っており、会ったことがある」は 17.4%と1割以上の人は会ったことがある結果となっている。



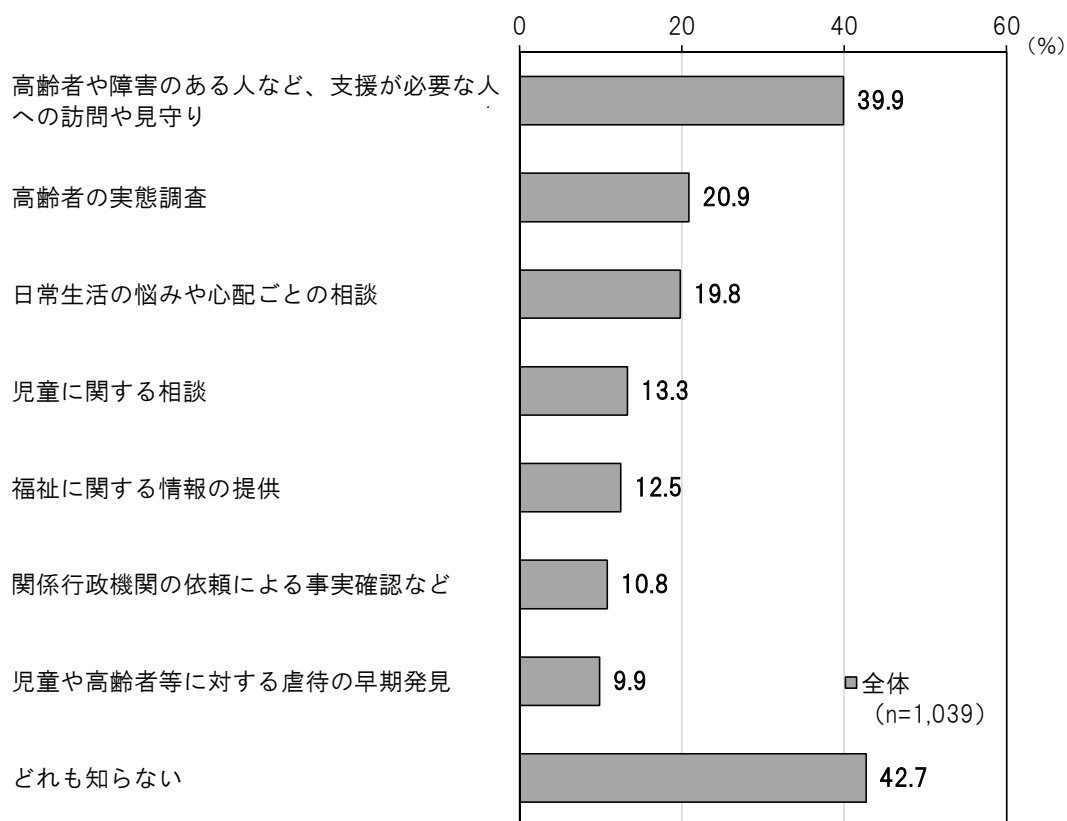
- 年代別にみると、年代が上がるにつれ「誰か知っており、会ったことがある」が高くなっており、70歳以上では3割となっている。一方で18～29歳では「誰か知らない」が9割以上となっている。
- 地区別にみると、道明寺東・道明寺南小学校区で「誰か知っており、会ったことがある」が2割以上となっており、やや高くなっている。

(%)

	回答者数 (人)	誰か知っており、 会ったことがある	誰か知っており、 会ったことがない	誰か知らない	無回答
18～29歳	97	5.2	2.1	92.8	-
30～39歳	98	9.2	4.1	86.7	-
40～49歳	181	10.5	4.4	83.4	1.7
50～59歳	175	11.4	7.4	80.6	0.6
60～69歳	207	21.7	7.7	69.6	1.0
70歳以上	273	30.0	14.3	51.6	4.0
藤井寺小学校区	212	15.1	7.1	75.5	2.4
藤井寺南小学校区	160	15.0	9.4	75.0	0.6
藤井寺西小学校区	118	15.3	11.9	72.0	0.8
藤井寺北小学校区	108	12.0	10.2	75.0	2.8
道明寺小学校区	179	17.9	7.8	73.2	1.1
道明寺東小学校区	99	28.3	9.1	61.6	1.0
道明寺南小学校区	103	26.2	1.0	71.8	1.0

②知っている民生委員児童委員の活動

- ・ 民生委員児童委員の活動の認知度については「どれも知らない」が 42.7%と4割以上を占め最も高くなっている。知っている活動では「高齢者や障害のある人など、支援が必要な人への訪問や見守り」が39.9%と4割近くを占め最も高く、次いで「高齢者の実態調査」(20.9%)、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」(19.8%)となっている。



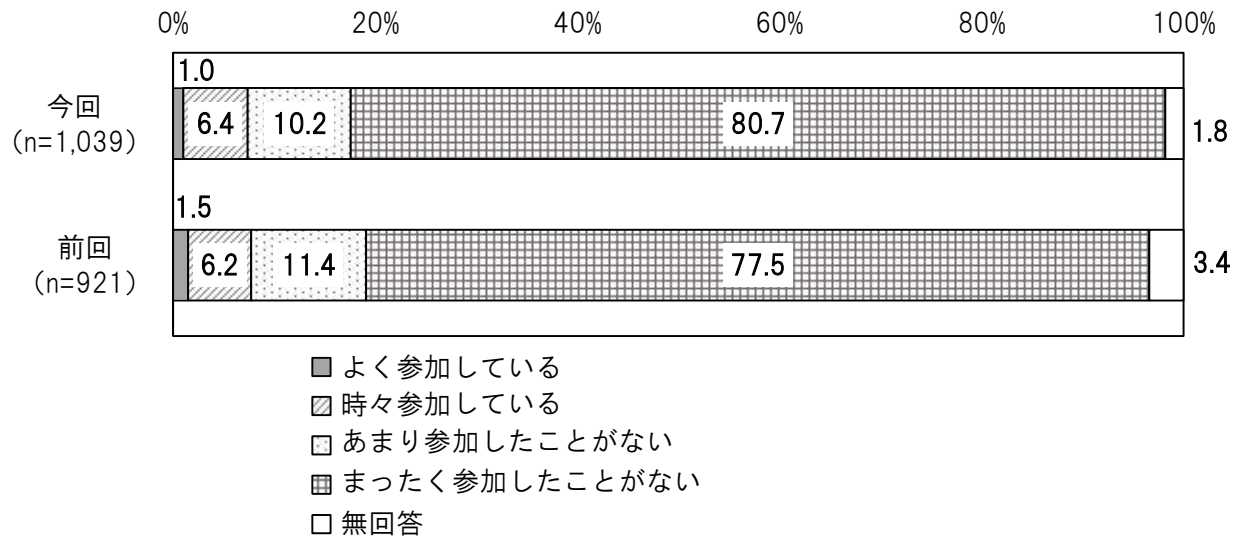
- ・年代別にみると、18～49 歳までは「どれも知らない」が、50 歳以上では「高齢者や障害のある人など、支援が必要な人への訪問や見守り」が最も高くなっている。また、60～69 歳で「高齢者の実態調査」が3割以上を占め高くなっている。
- ・地区別にみると、藤井寺南・道明寺東小学校区で「高齢者や障害のある人など、支援が必要な人への訪問や見守り」が、それ以外の地区では「どれも知らない」が最も高くなっている。また、道明寺東小学校区で「高齢者の実態調査」が3割以上を占め高くなっている。

(%)

	回答者数 (人)	高齢者や障害のある人など、支援が必要な人への訪問や見守り	日常生活の悩みや心配ごとの相談	児童に関する相談	高齢者の実態調査	児童や高齢者等に対する虐待の早期発見
18～29歳	97	16.5	9.3	9.3	10.3	6.2
30～39歳	98	21.4	13.3	13.3	11.2	9.2
40～49歳	181	34.8	15.5	13.3	13.3	7.7
50～59歳	175	45.1	21.1	16.6	20.6	12.6
60～69歳	207	51.2	24.2	15.0	32.9	10.6
70歳以上	273	46.9	23.8	11.0	24.5	11.0
藤井寺小学校区	212	36.3	17.9	11.3	22.2	11.3
藤井寺南小学校区	160	48.8	23.1	12.5	20.6	9.4
藤井寺西小学校区	118	34.7	17.8	19.5	16.9	14.4
藤井寺北小学校区	108	40.7	13.9	13.9	18.5	7.4
道明寺小学校区	179	40.8	25.1	15.1	22.3	11.7
道明寺東小学校区	99	45.5	22.2	11.1	30.3	8.1
道明寺南小学校区	103	38.8	19.4	15.5	20.4	6.8
	回答者数 (人)	福祉に関する情報提供	関係行政機関の依頼による事実確認など	どれも知らない	無回答	
18～29歳	97	5.2	5.2	72.2	-	
30～39歳	98	6.1	7.1	65.3	1.0	
40～49歳	181	11.0	6.1	51.9	2.8	
50～59歳	175	12.0	13.1	38.9	0.6	
60～69歳	207	18.4	14.5	30.9	1.4	
70歳以上	273	14.3	12.8	29.7	11.4	
藤井寺小学校区	212	12.3	10.8	42.9	4.2	
藤井寺南小学校区	160	13.1	14.4	38.8	3.1	
藤井寺西小学校区	118	11.0	11.0	44.9	3.4	
藤井寺北小学校区	108	11.1	6.5	43.5	4.6	
道明寺小学校区	179	10.6	14.5	43.6	2.2	
道明寺東小学校区	99	14.1	10.1	38.4	3.0	
道明寺南小学校区	103	18.4	8.7	43.7	3.9	

(3) 福祉に関する研修会、ボランティア講座、セミナーなどへの参加経験

- 福祉に関する研修会、ボランティア講座、セミナーなどへの参加経験については「まったく参加したことがない」が80.7%と8割以上を占め最も高く、次いで「あまり参加したことがない」(10.2%)となっている。「あまり参加したことがない」・「まったく参加したことがない」を合わせた『参加していない』は90.9%と9割以上となっている。

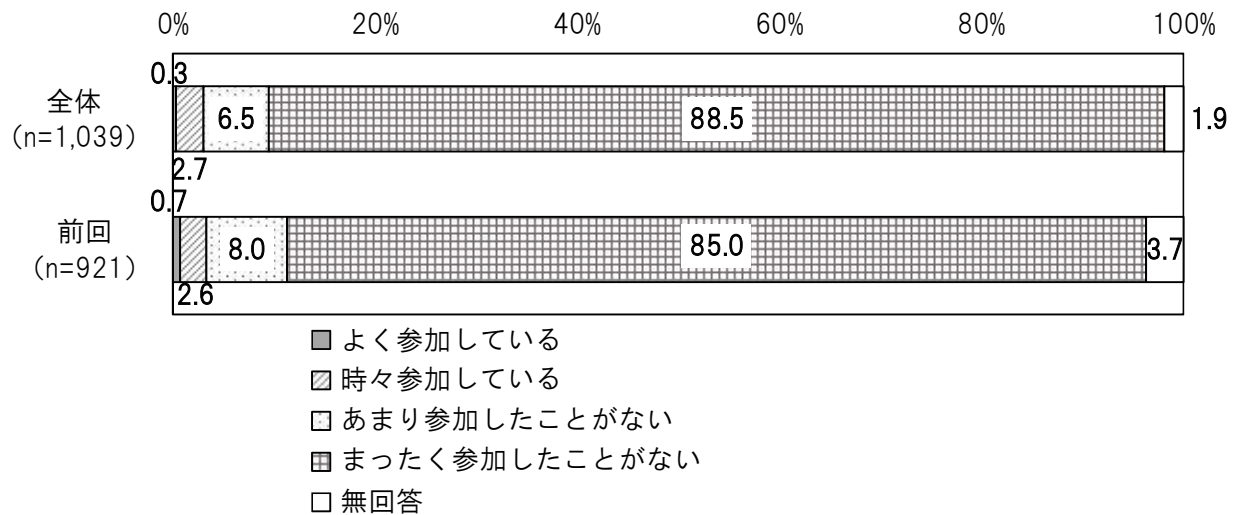


- 年代別にみると、年代が下がるにつれ『参加していない』が高くなる傾向にあり、18～49歳では95%以上となっている。70歳以上で「時々参加している」が1割近くとなっている。

						(%)
	回答者数(人)	よく参加している	時々参加している	あまり参加したことがない	まったく参加したことがない	無回答
18～29歳	97	-	4.1	7.2	88.7	-
30～39歳	98	1.0	3.1	7.1	88.8	-
40～49歳	181	-	3.9	7.7	87.8	0.6
50～59歳	175	0.6	6.3	11.4	80.6	1.1
60～69歳	207	1.9	7.7	14.0	74.4	1.9
70歳以上	273	1.5	9.2	10.3	74.7	4.4

(4) 地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会への参加経験

- ・地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会への参加経験については「まったく参加したことがない」が88.5%と9割近くを占め最も高くなっている。「あまり参加したことがない」・「まったく参加したことがない」を合わせた『参加していない』は95.0%と9割以上を占めている。



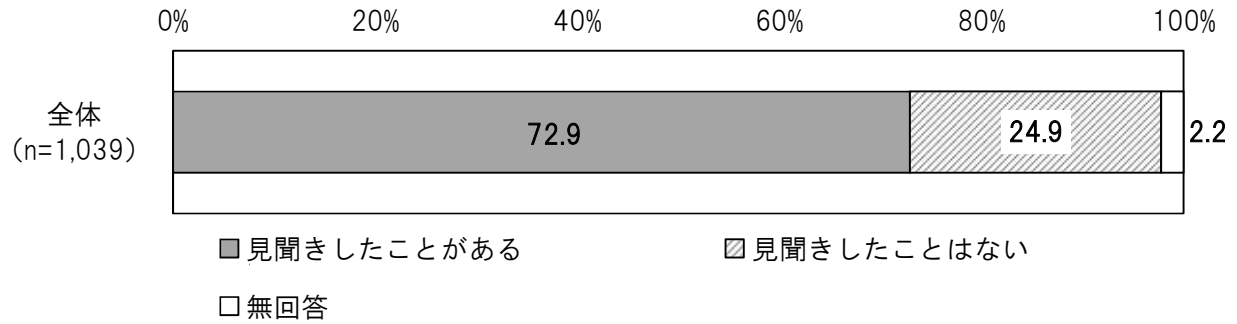
- ・年代別にみると、概ね、年代が下がるにつれ『参加していない』が高くなる傾向にある。70歳以上では『参加していない』人の割合は9割未満となっている。

						(%)
	回答者数(人)	よく参加している	時々参加している	あまり参加したことがない	まったく参加したことがない	無回答
18～29歳	97	-	1.0	1.0	96.9	1.0
30～39歳	98	-	2.0	1.0	96.9	-
40～49歳	181	-	1.7	2.8	94.5	1.1
50～59歳	175	-	1.7	5.1	92.6	0.6
60～69歳	207	1.0	1.9	8.2	87.4	1.4
70歳以上	273	0.4	5.5	12.5	76.9	4.8

(5) 孤立死について

① 孤立死についての見聞き

- ・ 孤立死についての見聞きについては「見聞きしたことがある」が 72.9%と7割以上を占め最も高くなっている。



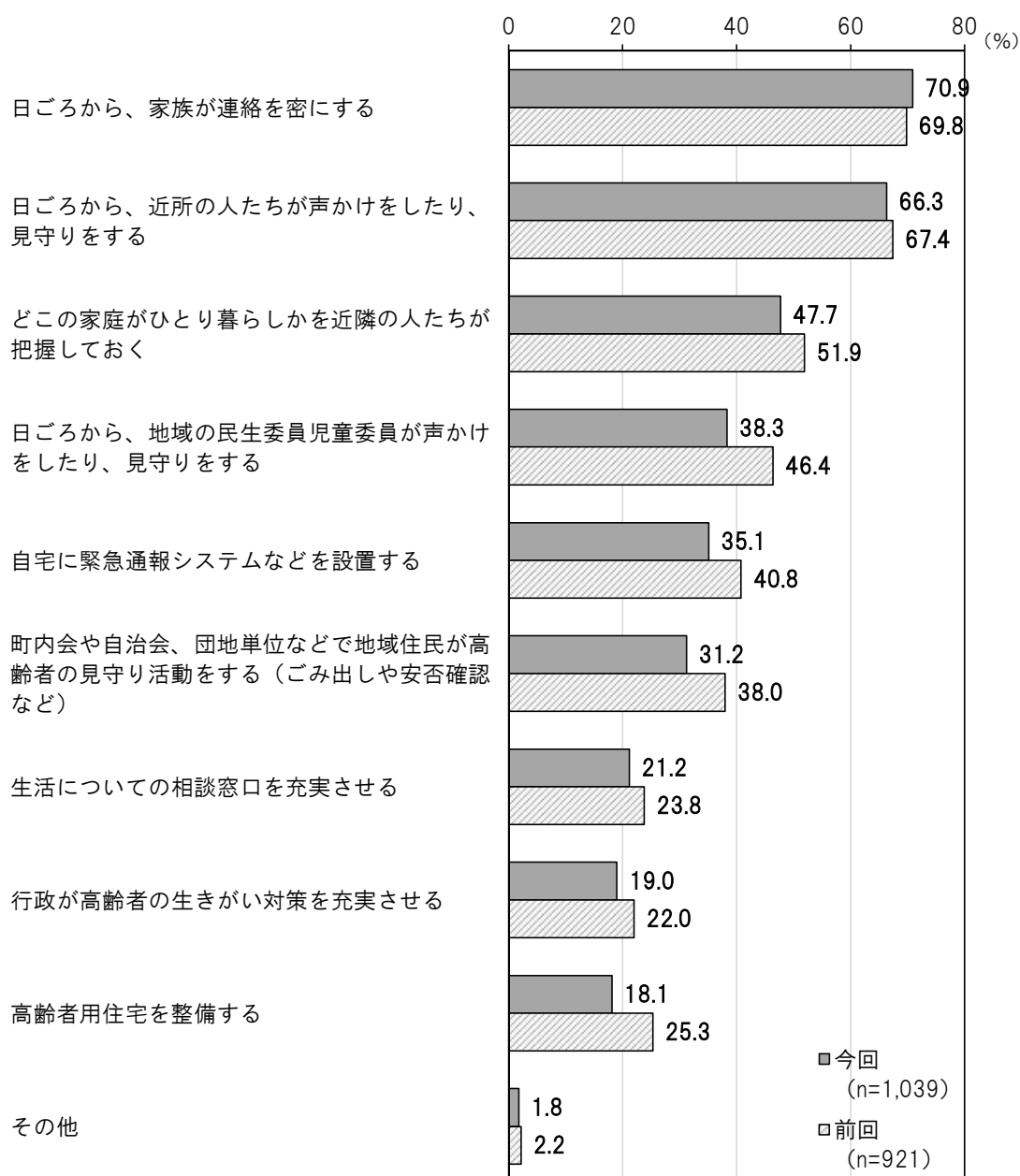
- ・ 年代別にみると、30～39 歳で「見聞きしたことがある」がやや高くなっている一方で、70 歳以上では7割未満とやや低くなっている。

(%)

	回答者数 (人)	見聞きしたことがある	見聞きしたことはない	無回答
18～29歳	97	76.3	23.7	-
30～39歳	98	79.6	20.4	-
40～49歳	181	74.6	22.7	2.8
50～59歳	175	70.9	26.3	2.9
60～69歳	207	77.8	21.3	1.0
70歳以上	273	65.9	30.0	4.0

②孤立死を防止するために必要なこと

- ・孤立死を防止するために必要なことについては「日ごろから、家族が連絡を密にする」が 70.9% と 7 割以上を占め最も高く、次いで「日ごろから近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする」(66.3%)、「どこかの家庭がひとり暮らしかを近隣の人たちが把握しておく」(47.7%) となっている。
- ・前回結果と比較すると、「日ごろから、地域の民生委員児童委員が声かけをしたり、見守りをする」、「自宅に緊急通報システムを設置する」、「町内会や自治会、団地単位などで地域住民が高齢者の見守り活動をする(ごみ出しや安否確認など)」、「高齢者用住宅を整備する」で前回よりポイントがやや低くなっている。



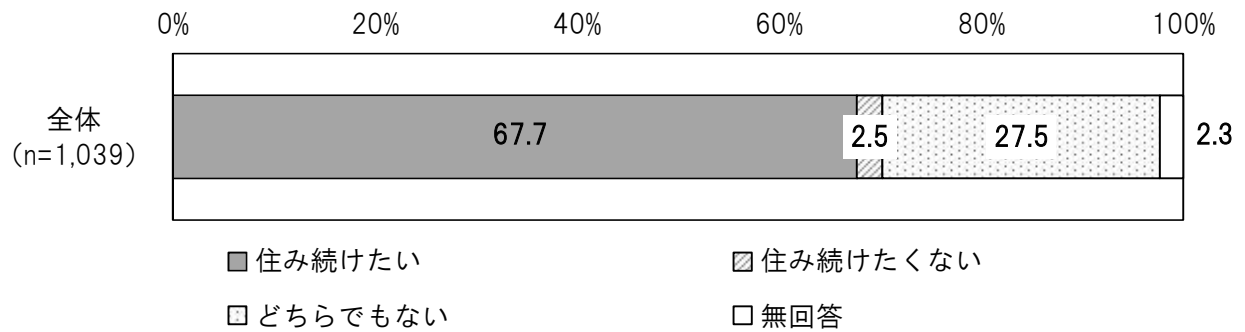
- 年代別にみると、60～69 歳で「日ごろから近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする」が、それ以外の年代で「日ごろから、家族が連絡を密にする」が最も高くなっている。
- 地区別にみると、道明寺・道明寺東小学校区で「日ごろから近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする」が、それ以外の地区では「日ごろから、家族が連絡を密にする」が最も高くなっている。

(%)

	回答者数（人）	日ごろから、家族が連絡を密にする	日ごろから、近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする	日ごろから、地域の民生委員児童委員が声かけをしたり、見守りをする	どこの家庭がひとり暮らしかを近隣の人たちが把握しておく	町内会や自治会、団地単位などで地域住民が高齢者の見守り活動をする	高齢者用住宅を整備する
18～29歳	97	78.4	61.9	32.0	38.1	29.9	18.6
30～39歳	98	76.5	66.3	37.8	39.8	33.7	25.5
40～49歳	181	71.8	65.7	37.6	44.8	26.5	21.0
50～59歳	175	70.9	70.3	45.1	46.9	29.7	26.9
60～69歳	207	69.1	70.5	42.5	53.1	32.9	15.5
70歳以上	273	66.7	62.3	33.3	52.4	33.7	9.9
藤井寺小学校区	212	68.4	64.2	39.2	44.8	31.1	19.8
藤井寺南小学校区	160	73.1	68.8	40.0	50.0	35.6	14.4
藤井寺西小学校区	118	72.9	59.3	33.1	48.3	32.2	13.6
藤井寺北小学校区	108	75.0	64.8	38.9	49.1	33.3	11.1
道明寺小学校区	179	70.9	72.1	45.3	53.1	36.3	24.0
道明寺東小学校区	99	64.6	66.7	30.3	48.5	24.2	10.1
道明寺南小学校区	103	78.6	72.8	35.9	45.6	27.2	17.5
	回答者数（人）	自宅に緊急通報システムなどを設置する	行政が高齢者の生きがいを対策を充実させる	生活に充実に相対する	その他	無回答	
18～29歳	97	27.8	20.6	25.8	2.1	-	
30～39歳	98	35.7	27.6	23.5	2.0	-	
40～49歳	181	30.4	15.5	21.0	2.2	1.7	
50～59歳	175	38.9	17.7	17.7	1.7	1.1	
60～69歳	207	41.1	21.7	23.2	0.5	1.9	
70歳以上	273	33.7	16.5	20.1	2.6	6.6	
藤井寺小学校区	212	35.8	16.0	18.9	0.5	2.4	
藤井寺南小学校区	160	37.5	23.1	23.1	1.9	1.3	
藤井寺西小学校区	118	40.7	21.2	19.5	3.4	2.5	
藤井寺北小学校区	108	32.4	14.8	16.7	1.9	5.6	
道明寺小学校区	179	33.5	24.0	25.1	2.2	1.7	
道明寺東小学校区	99	33.3	15.2	17.2	2.0	1.0	
道明寺南小学校区	103	31.1	17.5	21.4	1.9	1.9	

(6) 今後の藤井寺市への居留意向について

- 今後の藤井寺市への居留意向については「住み続けたい」が 67.7%と6割以上を占め最も高く、次いで「どちらでもない」(27.5%) となっている。



- 年代別にみると、18～29 歳、40～49 歳で「住み続けたい」が低くなっており、特に 18～29 歳では半数未満となっている。

(%)

	回答者数 (人)	住み 続け たい	住み 続け たく ない	ど ち ら で も な い	無 回 答
18～29歳	97	48.5	1.0	50.5	-
30～39歳	98	69.4	1.0	28.6	1.0
40～49歳	181	59.1	4.4	35.4	1.1
50～59歳	175	65.1	4.0	29.7	1.1
60～69歳	207	73.9	2.4	21.7	1.9
70歳以上	273	77.3	1.5	15.8	5.5

5. 自由記述

- ・地域福祉推進についての自由意見では 185 件の意見が寄せられ、意見内容としては下表のような内容となっています。（1つの自由意見で複数に分類されている意見があるため件数の合計は 235 件となっています。）

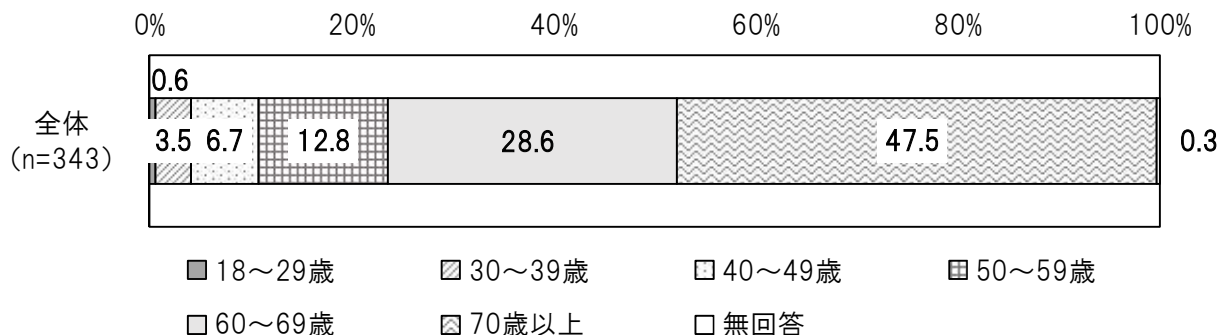
自由意見カテゴリー	件数
(1) 地域福祉への関心・考え	38 件
(2) 情報提供の充実	28 件
(3) 市役所、地域福祉に関わる機関・団体について	24 件
(4) 市からの支援について	23 件
(5) 高齢者・介護サービスの充実	21 件
(6) 近所・地域とのつながりについて	19 件
(7) 子育てサービスの充実	18 件
(8) アンケートについて	13 件
(9) 住環境・交通環境の整備	12 件
(10) 相談体制の整備	9 件
(11) ボランティア・福祉活動について	9 件
(12) 福祉についての教育・啓発	5 件
(13) 藤井寺市への居住意向について	5 件
(14) 障害者福祉の充実	5 件
(15) その他	5 件
合計	235 件

Ⅲ 福祉関係者アンケート調査結果

1. 回答者の属性、活動団体について

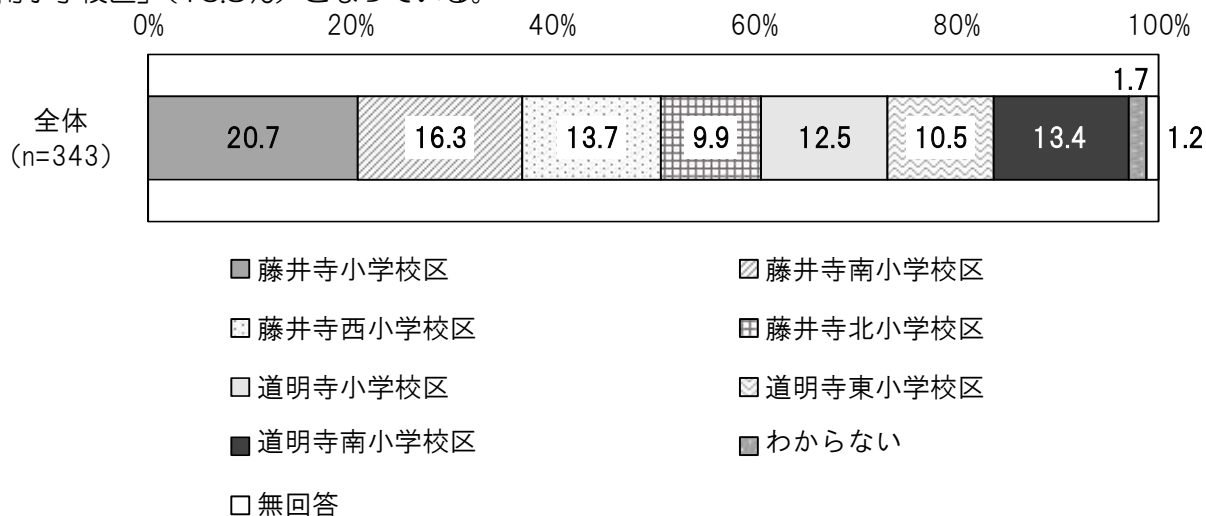
(1) 年齢

- ・年齢は「70 歳以上」が 47.5%と 4 割以上を占め最も高く、次いで「60～69 歳」(28.6%) となっている。60 歳以上が 76.1%と 7 割以上を占めている。



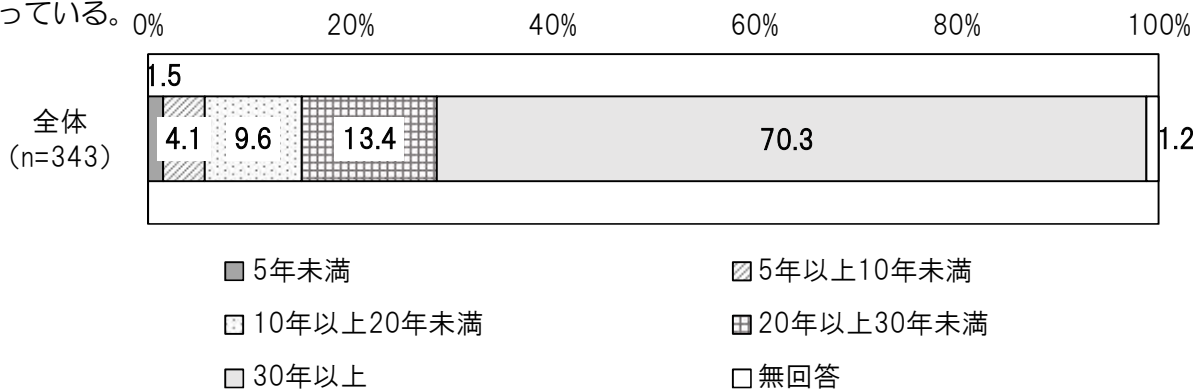
(2) 居住地区 (小学校区)

- ・居住地区については、「藤井寺小学校区」が 20.7%と 2 割以上を占め最も高く、次いで「藤井寺南小学校区」(16.3%) となっている。



(3) 現在の小学校区での居住年数

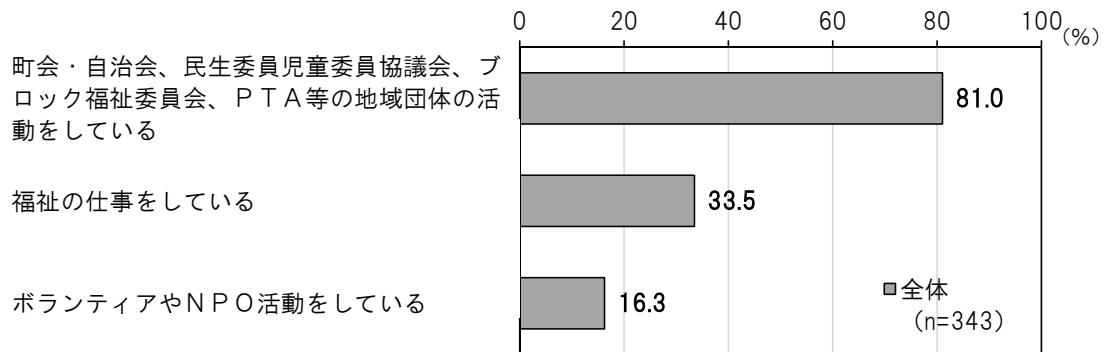
- ・現在の小学校区での居住年数については、「30 年以上」が 70.3%と 7 割以上を占め最も高くなっている。



(4) 福祉とのかかわりについて

①福祉とのかかわりとその年数

- 福祉とのかかわりについては「町会・自治会、民生委員児童委員協議会、ブロック福祉委員会、PTA等の地域団体の活動をしている」が81.0%と8割以上を占め最も高くなっている。

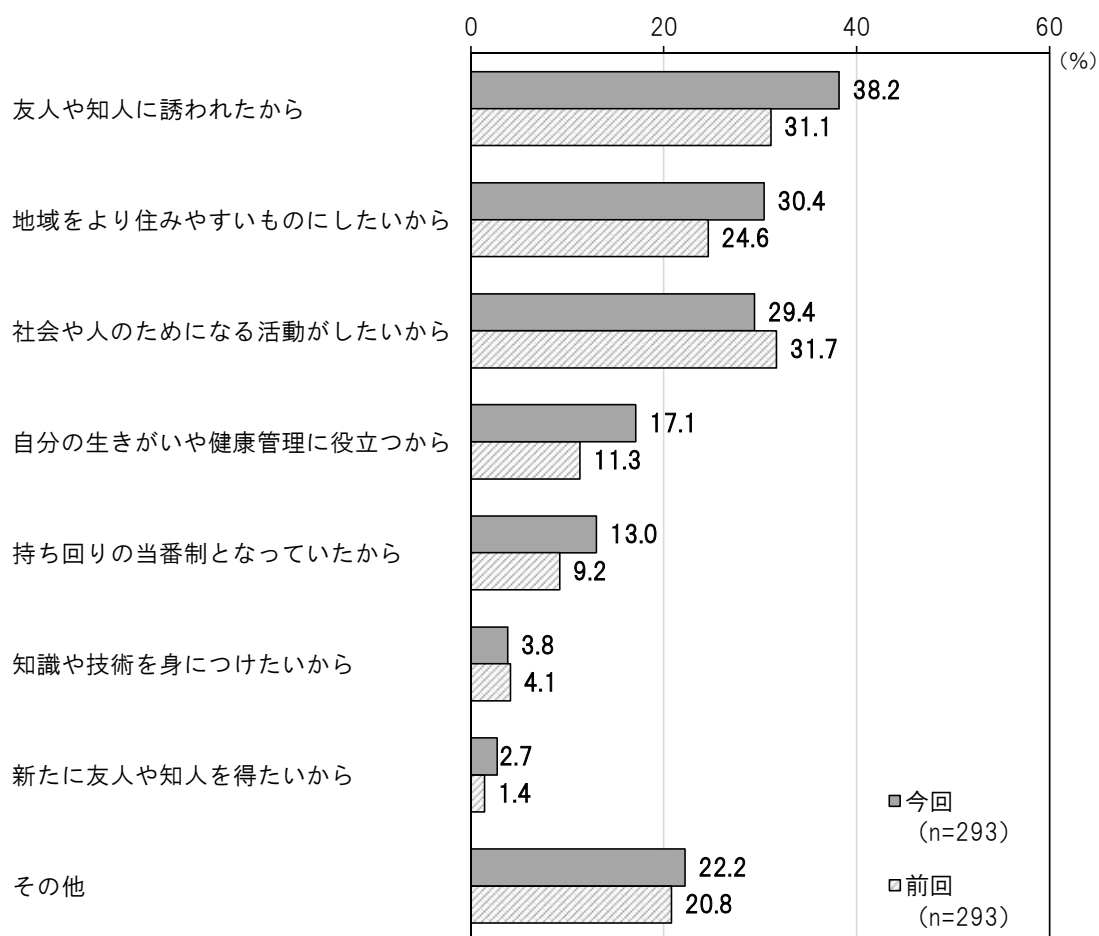


- 福祉とのかかわりの年数については「地域団体の活動」・「福祉の仕事」で「5年未満」が3割以上を占め最も高く、「ボランティア・NPO活動」で「20年以上」が3割近くを占め最も高くなっている。

		(%)					
	回答者数 (人)	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
地域団体活動	278	39.2	18.0	16.5	10.1	11.5	4.7
福祉の仕事	115	33.0	21.7	27.0	9.6	8.7	-
ボランティア・NPO活動	56	16.1	21.4	23.2	8.9	28.6	1.8

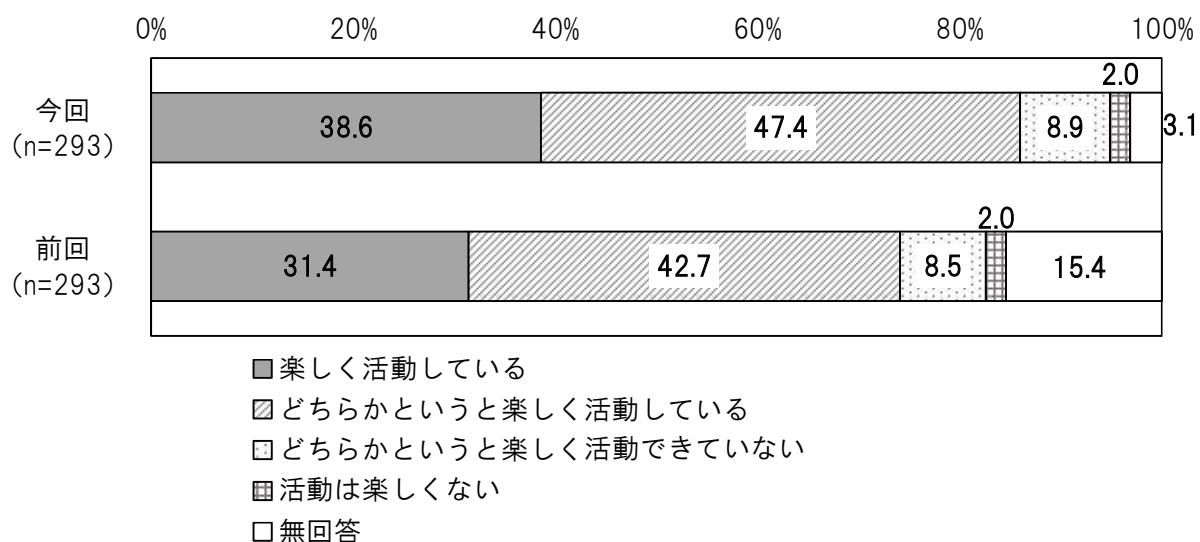
②活動のきっかけ（※①で「町会・自治会、民生委員児童委員、ブロック福祉委員会、PTA等の地域団体の活動をしている」「ボランティアやNPO活動をしている」と回答した方のみ）

- 活動のきっかけについては、「友人や知人に誘われたから」が38.2%と最も高く、次いで「地域をより住みやすいものにしたいから」(30.4%)、「社会や人のためになる活動がしたいから」(29.4%)となっている。
- その他意見では、「区長・前任者等から依頼を受けた、推薦された」等の意見が多く見られた。
- 前回結果と比較すると、「友人や知人に誘われたから」、「地域をより住みやすいものにしたいから」、「自分の生きがいや健康管理に役立つから」で前回よりやや高くなっている。



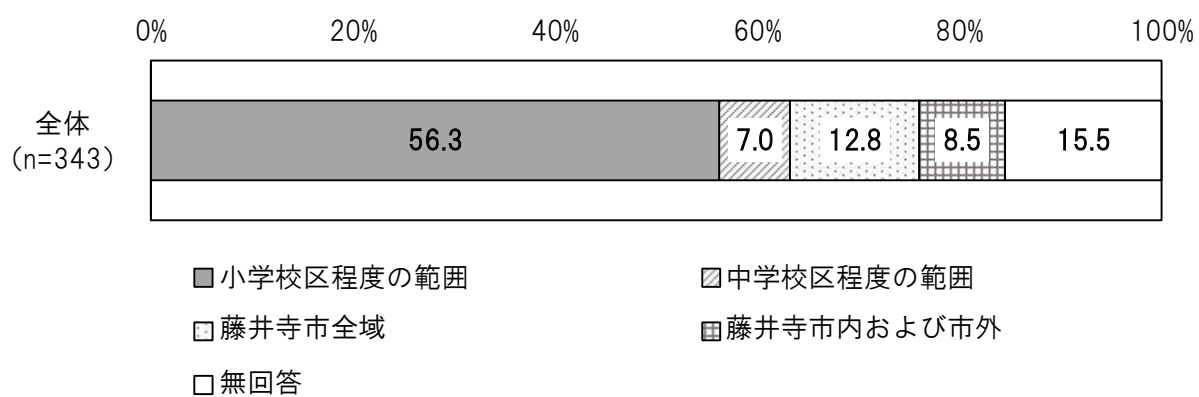
③楽しく活動しているか（※①で「町会・自治会、民生委員児童委員、ブロック福祉委員会、PTA等の地域団体の活動をしている」「ボランティアやNPO活動をしている」と回答した方のみ）

- 活動の楽しさについては、「どちらかという楽しく活動できている」が47.4%と最も高く、次いで「楽しく活動している」（38.6%）となっている。また、「楽しく活動している」・「どちらかという楽しく活動している」を合わせた『楽しく活動している』は86.0%となっている。
- 前回結果と比較すると、『楽しく活動している』が前回より11.9ポイント高くなっている。



（５）所属している事業所・団体の活動範囲

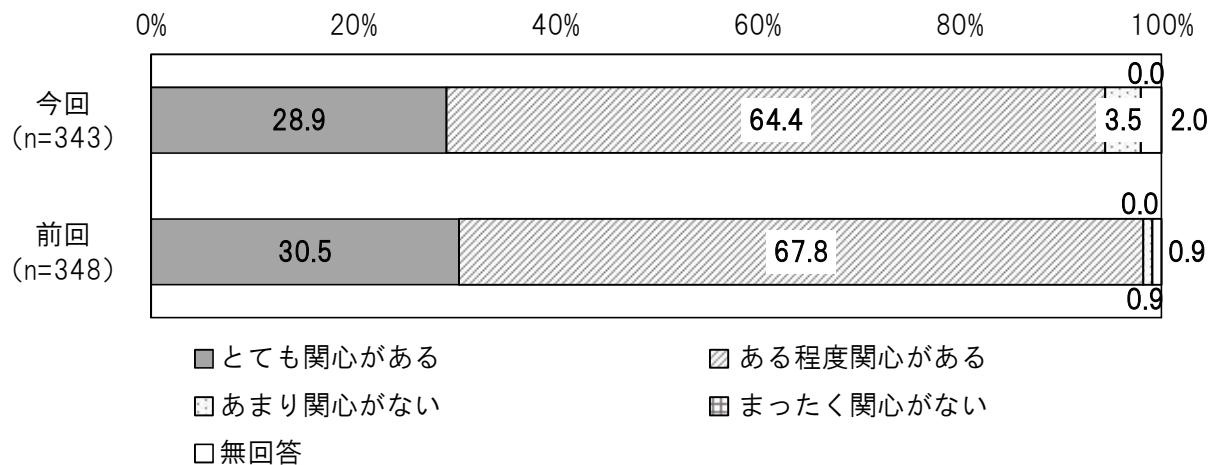
- 事業所・団体の活動範囲については、「小学校区程度の範囲」が56.3%と半数以上を占め最も高く、次いで「藤井寺市全域」（12.8%）となっている。



2. 地域や福祉に関する意識について

(1) 社会的立場の弱い人々をとりまく地域の福祉課題への関心

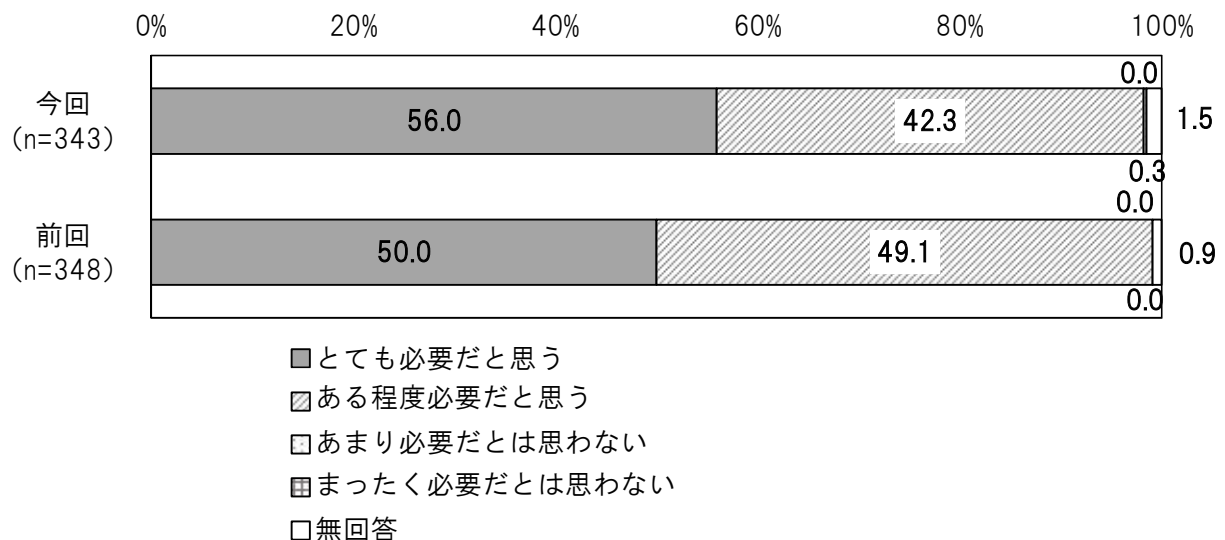
- ・福祉課題への関心については、「ある程度関心がある」が64.4%と6割以上を占め最も高く、次いで「とても関心がある」(28.9%)となっている。また、「とても関心がある」・「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は93.3%と9割以上となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



(2) 地域の福祉課題に対する、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性

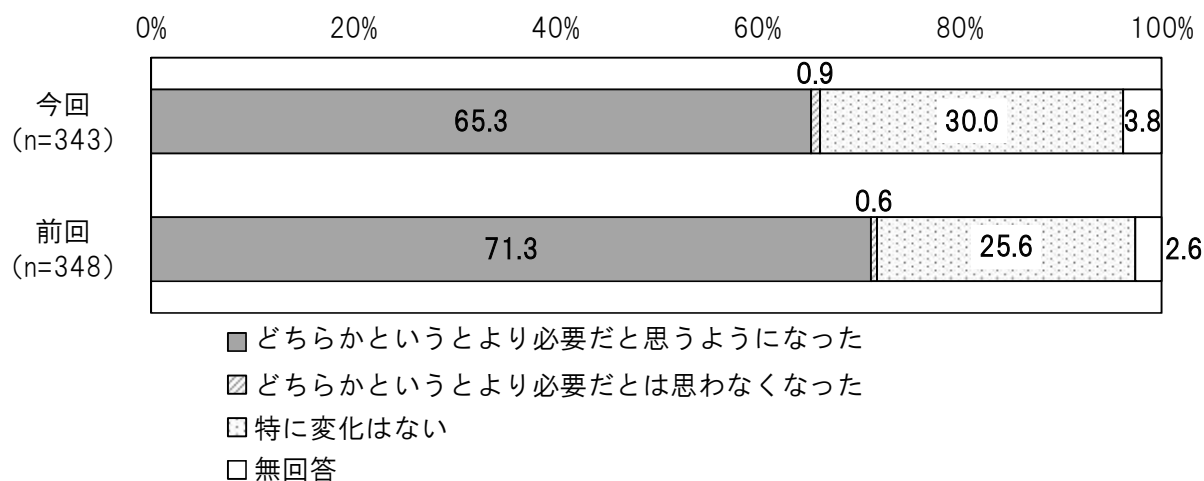
① 地域の福祉課題に対する、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性

- ・住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性については、「とても必要だと思う」が56.0%と半数以上を占め最も高く、次いで「ある程度必要だと思う」(42.3%)となっている。また、「とても必要だと思う」・「ある程度必要だと思う」を合わせた『必要だと思う』は98.3%と9割以上となっている。
- ・前回結果と比較すると、「とても必要だと思う」割合が前回より6.0ポイント高くなっている。



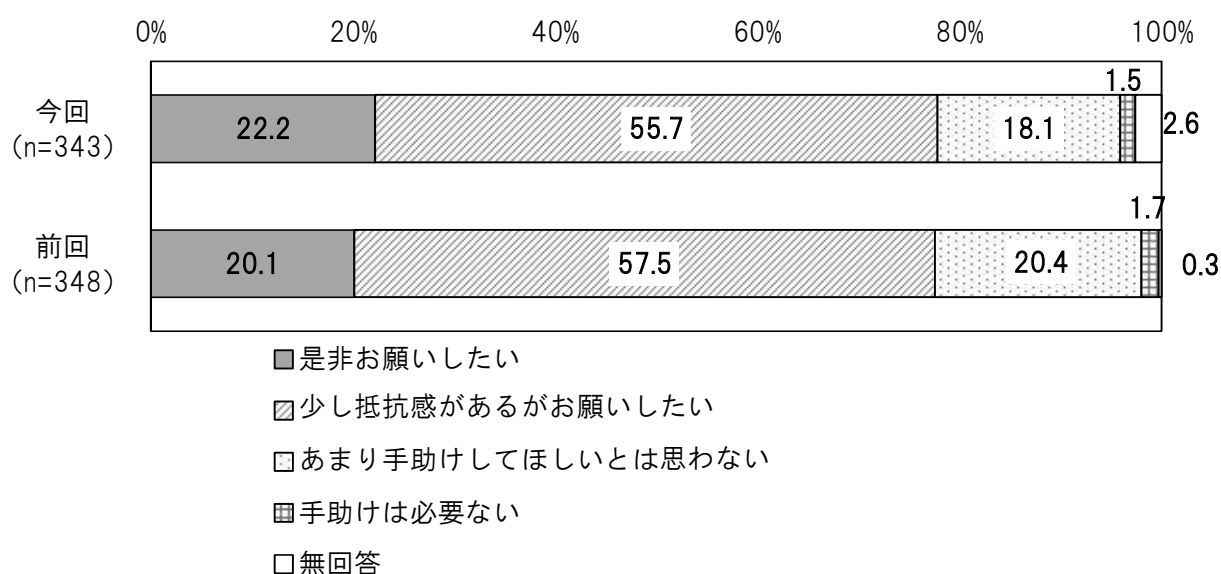
②地域の福祉課題に対する、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性の変化

- ・住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性の変化については、「どちらかというより必要だと思うようになった」が65.3%と6割以上を占め最も高くなっている。
- ・前回結果と比較すると、「どちらかというより必要だと思うようになった」割合が前回より6.0ポイント低くなっている。



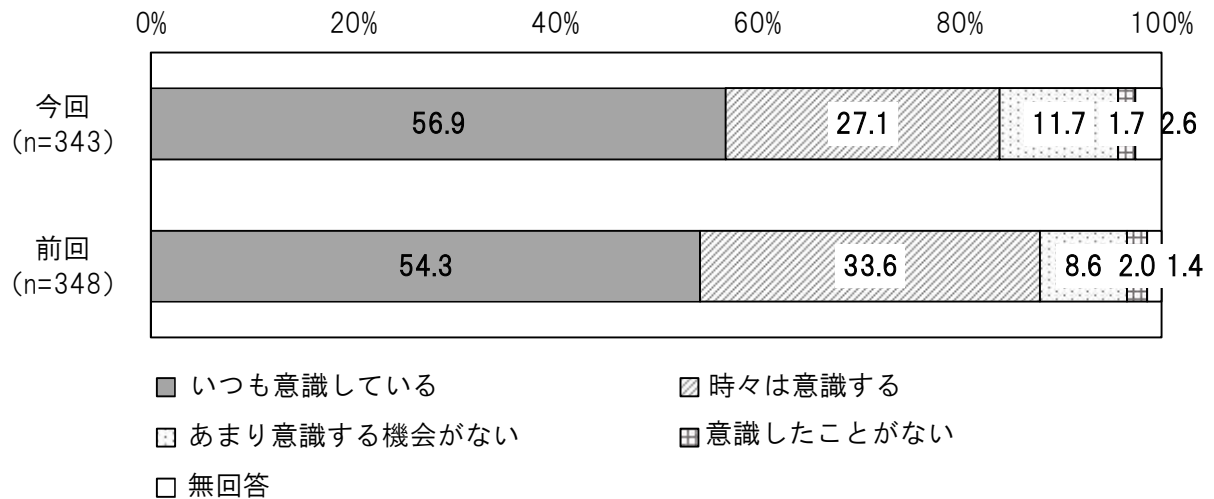
(3) 日常生活で介助や支援が必要になった場合、近所の人などから手助けしてもらうことについて

- ・近所の人からの手助けについては、「少し抵抗感があるがお願いしたい」が55.7%と半数以上を占め最も高く、次いで「是非お願いしたい」(22.2%)となっている。また、「是非お願いしたい」・「少し抵抗感があるがお願いしたい」を合わせた『手助けしてほしい』は77.9%と7割以上となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



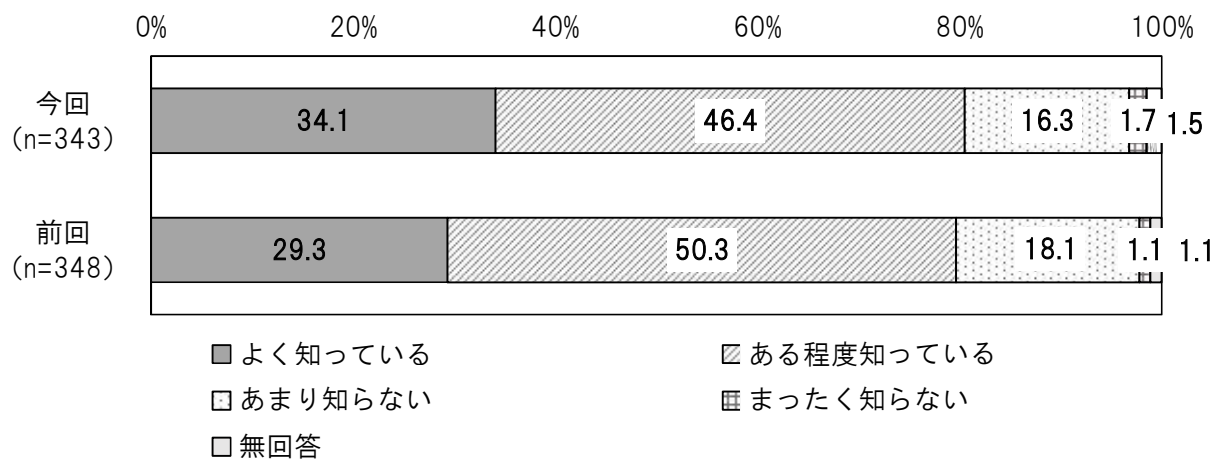
(4) 日頃、人権尊重を意識して活動しているか

- ・人権尊重の意識については、「いつも意識している」が56.9%と最も高く、次いで「時々意識する」(27.1%)となっている。また、「いつも意識している」・「時々意識する」を合わせた『意識している』は84.0%と8割以上となっている。



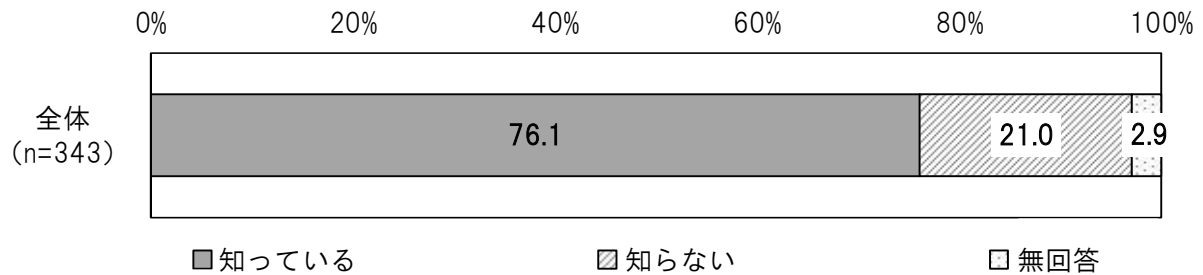
(5) 民生委員児童委員の役割の認知度

- ・民生委員児童委員の役割の認知度については、「ある程度知っている」が46.4%と最も高く、次いで「よく知っている」(34.1%)となっている。また、「よく知っている」・「ある程度知っている」を合わせた『知っている』は80.5%と8割以上となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



(6) CSW が市社協に配置されていることの認知度

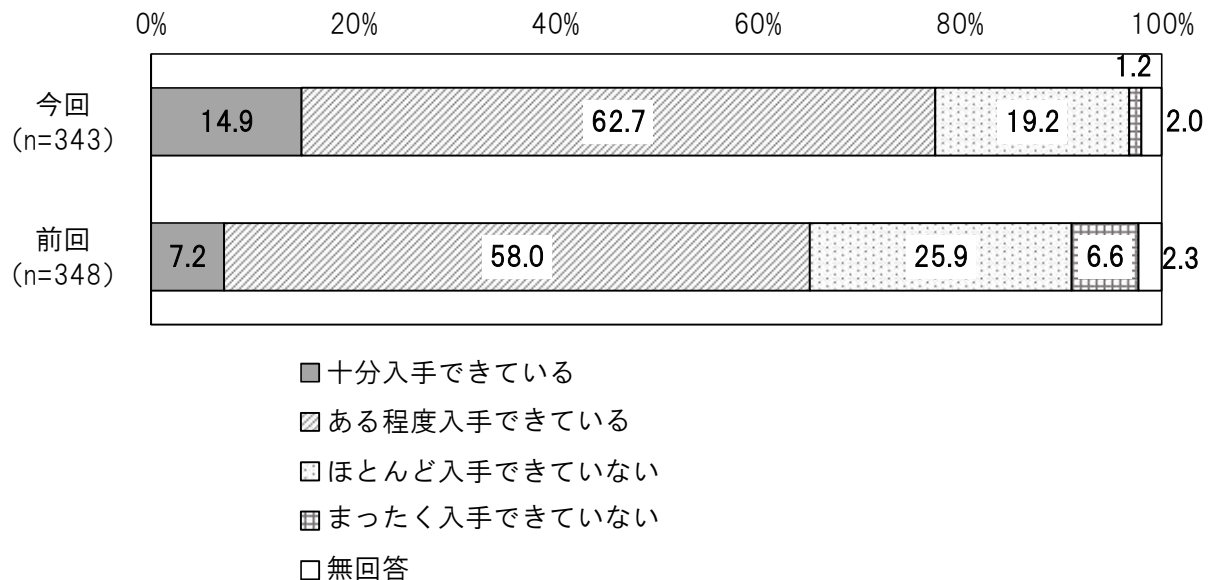
- CSW が市社協に配置されていることの認知度については、「知っている」が 76.1%と 7 割以上を占め最も高く、「知らない」は 21.0%と 2 割以上となっている。



(7) 福祉の相談窓口や福祉サービス情報など、情報の入手について

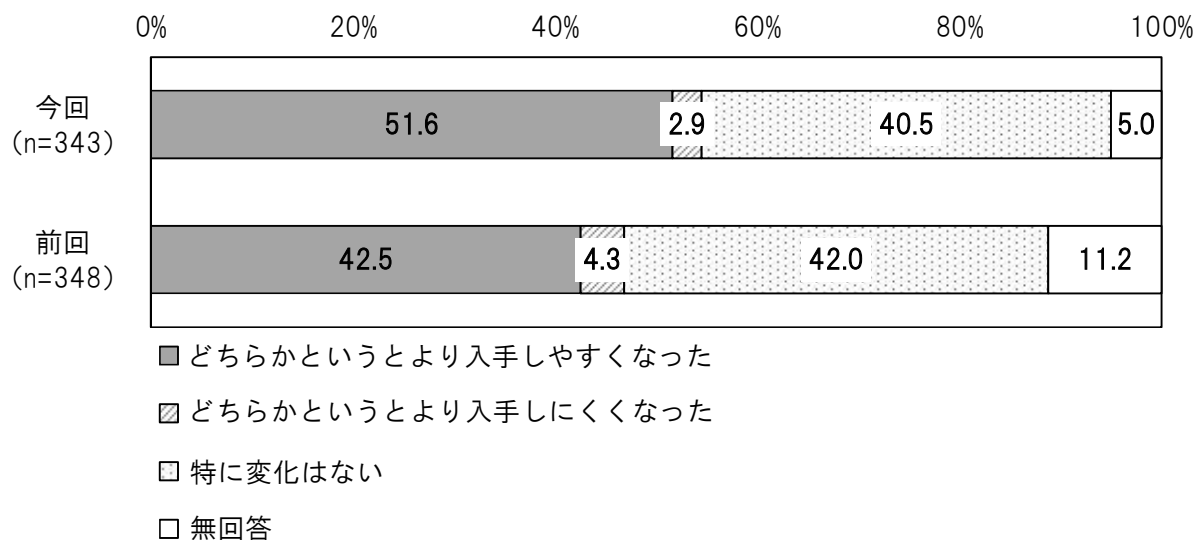
① 福祉の相談窓口や福祉サービス情報など、情報の入手状況

- 福祉の相談窓口や福祉サービス情報などの情報の入手状況については、「ある程度入手できている」が 62.7%と 6 割以上を占め最も高く、次いで「ほとんど入手できていない」(19.2%) となっている。また、「十分入手できている」・「ある程度入手できている」を合わせた『入手できている』は 77.6%と 7 割以上となっている。
- 前回結果と比較すると、『入手できている』割合は前回より 12.4 ポイント高くなっている。



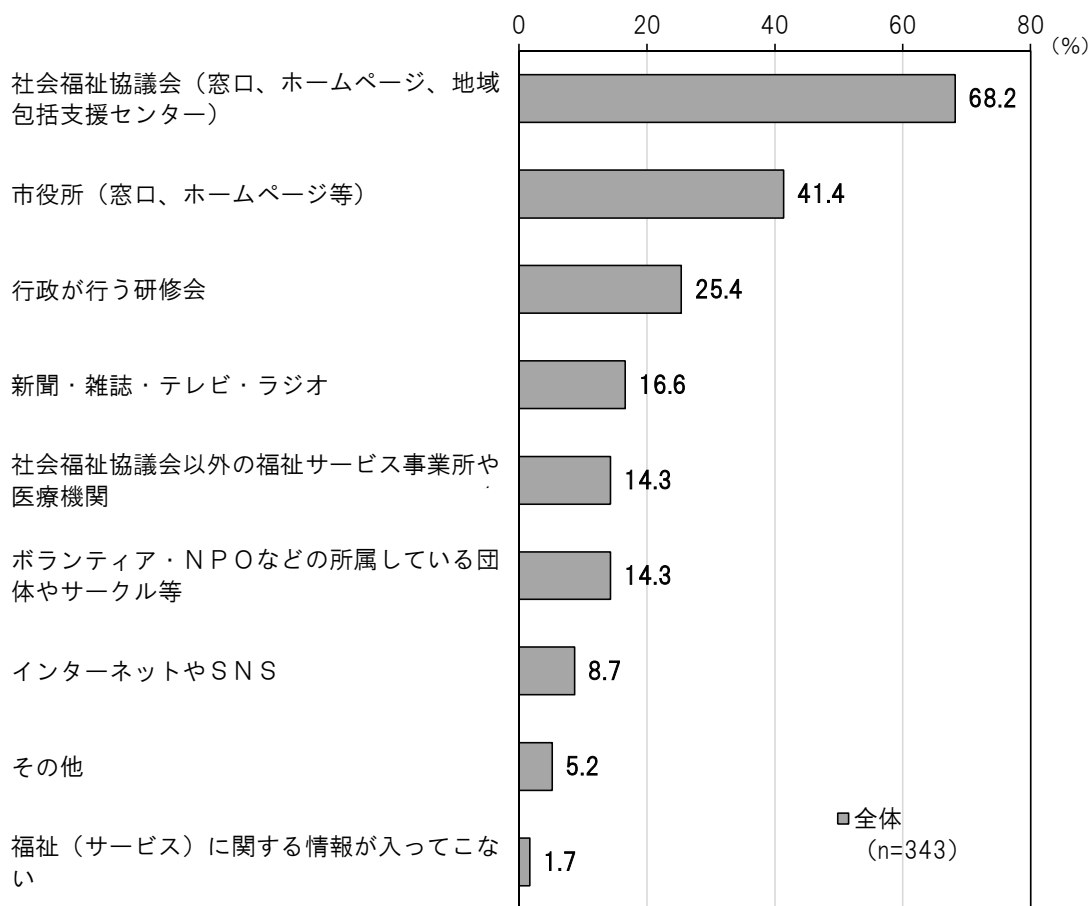
②福祉の相談窓口や福祉サービス情報など、情報の入手の変化

- 福祉の相談窓口や福祉サービス情報などの情報の入手の変化については、「どちらかというより入手しやすくなった」が51.6%と半数以上を占め最も高くなっている。
- 前回結果と比較すると「どちらかというより入手しやすくなった」割合が前回より9.1ポイント高くなっている。



③福祉サービス情報の入手源

- 福祉サービス情報の入手源については、「社会福祉協議会（窓口、ホームページ、地域包括支援センター）」が68.2%と7割近くを占め最も高く、次いで「市役所（窓口、ホームページ等）」（41.4%）、「行政が行う研修会」（25.4%）となっている。

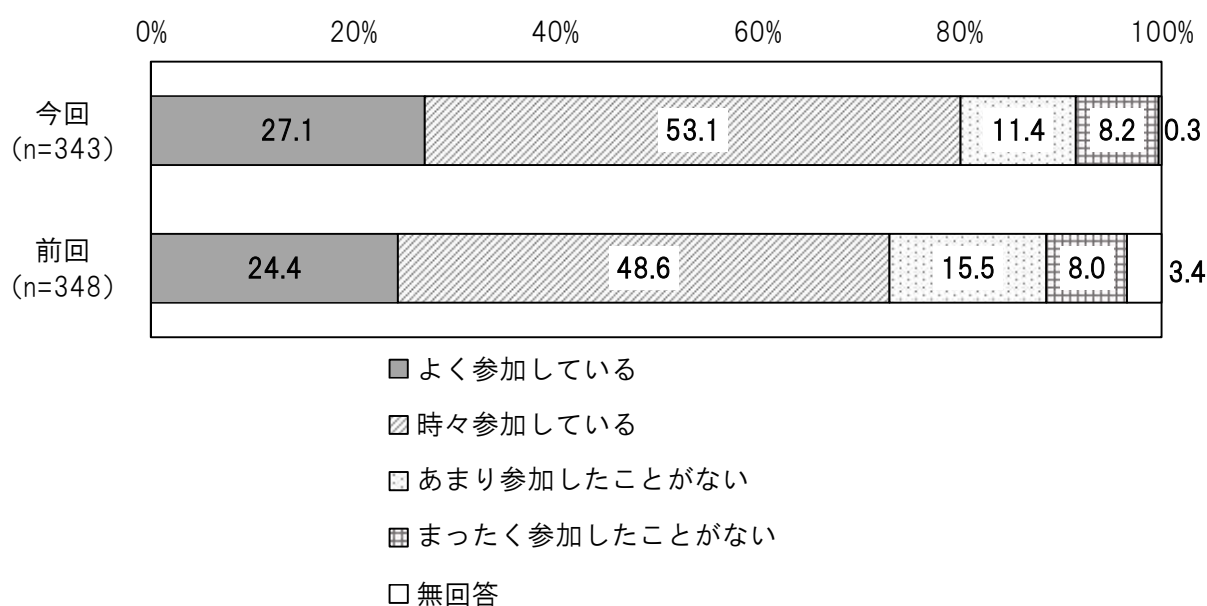


3. 地域や福祉に関する行動について

(1) 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加について

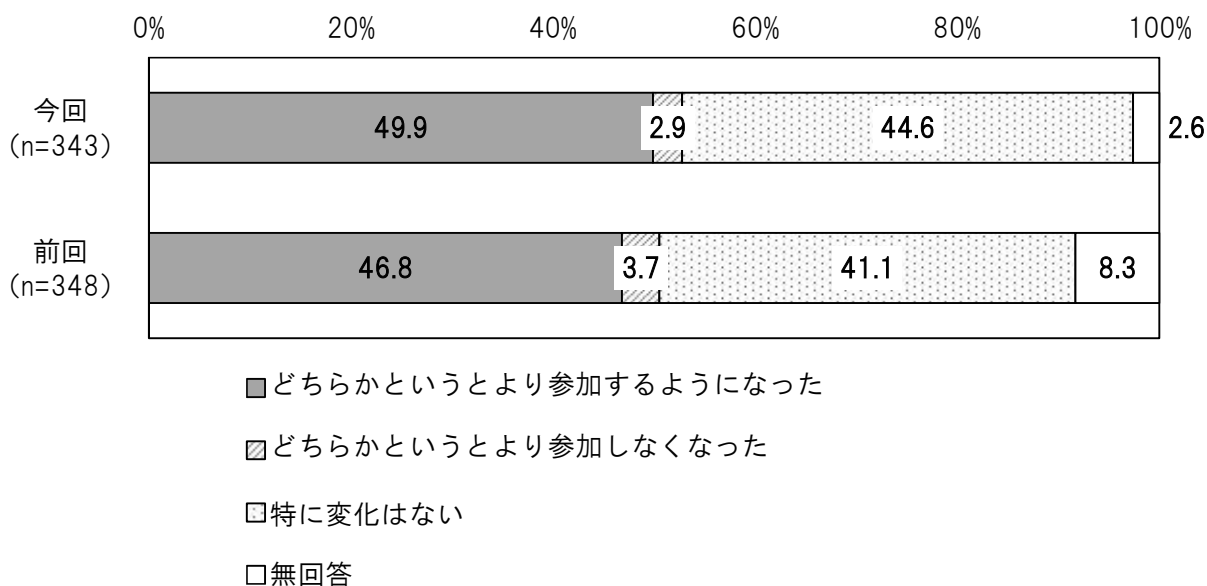
① 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加経験

- 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加経験については、「時々参加している」が53.1%と半数以上を占め最も高く、次いで「よく参加している」(27.1%)となっている。また、「よく参加している」・「時々参加している」を合わせた『参加している』は80.2%と8割以上となっている。
- 前回結果と比較すると、『参加している』割合が前回より7.2ポイント高くなっている。



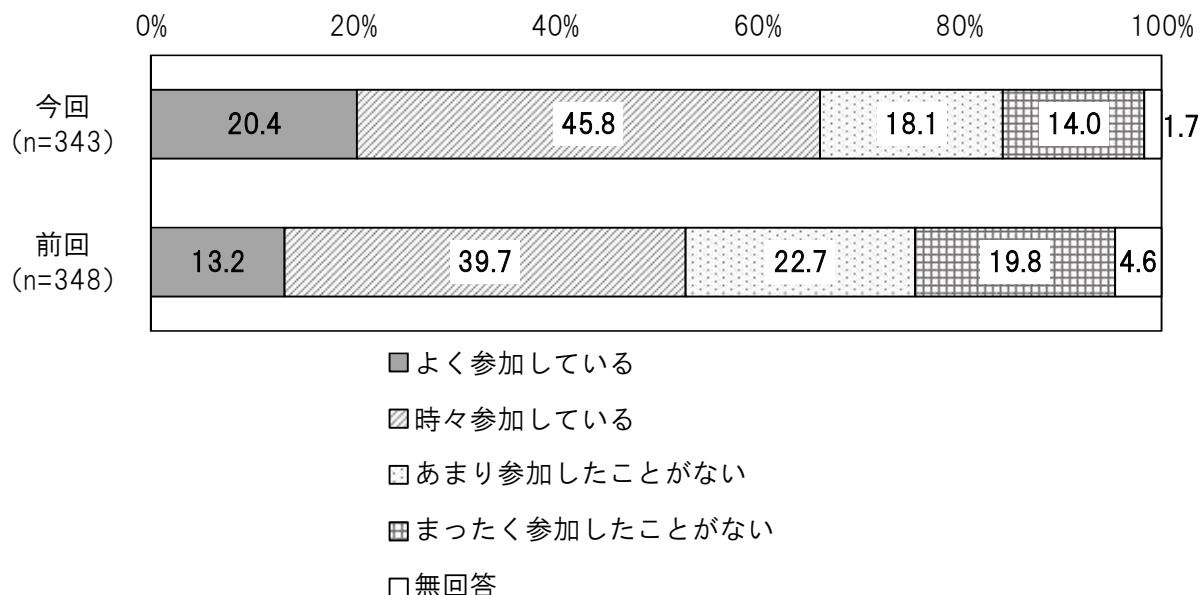
② 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加についての変化

- 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加の変化については、「どちらかというより参加するようになった」が49.9%と半数近くを占め最も高く、次いで「特に変化はない」(44.6%)となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。



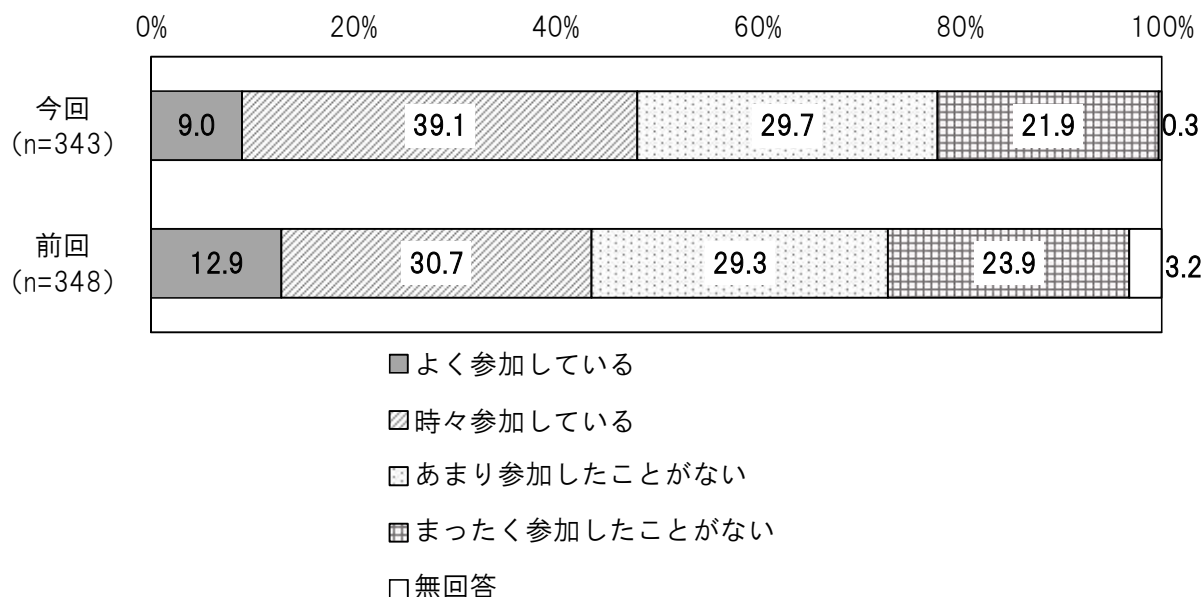
（２）地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会への参加経験

- ・地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会への参加経験については、「時々参加している」が45.8%と最も高く、次いで「よく参加している」（20.4%）となっている。また、「よく参加している」・「時々参加している」を合わせた『参加している』は66.2%と6割以上となっている。
- ・前回結果と比較すると、『参加している』割合が前回より13.3ポイント高くなっている。



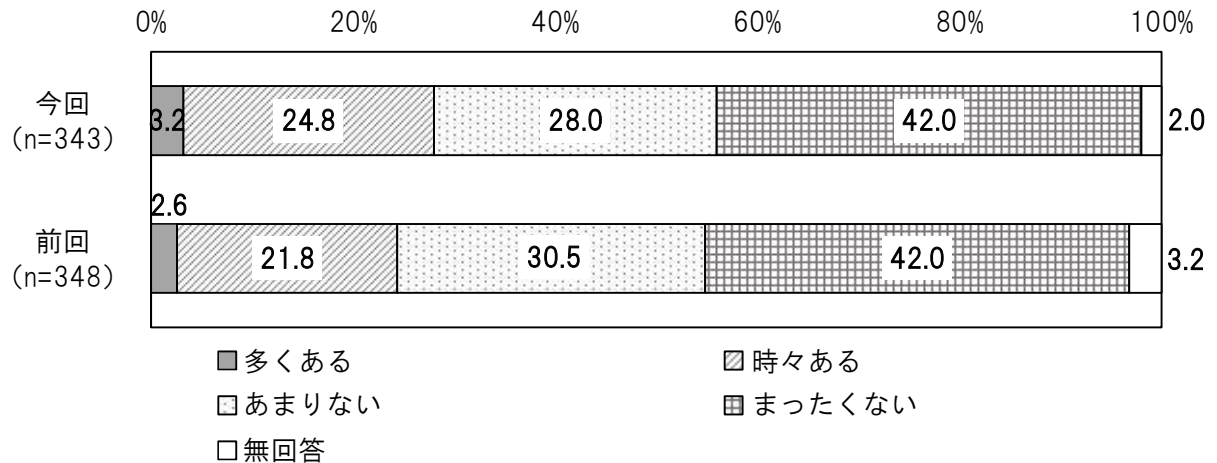
（３）自分の所属以外の福祉活動団体やグループとの交流、福祉施設の見学などへの参加経験

- ・自分の所属以外の福祉活動団体やグループとの交流、福祉施設の見学などへの参加経験については、「時々参加している」が39.1%と4割近くを占め最も高く、次いで「あまり参加したことがない」（29.7%）となっている。また、「よく参加している」・「時々参加している」を合わせた『参加している』は48.1%と半数近くとなっている。
- ・前回結果と比較すると、「時々参加している」割合が前回より8.4ポイント高くなっている。



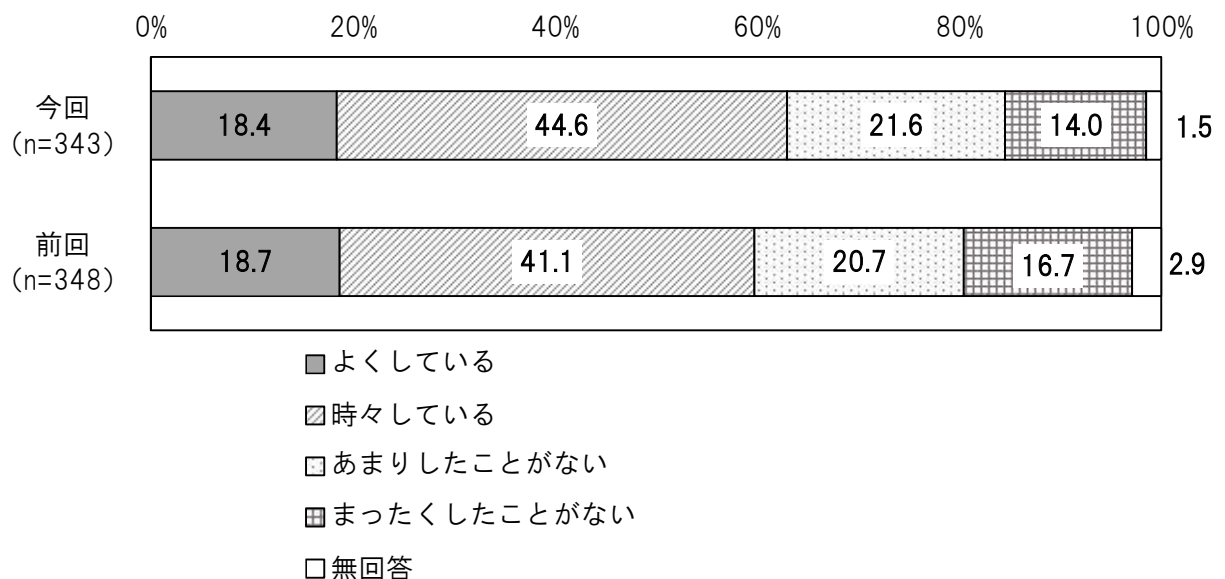
（４）福祉に関する研修会やボランティア講座などを生かす機会について

- 福祉に関する研修会やボランティア講座などを生かす機会については、「まったくない」が42.0%と4割以上を占め最も高く、次いで「あまりない」（28.0%）となっている。また、「あまりない」・「まったくない」を合わせた『ない』は70.0%と7割となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。



（５）地域の人たちに対する福祉活動への勧誘、情報共有について

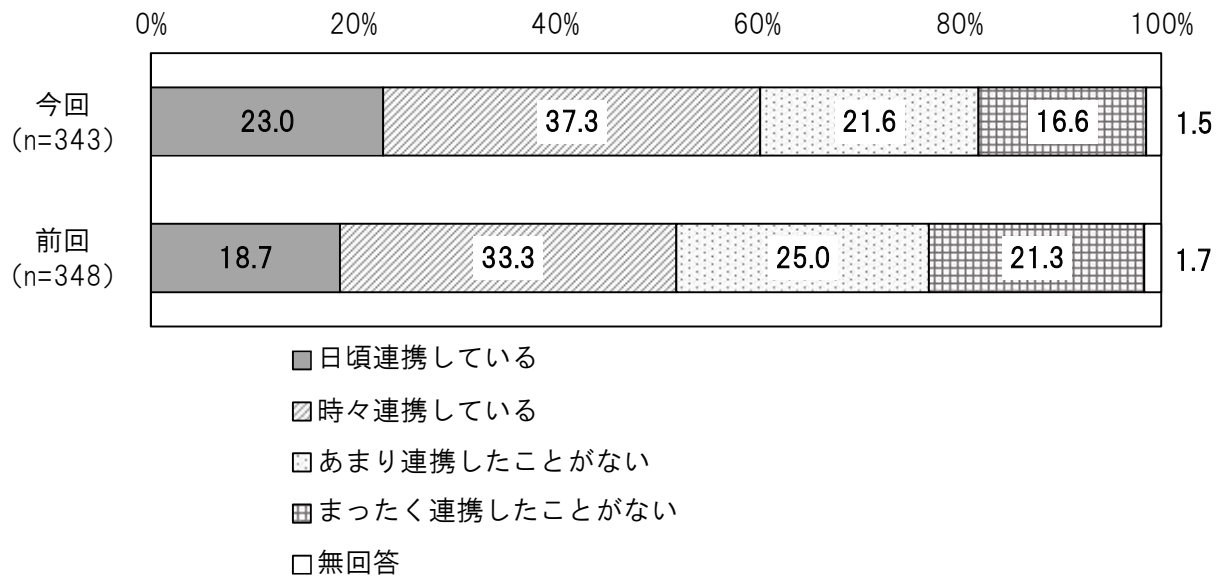
- 地域の人たちに対する福祉活動への勧誘、情報共有については、「時々している」が44.6%と4割以上を占め最も高く、次いで「あまりしたことがない」（21.6%）となっている。また、「よくしている」・「時々している」を合わせた『している』は63.0%と6割以上となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。



（６）福祉の関係者及び関係機関との連携について

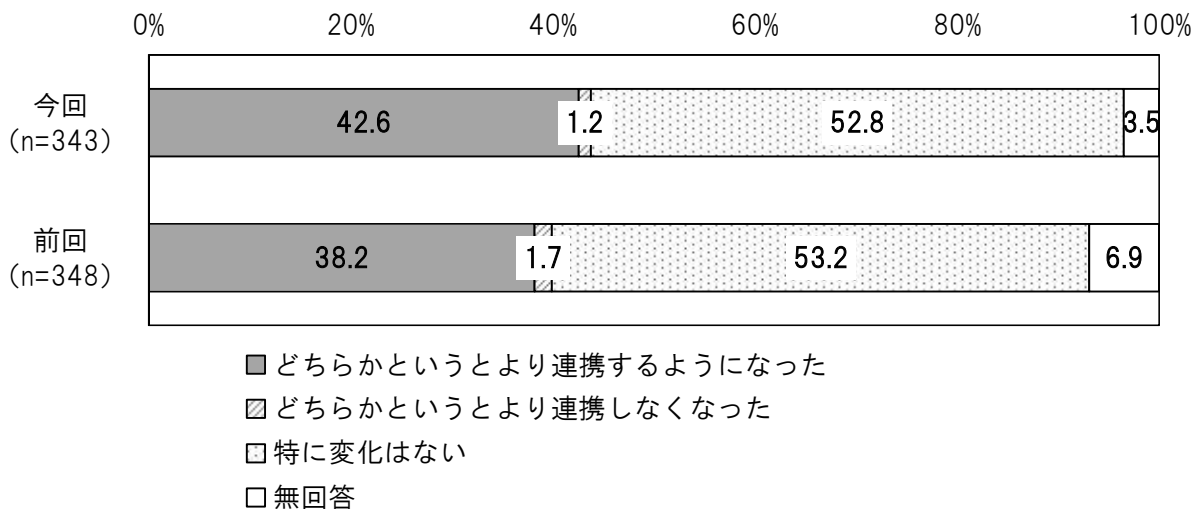
①福祉の関係者及び関係機関との連携状況

- 福祉の関係者及び関係機関との連携状況については、「時々連携している」が37.3%と3割以上を占め最も高く、次いで「日頃連携している」(23.0%)となっている。また、「日頃連携している」・「時々連携している」を合わせた『連携している』は60.3%と6割以上となっている。
- 前回結果と比較すると、『連携している』割合が前回より8.3ポイント高くなっている。



②福祉の関係者及び関係機関との連携についての変化

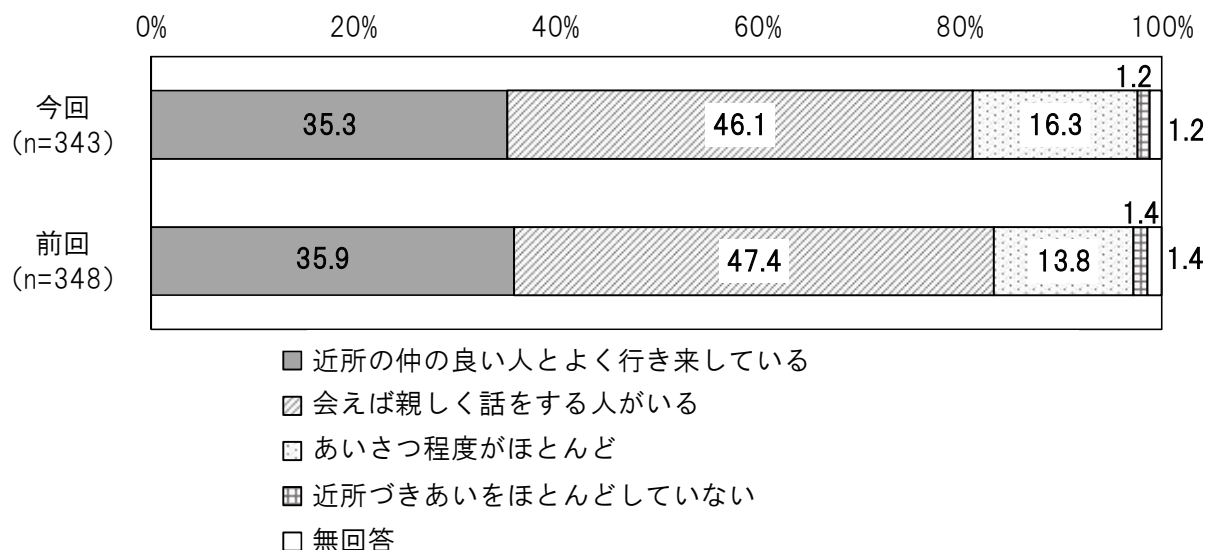
- 福祉の関係者及び関係機関との連携の変化については、「特に変化はない」が52.8%と半数以上を占め最も高く、次いで「どちらかというより連携するようになった」(42.6%)となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。



4. 地域力について

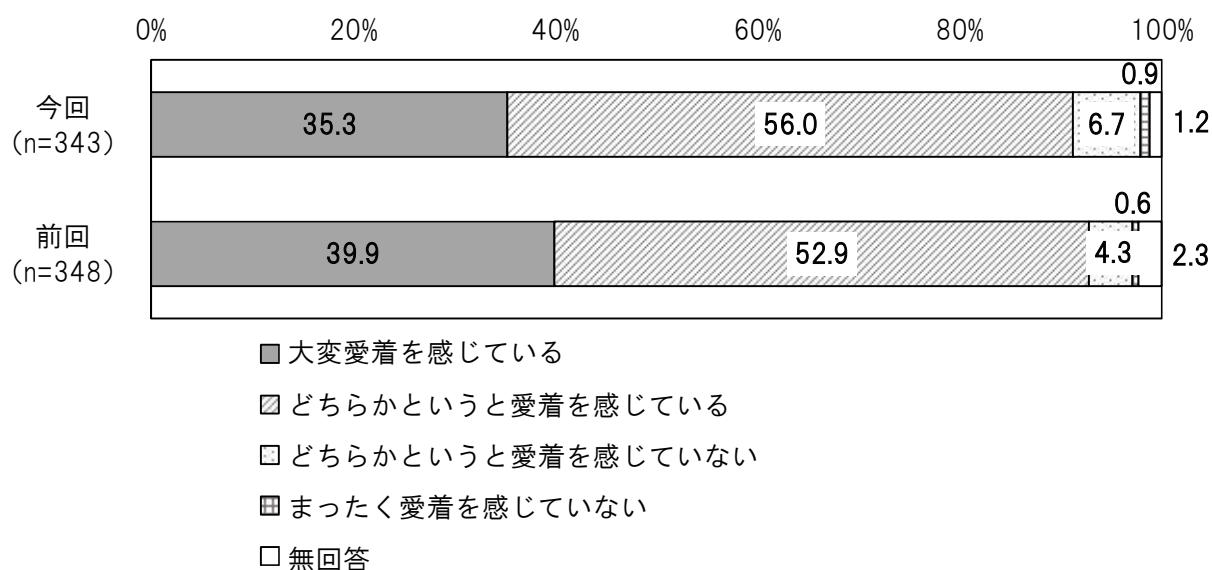
(1) 地域の人とのつきあいの程度

- ・地域の人とのつきあいの程度については、「会えば親しく話をする人がいる」が46.1%と4割以上を占め最も高く、次いで「近所の仲の良い人とよく行き来している」(35.3%)となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



(2) 「自分のまち」と感じる地域に対する愛着

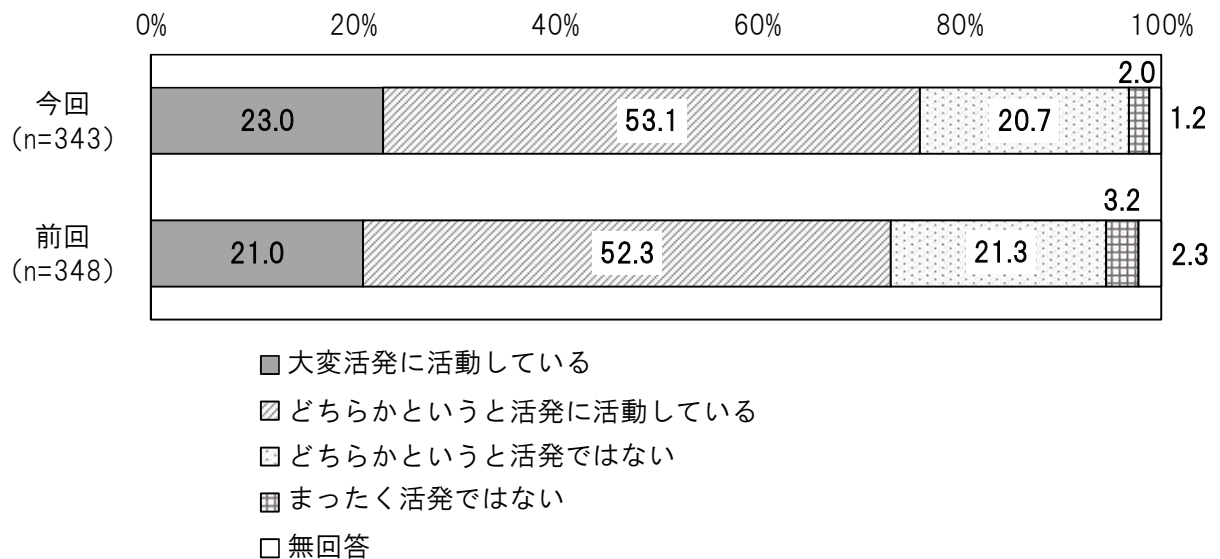
- ・「自分のまち」と感じる地域に対する愛着については、「どちらかというとな愛着を感じている」が56.0%と半数以上を占め最も高く、次いで「大変愛着を感じている」(35.3%)となっている。また、「大変愛着を感じている」・「どちらかというとな愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は91.3%と9割以上となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



(3) 地域活動や行事の活発さについて

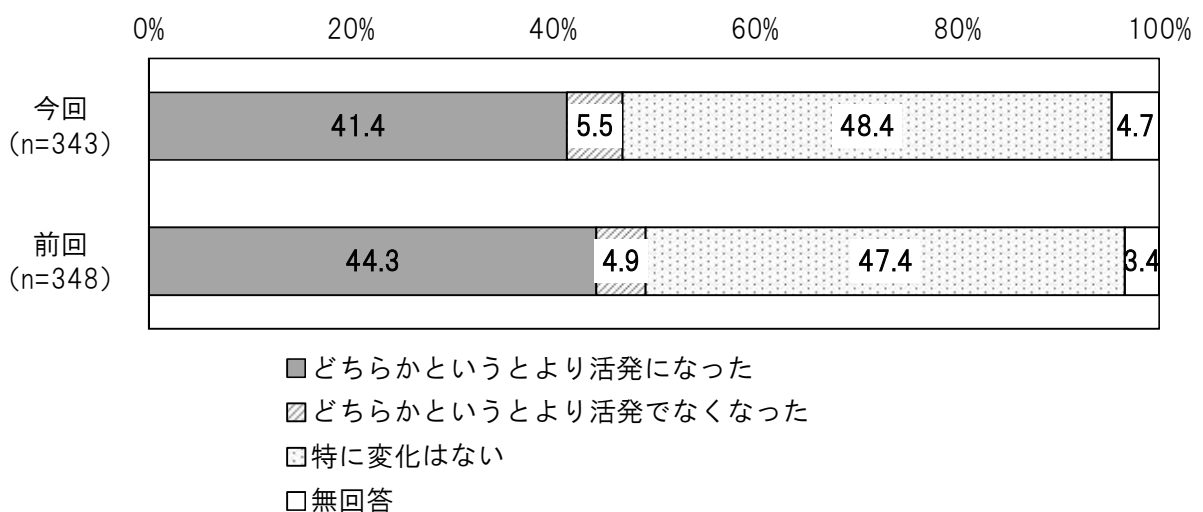
①他の地域と比較した時の地域活動や行事の活発さについて

- 他の地域と比較した時の地域活動や行事の活発さについては、「どちらかというと活発に活動している」が53.1%と最も高く、次いで「大変活発に活動している」(23.0%)となっている。また、「大変活発に活動している」・「どちらかというと活発に活動している」を合わせた『活発に活動している』は76.1%と7割以上となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。



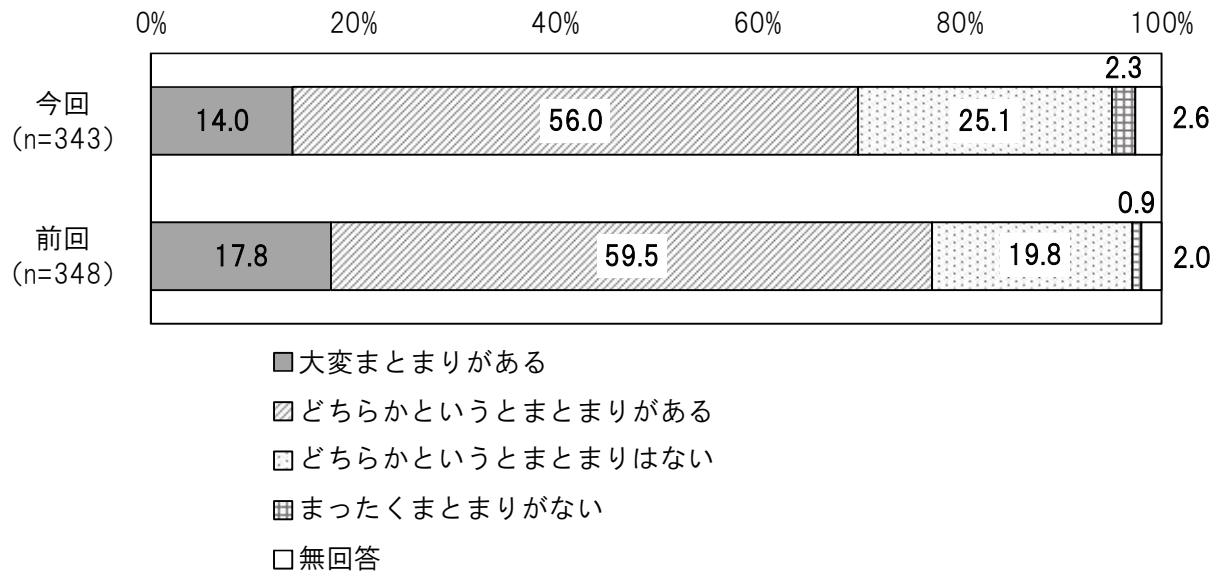
②他の地域と比較した時の地域活動や行事の活発さについての変化

- 他の地域と比較した時の地域活動や行事の活発さの変化については、「特に変化はない」が48.4%と半数近くを占め最も高く、次いで「どちらかというともより活発になった」(41.4%)となっている。
- 前回結果と大きな差はみられない。



（４）住民活動などにおける住民相互のまとまり具合について

- ・住民活動などにおける住民相互のまとまり具合については、「どちらかというまとまりがある」が56.0%と半数以上を占め最も高く、次いで「どちらかというまとまりはない」（25.1%）となっている。また、「大変まとまりがある」・「どちらかというまとまりがある」を合わせた『まとまりがある』は70.0%と7割となっている。
- ・前回結果と比較すると、『まとまりがある』割合が前回より7.3ポイント低くなっている。

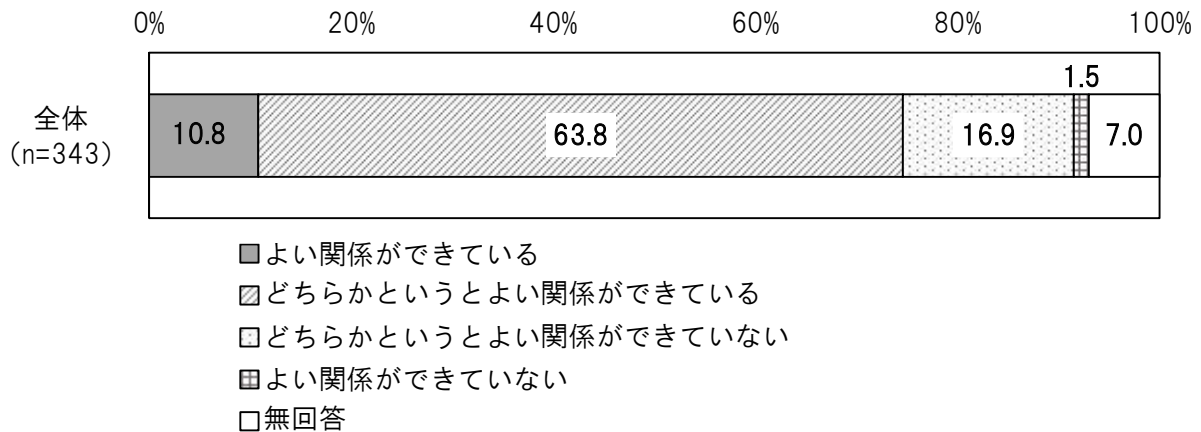


5. 行政や社会福祉協議会、福祉事業者などの地域福祉を支えるしくみについて

(1) 地域福祉に関する行政と住民との協働について

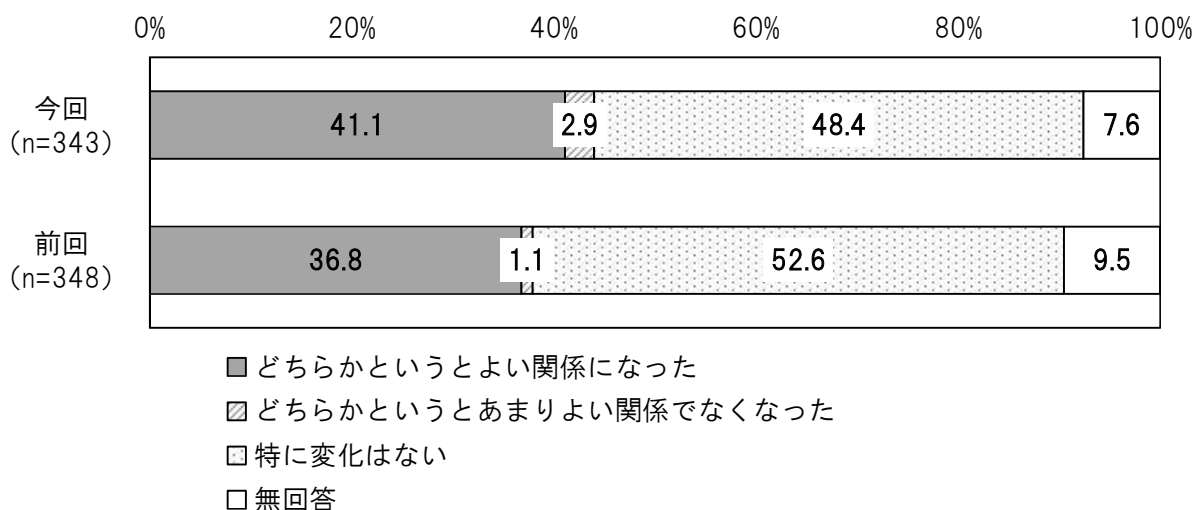
① 地域福祉に関する行政と住民との協働について

- ・地域福祉に関する行政と住民との協働については、「どちらかというともい関係ができていない」が63.8%と6割以上を占め最も高く、次いで「どちらかというともい関係ができていない」(16.9%)となっている。また、「よい関係ができていない」・「どちらかというともい関係ができていない」を合わせた『よい関係ができていない』は74.6%と7割以上となっている。



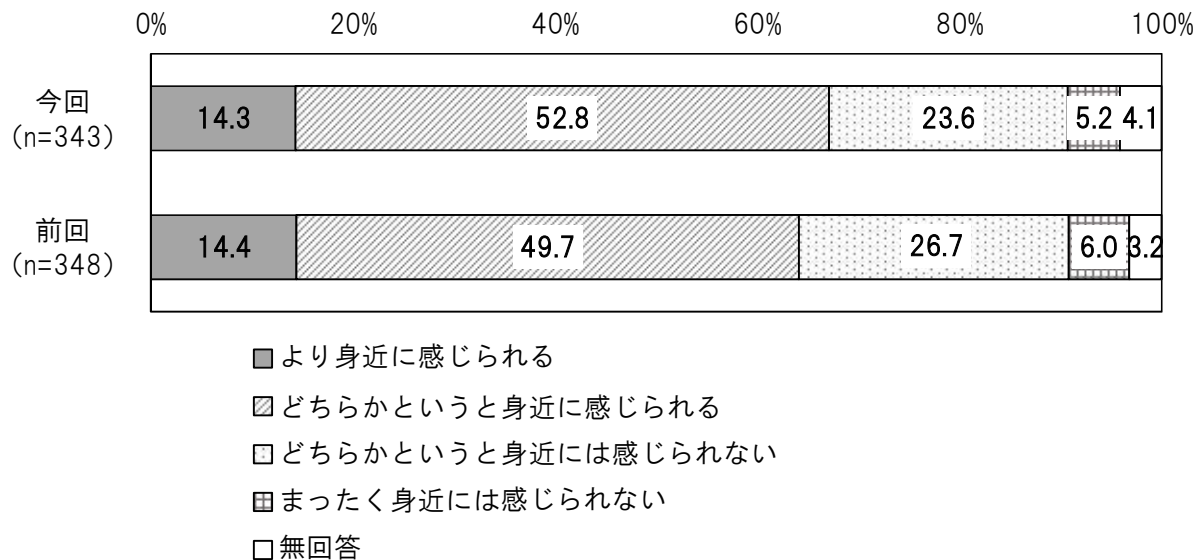
② 地域福祉に関する行政と住民との協働の変化

- ・地域福祉に関する行政と住民との協働の変化については、「特に変化はない」が48.4%と半数近くを占め最も高く、次いで「どちらかというともい関係になった」(41.1%)となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



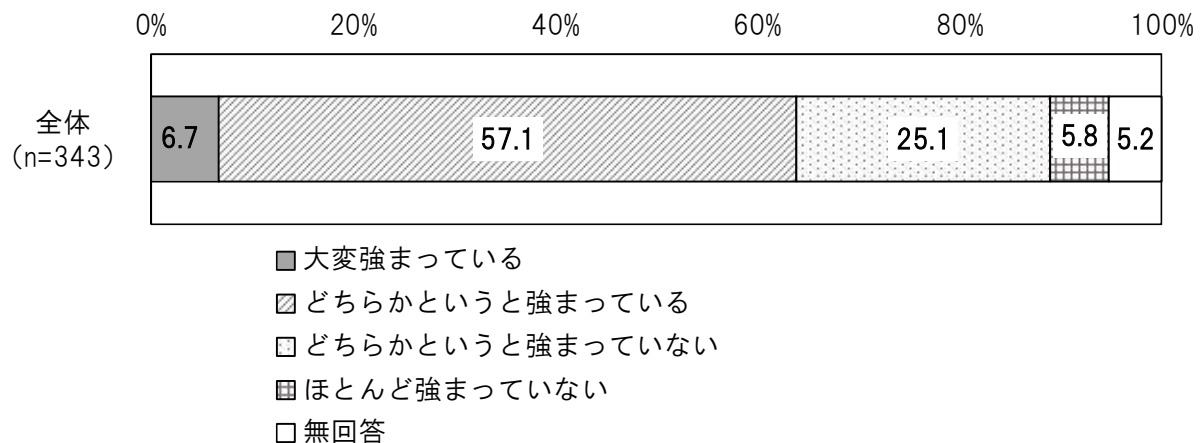
（２）藤井寺市地域福祉計画の目標「誰もが安心して、いきいきと暮らせるまちづくり」について

- ・藤井寺市地域福祉計画の目標については、「どちらかというと身近に感じられる」が52.8%と半数以上を占め最も高く、次いで「どちらかというと身近には感じられない」（23.6%）となっている。また、「より身近に感じられる」・「どちらかというと身近に感じられる」を合わせた『身近に感じる』は67.1%と6割以上となっている。
- ・前回結果と大きな差はみられない。



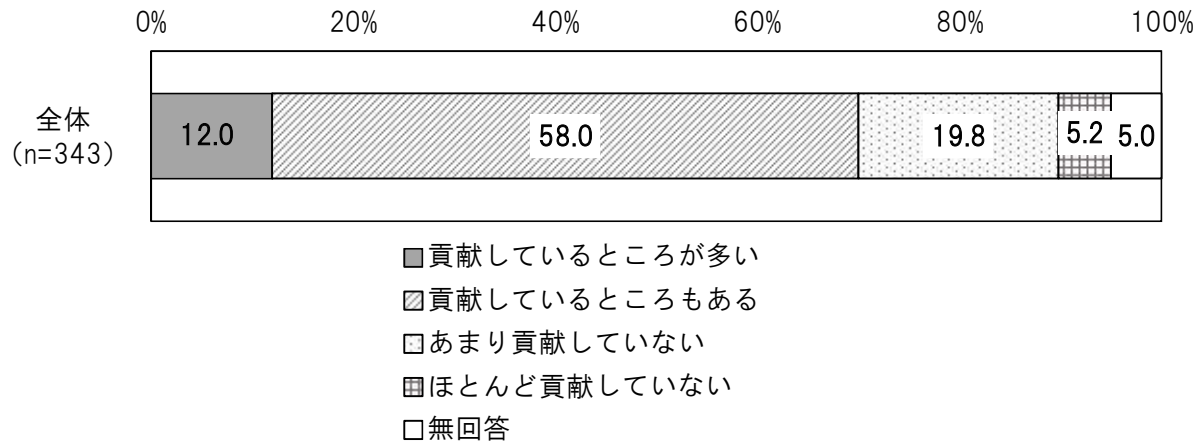
（３）社会福祉協議会の活動による住民同士の協力関係やまとまりの強化について

- ・社会福祉協議会の活動による住民同士の協力関係やまとまりの強化については、「どちらかという」と強まっている」が 57.1%と半数以上を占め最も高く、次いで「どちらかという」と強まっていない」（25.1%）となっている。また、「大変強まっている」・「どちらかという」と強まっている」を合わせた『強まっている』は63.8%と6割以上となっている。



（４）福祉施設やサービス提供事業者、企業等の社会貢献や地域貢献について

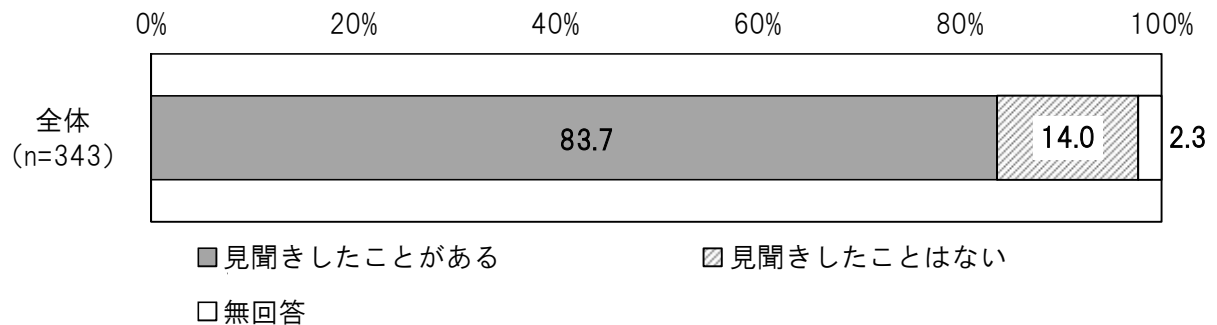
- 福祉施設やサービス提供事業者、企業等の社会貢献や地域貢献については、「貢献しているところもある」が58.0%と6割近くを占め最も高く、次いで「あまり貢献していない」（19.8%）となっている。また、「貢献しているところが多い」・「貢献しているところもある」を合わせた『貢献している』は70.0%と7割となっている。



（５）孤立死について

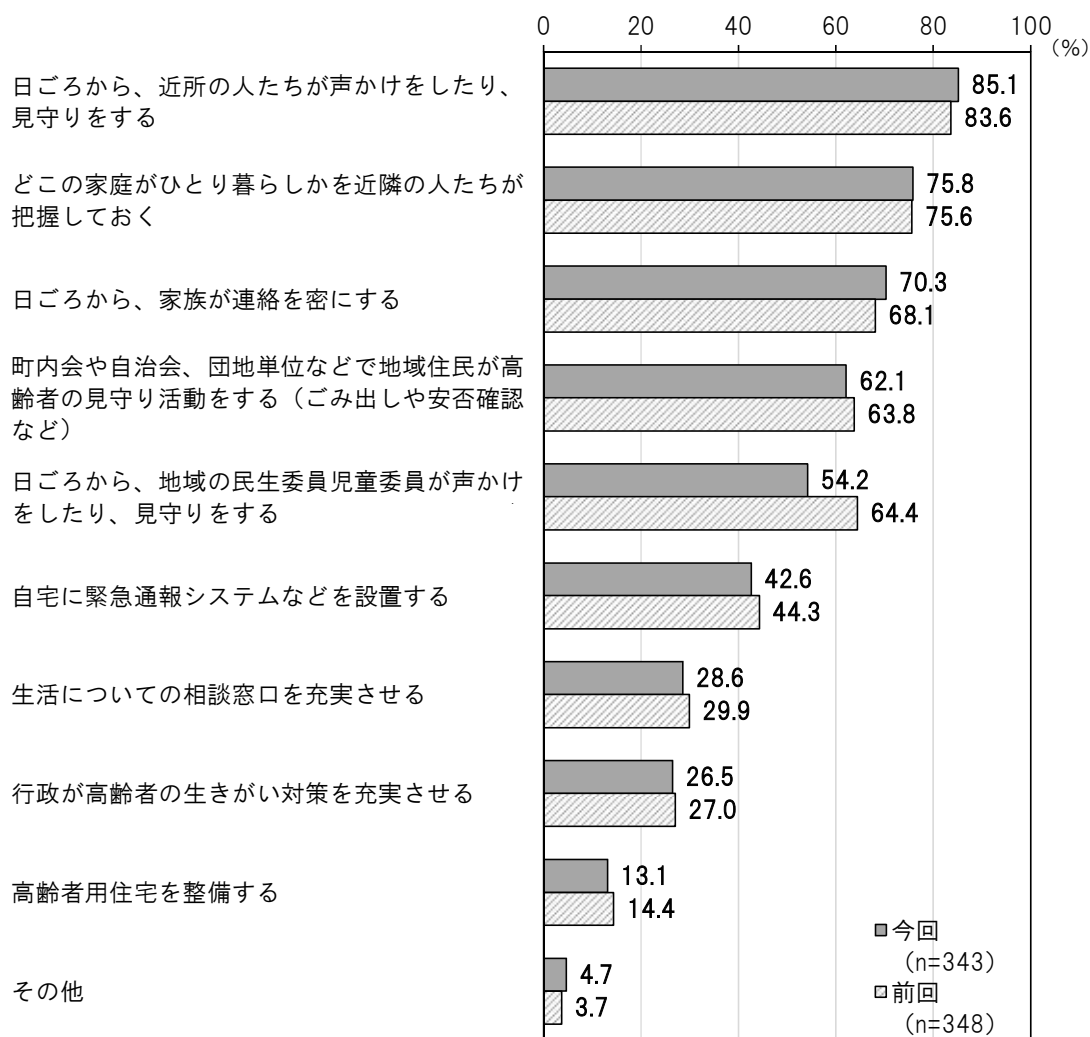
① 孤立死についての見聞き

- 孤立死についての見聞きについては、「見聞きしたことがある」が83.7%と8割以上を占め最も高く、「見聞きしたことはない」が14.0%となっている。



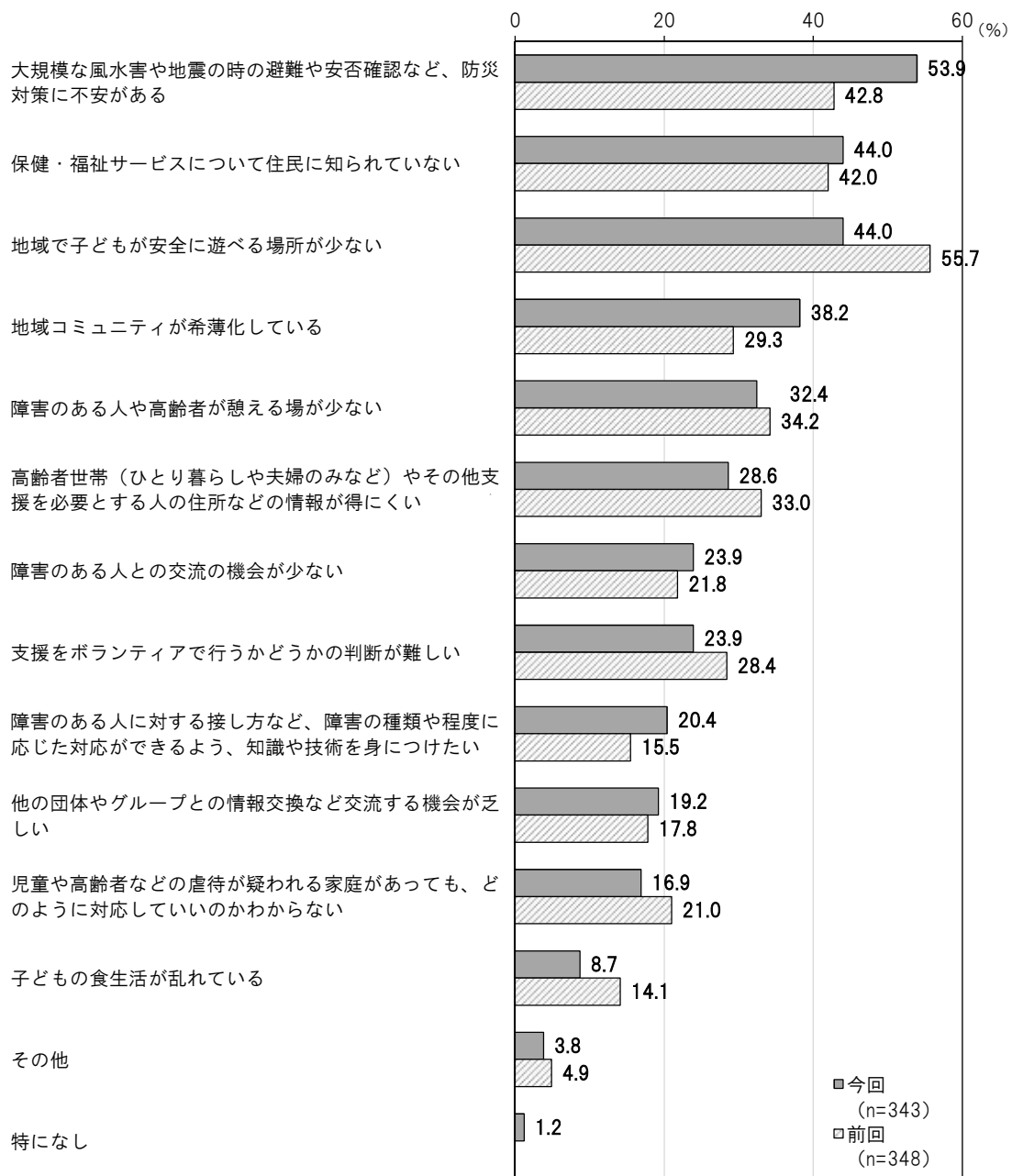
②孤立死を防止するために必要なこと

- ・孤立死を防止するために必要なことについては、「日ごろから、近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする」が 85.1%と8割以上を占め最も高く、次いで「どこの家庭がひとり暮らしかを近隣の人たちが把握しておく」(75.8%)、「日ごろから、家族が連絡を密にする」(70.3%)となっている。
- ・前回結果と比較すると、「日ごろから、地域の民生委員児童委員が声かけをしたり、見守りをする」が前回より 10.2 ポイント低くなっている。



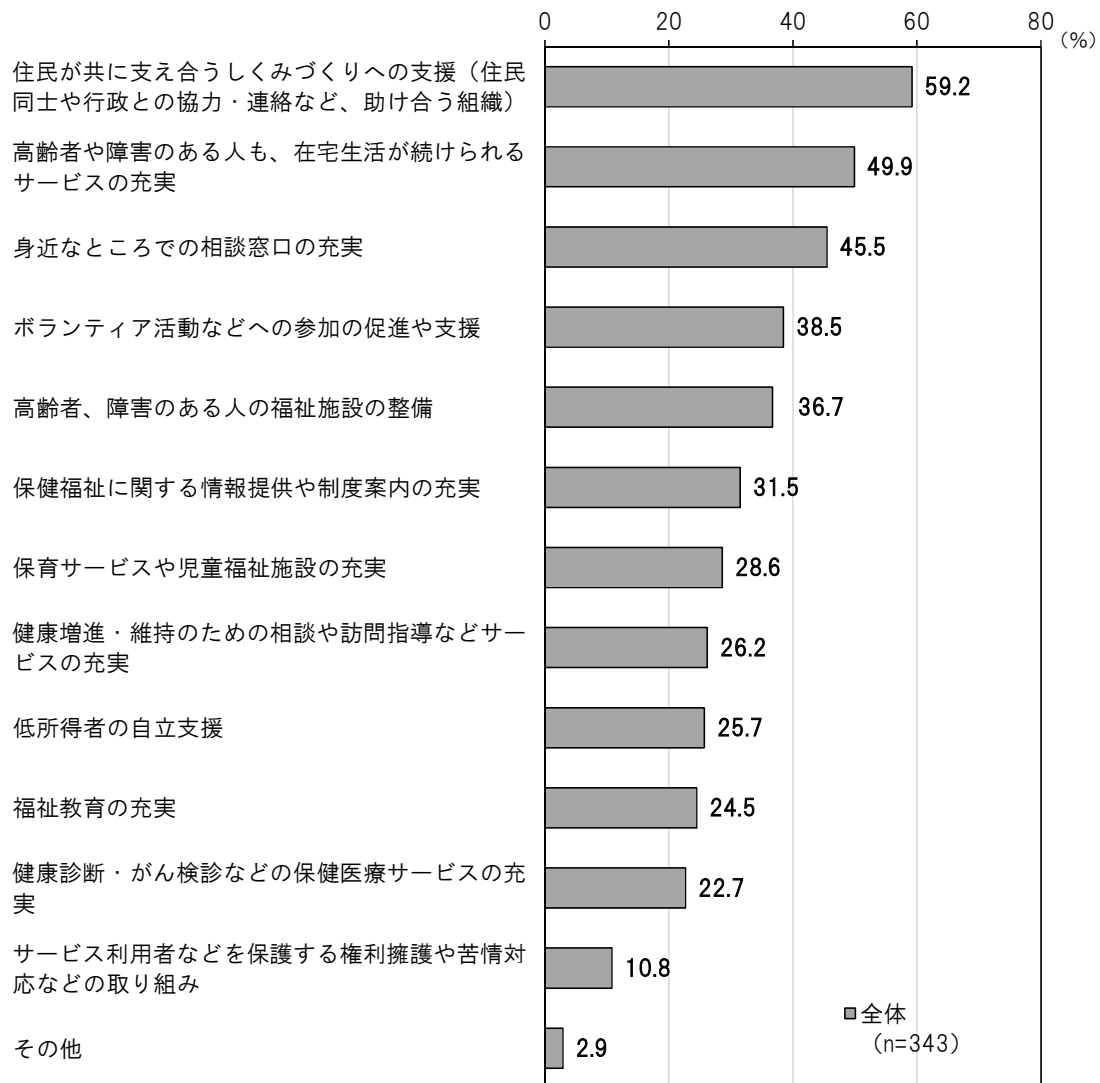
(6) 住民の福祉に関する課題

- ・住民の福祉に関する課題については、「大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある」が 53.9%と半数近くを占め最も高く、次いで「保健・福祉サービスについて住民に知られていない」(44.0%)、「地域で子どもが安全に遊べる場所が少ない」(44.0%)となっている。
- ・前回結果と比較すると、「大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある」、「地域コミュニティが希薄化している」が前回より高くなっている一方で、「地域で子どもが安全に遊べる場所が少ない」が前回より低くなっている。



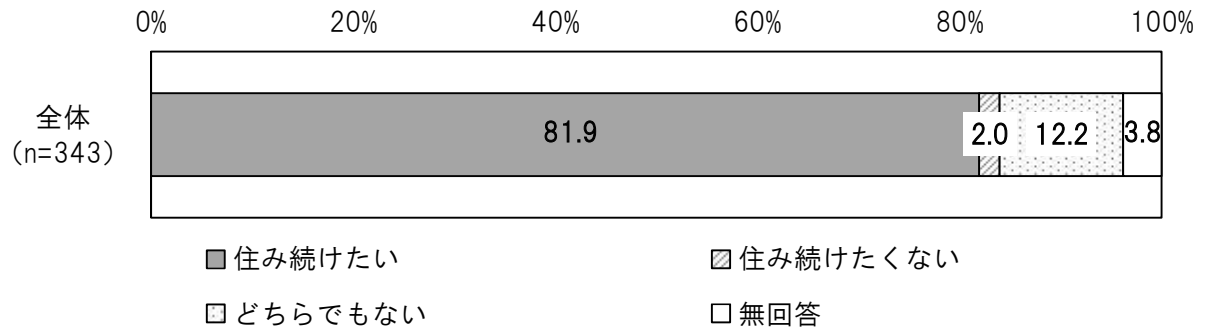
(7) 地域住民が安心して暮らせるために必要なこと

- ・地域住民が安心して暮らせるために必要なことについては、「住民が共に支え合うしくみづくりへの支援（住民同士や行政との協力・連絡など、助け合う組織）」が59.2%と6割近くを占め最も高く、次いで「高齢者や障害のある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実」（49.9%）、「身近なところでの相談窓口の充実」（45.5%）となっている。



(8) 今後の藤井寺市への居留意向について

- ・今後の藤井寺市への居留意向については、「住み続けたい」が 81.9%と8割以上を占め最も高く、次いで「どちらでもない」(12.2%) となっている。



6. 自由記述

(1) 地域での福祉活動を活発にするために

- ・地域での福祉活動を活発にするための自由意見では 127 件の意見が寄せられ、意見内容としては下表のような内容となっています。(1つの自由意見で複数に分類されている意見があるため件数の合計は 142 件となっています。)

自由意見カテゴリー	件数
(1) 多様な世代が参加しやすい体制・企画の充実	24 件
(2) 教育・啓発の充実	19 件
(3) 行政・福祉団体の情報交換、連携	13 件
(4) 気軽に集える場所、機会の設置	13 件
(5) 福祉活動の担い手の問題	12 件
(6) 近所・地域とのつながりを深める、声かけを行う	12 件
(7) 福祉活動の内容・楽しさの情報発信	11 件
(8) 福祉活動従事者の増加	10 件
(9) 行政等からの支援が必要	8 件
(10) 自治会活動の充実	4 件
(11) アンケートについて	2 件
(12) その他	14 件
合計	142 件

(2) 地域で福祉活動を行う人を増やすために

- ・地域での福祉活動を行う人を増やすための自由意見では 112 件の意見が寄せられ、意見内容としては下表のような内容となっています。(1つの自由意見で複数に分類されている意見があるため件数の合計は 115 件となっています。)

自由意見カテゴリー	件数
(1) 活動内容・目的を理解してもらうための情報発信	21 件
(2) 参加への声かけ、手伝いの依頼	17 件
(3) 増加は厳しい	16 件
(4) 気軽に参加できる機会の充実	12 件
(5) 人材育成への取組	8 件
(6) 個人の負担を軽くする、任期の短縮・年齢制限	8 件
(7) 教育・啓発の充実	6 件
(8) 有償ボランティアにする、特典をつくる	6 件
(9) 役の割り振り・選任について	6 件
(10) 窓口の充実	2 件
(11) その他	13 件
合計	115 件

(3) 福祉に関する研修や学習機会、内容等に関して

- ・福祉に関する研修や学習機会、内容等に関する自由意見では 73 件の意見が寄せられ、意見内容としては下表のような内容となっています。(1つの自由意見で複数に分類されている意見があるため件数の合計は 78 件となっています。)

自由意見カテゴリー	件数
(1) 関心のあるテーマ・内容について	21 件
(2) 研修の実施方法の工夫	18 件
(3) 参加した研修内容への評価	16 件
(4) 日時の調整など参加しやすい工夫	4 件
(5) 当事者、専門家等との交流	3 件
(6) 研修の実施回数について	2 件
(7) 市役所や関係団体との連携	2 件
(8) その他	12 件
合計	78 件

IV 調査票（市民アンケート）

藤井寺市地域福祉に関する市民アンケート調査

～ご協力をお願い～

皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

藤井寺市では、地域住民が支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉の実現を目指すため、令和元年度から令和2年度にかけて、「藤井寺市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、皆様の現状や考え、ご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料とするもので、市内にお住まいの方から無作為に抽出した 2,500 人の方に調査をお願いしております。

調査は無記名であり、ご回答いただいた内容は統計的に処理します。個人の内容を公表するなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年3月 藤井寺市



《ご記入にあたってのお願い》

- 1 封筒宛名のご本人様が令和2年2月1日現在でご記入ください。ご本人様が記入できない場合は、代理の方がご本人様の意思を尊重してご記入くださいますようお願いいたします。
- 2 設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 3 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、3月20日（金）までにご返送ください。

《問い合わせ先》

藤井寺市 福祉部 福祉総務課

電 話：072-939-1417 FAX：072-939-0399



地域福祉とは…『誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域にかかわるすべての人が
主役となって進めていく地域づくりの取り組みのこと』で、こうした取り組み
が相互に関連しながら行われることにより、“地域における福祉力”が総合的に
高まります！

1. あなたやご家族のことについて

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1) 性別 (○は1つ)	1. 男性	2. 女性	3. ()
(2) 年齢 (○は1つ)	1. 18～29歳 4. 50～59歳	2. 30～39歳 5. 60～69歳	3. 40～49歳 6. 70歳以上
(3) 家族構成 (○は1つ)	1. 本人だけ 3. 親と子の二世代 5. その他()	2. 夫婦だけ 4. 親と子と孫の三世代	
(4) 同居家族の中にいる人 (あなた自身も含みます) (○はいくつでも)	1. 乳幼児(小学校入学前の子ども) 3. 中学生 5. 65歳以上の方 7. 障害のある方	2. 小学生 4. 高校生 6. 介護を必要とする方 8. いずれもない	
(5) 職業 (○は1つ)	1. 商工業や農業等の自営業主及びその家族従事者 2. 公務員・教員 4. 自由業(開業医、弁護士等) 6. 家庭で内職 8. 家事専業 10. その他()	3. 民間企業・団体に勤務(役員を含む) 5. パート・アルバイト 7. 学生 9. 無職(学生・家事専業を除く)	
(6) 居住地区 (小学校区) (○は1つ。わからない方は8に○をつけ、○○町〇丁目などをご記入ください。)	1. 藤井寺小学校区 4. 藤井寺北小学校区 7. 道明寺南小学校区	2. 藤井寺南小学校区 5. 道明寺小学校区 8. わからない⇒()町()丁目	3. 藤井寺西小学校区 6. 道明寺東小学校区
(7) 現在の小学校区での居住年数 (○は1つ)	1. 5年未満 3. 10年以上20年未満 5. 30年以上	2. 5年以上10年未満 4. 20年以上30年未満	

2. 地域や福祉に関する行動について

問1 あなたの考える支え合い・助け合いのできる「地域」の範囲をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. となり、近所という範囲 | 2. 町内・自治会という範囲 |
| 3. 小学校区という範囲 | 4. 中学校区という範囲 |
| 5. その他(具体的に |) |

問2 あなたは、ご近所の人とどのようなつきあいをしていますか。(○は主なものに1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 何か困った時に助け合う |
| 2. 簡単な頼みごと・物の貸し借りなどをする |
| 3. 立ち話や情報の交換をする |
| 4. あいさつ程度 |
| 5. ほとんどつきあっていない |
| 6. その他(具体的に |

→ 問2で「5. ほとんどつきあっていない」と回答した方に

問2-ア あまり近所づきあいをされていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない |
| 2. 近所づきあいはわずらわしいので避けている |
| 3. 近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう |
| 4. 近所づきあいはしたいが、仲間に入れてもらえない |
| 5. ふだん留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいのほとんどないところである |
| 6. その他(具体的に |

再び、全ての方に

問3 あなたは、地域の行事や活動等へ参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 進んで参加・協力している | } → 問3-アへ |
| 2. 機会があれば、参加・協力している | |
| 3. 参加することはあるが、協力することはあまりない | |
| 4. 関心はあるが、参加していない | } → 問3-イへ |
| 5. 関心がない、やる気がない | |

問3で「1. 進んで参加・協力している」「2. 機会があれば、参加・協力している」「3. 参加することはあるが、協力することはあまりない」と回答した方に

問3ーア それはどのような活動ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 自治会・町内会活動 | 2. 子どもを支援する活動 |
| 3. 老人クラブ活動 | 4. 文化・スポーツ活動 |
| 5. 民生委員児童委員や福祉委員などの活動 | |
| 6. その他のボランティア活動（具体的に | |

)

問3で「4. 関心はあるが、参加していない」と回答した方に

問3ーイ 参加されない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 仕事を持っているので時間がない | 2. 家事や育児に忙しくて時間がない |
| 3. 家族の支持・理解がない | 4. 病人・高齢者等の介護で時間がない |
| 5. 健康や体力に自信がない | 6. 行事や活動に関する情報がない |
| 7. 人間関係がわずらわしい | 8. 子どもをみてる人や施設がない |
| 9. 身近なところに活動の場がない | 10. 興味の持てる活動が見つからない |
| 11. その他（具体的に | |

)

再び、全ての方に

問4 地域における行事や活動についてのあなたの関心は、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。(〇は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. どちらかというより関心をもつようになった |
| 2. どちらかというより関心がなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問5 問3ーアであげたような活動や行事が、地域でもっと活発に行われるようにしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる |
| 2. 以前から住んでいる人と新たに転入してきた人の関係づくりを強化する |
| 3. 地域の自治会や子ども会、老人クラブなどの活動をもっと活発にしてい |
| 4. 小中学校や支援学校などの学校と住民の交流やつながりを深める |
| 5. 地元の事業者など、事業者と住民のつながりをもっと深める |
| 6. 世代間交流の機会を増やす |
| 7. その他（具体的に |

)

問6 あなたは、地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. よい関係ができています | 2. どちらかというよい関係ができています |
| 3. どちらかというよい関係ができていない | 4. よい関係ができていない |

問6-ア 地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1. どちらかというよい関係になった |
| 2. どちらかというあまりよい関係でなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問7 あなたは、本市での福祉サービスや福祉活動の情報提供について、どのように感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 十分提供されている | 2. どちらかというと提供されている |
| 3. どちらかというと提供されていない | 4. ほとんど提供されていない |

問7-ア 問7の答えは、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1. どちらかというより提供されるようになった |
| 2. どちらかというより提供されなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問8 福祉サービスに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 家族、友人、となり近所等 | 2. 市役所（窓口、ホームページ等） |
| 3. 自治会等 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会（窓口、ホームページ、地域包括支援センター） | |
| 6. 社会福祉協議会以外の福祉サービス事業所や医療機関 | |
| 7. 保育所、幼稚園、学校等 | |
| 8. ボランティア・NPOなどの所属している団体やサークル等 | |
| 9. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | |
| 10. インターネットやSNS | |
| 11. その他（具体的に | |
| 12. 福祉（サービス）に関する情報が入ってこない | |

「社会福祉協議会」とは

社会福祉法第109条に定められた、地域福祉の推進を図ることを目的とした営利を目的としない民間団体です。地域の人々が住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、地域福祉に関するさまざまな取り組みを行っています。

問9 あなたは、「自分のまち」と感じる地域にどの程度の愛着をもっていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 大変愛着を感じている | 2. どちらかという愛着を感じている |
| 3. どちらかという愛着を感じていない | 4. まったく愛着を感じていない |

3. 生活課題や福祉について

問10 あなたは日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 2. 自分や家族の老後(介護)のこと |
| 3. 子どもの教育や将来のこと | 4. 乳幼児の育児に関すること |
| 5. 収入など経済的なこと | 6. 地域や家族の人間関係のこと |
| 7. 地震や火事などの災害のこと | |
| 8. その他(具体的に |) |
| 9. 特にない | |

問11 もしあなた自身がさまざまな場面で困ったとき、家族以外の誰に相談しますか。

(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 友人、知人 | 2. 職場の同僚、上司 |
| 3. 市役所 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会(窓口、ホームページ、地域包括支援センター) | |
| 6. 社会福祉協議会以外の福祉サービス事業所や医療機関 | |
| 7. その他(具体的に |) |
| 8. どこに相談したらよいかわからない | |
| 9. 相談する人がいない | |

問11-ア 相談できる相手先は、以前と比べて(約5年前と比べて)どのように変化したと感じますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------|
| 1. どちらかという範囲が広がった |
| 2. どちらかという範囲が狭くなった |
| 3. 特に変化はない |

問12 あなたは、福祉に関心をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

問 12-ア 福祉への関心について、あなたは以前と比べて（約 5 年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は 1 つ）

- 1. どちらかというに関心をもつようになった
- 2. どちらかというに関心がなくなった
- 3. 特に変化はない

問 13 あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性についてどう思いますか。（○は 1 つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. とても必要だと思う | 2. ある程度必要だと思う |
| 3. あまり必要だとは思わない | 4. まったく必要だとは思わない |

問 13-ア 問 13 の答えは、以前と比べて（約 5 年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は 1 つ）

- 1. どちらかというに必要だと思うようになった
- 2. どちらかというに必要だとは思わなくなった
- 3. 特に変化はない

問 14 今後、ご近所とおつきあいの中で、「手助けしたい」と思うことがありますか。（○はいくつでも）

- 1. 話し相手
- 2. 相談ごとの相手
- 3. 買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い
- 4. 子どもを預かったり、外遊びの見守りなど
- 5. ひとり暮らしの高齢者などの見守り
- 6. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い
- 7. 病気や災害など緊急時の手助け
- 8. その他（具体的に ）
- 9. 手助けしたいと思うことはない

問 14ーア 今後、ご近所とおつきあいの中で、「手助けしてほしい」と思うことがありますか。
(○はいくつでも)

1. 話し相手
2. 相談ごとの相手
3. 買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い
4. 子どもを預かったり、外遊びの見守りなど
5. ひとり暮らしの高齢者などの見守り
6. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い
7. 病気や災害など緊急時の手助け
8. その他（具体的に _____）
9. 手助けをしてほしいと思うことはない

問 15 あなたが日頃問題だと思っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. 誰もが安心して利用できる交通機関が少ないこと
2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所が少ないこと
3. 暮らしや健康・福祉に関わる公的制度の説明が少ないこと
4. 市役所や保健センター、社会福祉協議会、市民病院等へ行きにくいこと
5. いつでも診てくれる医療機関が身近に少ないこと
6. 救急・休日・夜間の診療体制が不十分なこと
7. 暮らしや健康・福祉等で相談にのってくれる窓口や専門職員が少ないこと
8. 子育ての悩みなどで相談にのってくれる施設や専門職員が少ないこと
9. 住民相互のまとまりや助け合いが乏しいこと
10. ひとり暮らし高齢者や病気・認知症などの高齢者を抱えている世帯の問題
11. 障害のある児童や人を抱えている家族の問題
12. 働く親の労働条件に見合った保育所や学童保育が少ないこと
13. 老人ホーム、ショートステイやデイケアなどの福祉施設が少ないこと
14. 障害のある児童や人の施設が少ないこと
15. その他（具体的に _____）
16. 問題だと思っていることは特にない

4. 地域福祉にかかわる機関や団体について

問 16 「藤井寺市社会福祉協議会（市社協）」の活動についてご存知ですか。（○は1つ）

1. 名前も活動内容もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない
3. 名前も活動内容もよく知らない

問 17 あなたは、市社協の事業についてご存知ですか。（○はいくつでも）

1. 福祉委員会が取り組む、ひとり暮らし高齢者などへの見守り訪問活動
2. 福祉委員会が取り組む、昼食会やいきいきサロンなどの活動
3. ボランティア講座やボランティアの情報提供などのボランティアセンター事業
4. 判断能力が不十分な方への金銭管理や福祉サービス利用援助を行う日常生活自立支援事業
5. 車いすの貸出し、器材（福祉機器・ゲーム類）貸出し
6. 善意による寄付金品を預かる善意銀行
7. 生活福祉資金貸付制度についての相談
8. 手話通訳者を養成するための手話教室
9. 心配ごと相談
10. 福祉関係団体の事務局（民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会など）
11. 赤い羽根の共同募金活動
12. 介護保険の居宅介護支援（ケアマネジャーによるケアプラン作成）
13. 地域包括支援センターの運営
14. ボランティアなどが市民に活動を啓発するパープル&社協フェスタ
15. 制度の狭間にある方への支援を行うコミュニティソーシャルワーカー（CSW）業務
16. 認知症サポーター養成講座開催や介護者家族の会の運営
17. いずれも知らない

「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」とは

地域において支援を必要とする人々の生活圏や人間関係などを重視した援助を行ったり、地域を基盤とする支援活動を発見して、支援を必要とする人に結びつけるなど、必要に応じて行政や各種団体と連携・協働しながら解決を図るなどの活動を行う人のことです。藤井寺市では市社協に配置しています。

問 18 市社協にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 福祉に関する総合相談サービスの充実
2. 近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実
3. 地域住民・児童・生徒を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実
4. 児童福祉サービス、子育て支援の充実
5. 介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実
6. 高齢者や障害のある人などが、地域で生活するための自立支援
7. 福祉に関する情報提供の充実（インターネットなどを含む）
8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施
9. 福祉関係団体への支援
10. 福祉に関する学習や講習、講演会などの開催
11. その他（具体的に)
12. 特に期待することはない

問 19 あなたの住んでいる地域の民生委員児童委員が誰かご存知ですか。(〇は1つ)

1. 誰か知っており、会ったことがある
2. 誰か知っているが、会ったことがない
3. 誰か知らない

問 20 民生委員児童委員が行う活動として、あなたをご存知の内容は、次のどれですか。
(〇はいくつでも)

1. 高齢者や障害のある人など、支援が必要な人への訪問や見守り
2. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
3. 児童に関する相談
4. 高齢者の実態調査
5. 児童や高齢者等に対する虐待の早期発見
6. 福祉に関する情報の提供
7. 関係行政機関の依頼による事実確認など
8. どれも知らない

問 21 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどに参加したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. よく参加している | 2. 時々参加している |
| 3. あまり参加したことがない | 4. まったく参加したことがない |

問 22 あなたは、地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会（ワークショップ等）に参加したことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. よく参加している | 2. 時々参加している |
| 3. あまり参加したことがない | 4. まったく参加したことがない |

問 23 あなたは、孤立死について見聞きしたことがありますか。（○は1つ）

- | |
|---------------|
| 1. 見聞きしたことがある |
| 2. 見聞きしたことはない |

「孤立死」とは

孤立死は、人とつながることができずに、社会的に孤立することにより生活がしにくくなり、誰にもみとられることなく亡くなることをいいます。孤立死を防止するには、日常のつながりが課題となります。現在、藤井寺市では、市社協と福祉総務課で孤立死防止対策事業を行っています。

問 24 孤立死を防止するには、どうしたらよいと思いますか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 日ごろから、家族が連絡を密にする |
| 2. 日ごろから、近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする |
| 3. 日ごろから、地域の民生委員児童委員が声かけをしたり、見守りをする |
| 4. どの家庭がひとり暮らしかを近隣の人たちが把握しておく |
| 5. 町内会や自治会、団地単位などで地域住民が高齢者の見守り活動をする（ごみ出しや安否確認など） |
| 6. 高齢者用住宅を整備する |
| 7. 自宅に緊急通報システムなどを設置する |
| 8. 行政が高齢者の生きがい対策を充実させる |
| 9. 生活についての相談窓口を充実させる |
| 10. その他（具体的に |

問 25 あなたは、今後も藤井寺市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

※今後の転居予定に関わらず、あなたのお気持ちをお答えください。

- | |
|-------------|
| 1. 住み続けたい |
| 2. 住み続けたくない |
| 3. どちらでもない |

[illegible]

令和2年3月20日（金）までに、郵便ポストにご投函ください。

藤井寺市地域福祉推進に関するアンケート調査

～ご協力のお願い～

皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

藤井寺市では、地域住民が支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉の実現を目指すため、令和元年度から令和2年度にかけて、「藤井寺市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査では、次期計画策定に先立ち地域福祉推進の評価を行いたいと考え、区長会や福祉委員、民生委員児童委員、ボランティア、PTA、福祉事業者などの藤井寺市の福祉や地域に関わる方からおおむね500人に調査をお願いしております。

調査は無記名であり、ご回答いただいた内容は統計的に処理します。個人の内容を公表するなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。また、本アンケートの他に市民アンケートも行っていますので、重複した際にはお手数ですが、そちらについてもご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

令和2年3月 藤井寺市



《ご記入にあたってのお願い》

- 1 封筒宛名のご本人様が令和2年2月1日現在でご記入ください。ご本人様が記入できない場合は、代理の方がご本人様の意思を尊重してご記入くださいますようお願いいたします。
- 2 設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 3 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、3月20日（金）までにご返送ください。

《問い合わせ先》

藤井寺市 福祉部 福祉総務課

電話：072-939-1417 FAX：072-939-0399



1. あなたや活動団体のことについて

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1) あなたの年齢をおうかがいします。(○は1つ)

1. 18~29 歲 2. 30~39 歲 3. 40~49 歲
4. 50~59 歲 5. 60~69 歲 6. 70 歲以上

(2) あなたがお住まいの小学校区はどこですか。わからない方は、〇〇町〇丁目などご記入ください。(〇は1つ)

1. 藤井寺小学校区 2. 藤井寺南小学校区 3. 藤井寺西小学校区
4. 藤井寺北小学校区 5. 道明寺小学校区 6. 道明寺東小学校区
7. 道明寺南小学校区 8. わからない⇒()町()丁目

(3) あなたは、現在の小学校区にお住まいになられて何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上 10 年未満 |
| 3. 10 年以上 20 年未満 | 4. 20 年以上 30 年未満 |
| 5. 30 年以上 | |

(4) 現在、あなたと福祉とのかかわりは、次のどれにあてはまりますか。また、そのかわりは何年くらいになりますか。(あてはまるものすべてに○をし、期間を記入)

1. 福祉の仕事をしている（ 年）
2. 町会・自治会、民生委員児童委員協議会、ブロック福祉委員会、PTA 等の地域団体の活動をしている（ 年）
3. ボランティアやNPO 活動をしている（ 年）

(4)で「2. 町会・自治会、民生委員児童委員協議会、ブロック福祉委員会、PTA等の地域団体の活動をしている」「3. ボランティアやNPO活動をしている」と回答した方に

(4-ア) 活動のきっかけはどのような理由からですか。(〇は2つまで)

1. 地域をより住みやすいものにしたいから
2. 社会や人のためになる活動がしたいから
3. 知識や技術を身につけたいから
4. 新たに友人や知人を得たいから
5. 自分の生きがいや健康管理に役立つから
6. 持ち回りの当番制となっていたから
7. 友人や知人に誘われたから
8. その他(具体的に

(4)で「2. 町会・自治会、民生委員児童委員協議会、ブロック福祉委員会、PTA等の地域団体の活動をしている」「3. ボランティアやNPO活動をしている」と回答した方に

(4-イ) あなたは、楽しく活動されていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 楽しく活動している | 2. どちらかという楽しく活動している |
| 3. どちらかという楽しく活動できていない | 4. 活動は楽しくない |

(5) 貴事業所・貴団体の活動範囲は、概ねどの程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 小学校区程度の範囲 | 2. 中学校区程度の範囲 |
| 3. 藤井寺市内全域 | 4. 藤井寺市内および市外 |

2. 地域や福祉に関する意識について

問1 あなたは、高齢者や子ども、障害のある人、その他のさまざまな社会的立場の弱い人々をとりまく地域の福祉課題に関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

問2 あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性についてどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. とても必要だと思う | 2. ある程度必要だと思う |
| 3. あまり必要だとは思わない | 4. まったく必要だとは思わない |

問2-ア 問2の答えは、以前と比べて(約5年前と比べて)どのように変化したと感じますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. どちらかというより必要だと思うようになった |
| 2. どちらかというより必要だとは思わなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問3 あなたやご家族が日常生活で介助や支援が必要になった場合、近所の人などから手助けしてもらうことについてどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 是非お願いしたい | 2. 少し抵抗感があるがお願いしたい |
| 3. あまり手助けしてほしいとは思わない | 4. 手助けは必要ない |

問4 あなたは、日頃、一人ひとりの人権を尊重することについて、意識して活動していますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. いつも意識している | 2. 時々意識する |
| 3. あまり意識する機会がない | 4. 意識したことがない |

問5 あなたは、民生委員児童委員の役割をご存知ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない |

問6 あなたは、福祉の総合相談員であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が藤井寺市社会福祉協議会に配置されていることをご存知ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」とは

地域において支援を必要とする人々の生活圏や人間関係などを重視した援助を行ったり、地域を基盤とする支援活動を発見して、支援を必要とする人に結びつけるなど、必要に応じて行政や各種団体と連携・協働しながら解決を図るなどの活動を行う人のことです。藤井寺市では、藤井寺市社会福祉協議会(市社協)に配置しています。

問7 あなたは、福祉の相談窓口や福祉サービス情報などの必要な情報は、十分入手できていますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分入手できている | 2. ある程度入手できている |
| 3. ほとんど入手できていない | 4. まったく入手できていない |

問7ーア 問7の答えは、以前と比べて(約5年前と比べて)どのように変化したと感じますか。
(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1. どちらかというより入手しやすくなった |
| 2. どちらかというより入手しにくくなった |
| 3. 特に変化はない |

問8 福祉サービスに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 市役所（窓口、ホームページ等） | |
| 2. 社会福祉協議会（窓口、ホームページ、地域包括支援センター） | |
| 3. 社会福祉協議会以外の福祉サービス事業所や医療機関 | |
| 4. ボランティア・NPOなどの所属している団体や組織 | |
| 5. 行政が行う研修会 | |
| 6. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | |
| 7. インターネットやSNS | |
| 8. その他（具体的に | ） |
| 9. 福祉（サービス）に関する情報が入ってこない | |

3. 地域や福祉に関する行動について

問9 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどに参加したことがありますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. よく参加している | 2. 時々参加している |
| 3. あまり参加したことがない | 4. まったく参加したことがない |

問9ーア 問9の答えは、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（〇は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1. どちらかというより参加するようになった |
| 2. どちらかというより参加しなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問10 あなたは、地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会（ワークショップ等）に参加したことがありますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. よく参加している | 2. 時々参加している |
| 3. あまり参加したことがない | 4. まったく参加したことがない |

問11 あなたは、ご自分の所属以外の福祉活動団体やグループとの交流、福祉施設の見学などに参加したことがありますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. よく参加している | 2. 時々参加している |
| 3. あまり参加したことがない | 4. まったく参加したことがない |

問 12 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座などを生かす機会（講師として小学校などの福祉教育に参加するなど）がありますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 多くある | 2. 時々ある |
| 3. あまりない | 4. まったくない |

問 13 あなたは、地域の人たちに対して、福祉活動にさそったり、情報を知らせたりすることがありますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. よくしている | 2. 時々している |
| 3. あまりしたことがない | 4. まったくしたことがない |

問 14 あなたは、地域の人の困りごとなどを解決するために、福祉の関係者及び関係機関と連携したことはありますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 日頃連携している | 2. 時々連携している |
| 3. あまり連携したことがない | 4. まったく連携したことがない |

問 14-ア 問 14 の答えは、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1. どちらかというより連携するようになった |
| 2. どちらかというより連携しなくなった |
| 3. 特に変化はない |

4. 地域力について

問 15 あなたの地域の人の、つきあいの程度はどのようなものですか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 近所の仲の良い人とよく行き来している | 2. 会えば親しく話をする人がいる |
| 3. あいさつ程度がほとんど | 4. 近所づきあいをほとんどしていない |

問 16 あなたは、「自分のまち」と感じる地域にどの程度の愛着をもっていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 大変愛着を感じている | 2. どちらかという愛着を感じている |
| 3. どちらかという愛着を感じていない | 4. まったく愛着を感じていない |

問 17 あなたは、地域における活動や行事について、他の地域に比べて活発に活動していると感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 大変活発に活動している | 2. どちらかという活発に活動している |
| 3. どちらかという活発ではない | 4. まったく活発ではない |

問 17ーア 問 17 の答えは、以前と比べて（約 5 年前と比べて）どのように変化したと感じますか。

（○は 1 つ）

- | |
|----------------------|
| 1. どちらかというより活発になった |
| 2. どちらかというより活発でなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問 18 あなたは、お住まいの地域の住民活動などにおいて、住民相互のまとまり具合をどのように感じていますか。（○は 1 つ）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 大変まとまりがある | 2. どちらかというまとまりがある |
| 3. どちらかというまとまりはない | 4. まったくまとまりがない |

5. 行政や社会福祉協議会、福祉事業者などの地域福祉を支えるしくみについて

問 19 あなたは、地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（○は 1 つ）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. よい関係ができています | 2. どちらかというよい関係ができています |
| 3. どちらかというよい関係ができていない | 4. よい関係ができていない |

問 19ーア 地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、以前と比べて（約 5 年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は 1 つ）

- | |
|-------------------------|
| 1. どちらかというよりよい関係になった |
| 2. どちらかというあまりよい関係でなくなった |
| 3. 特に変化はない |

問 20 あなたは、藤井寺市地域福祉計画の目標である「誰もが安心して、いきいきと暮らせるまちづくり」について、どのように感じていますか。（○は 1 つ）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. より身近に感じられる | 2. どちらかという身近に感じられる |
| 3. どちらかという身近には感じられない | 4. まったく身近には感じられない |

問 21 あなたは、社会福祉協議会の活動により、地域の福祉課題に対する住民同士の協力関係やまとまりが強まったと感じていますか。（○は 1 つ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 大変強まっている | 2. どちらかという強まっている |
| 3. どちらかという強まっていない | 4. ほとんど強まっていない |

問 22 あなたは、福祉施設やサービス提供事業者、企業等の社会貢献や地域貢献についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 貢献しているところが多い | 2. 貢献しているところもある |
| 3. あまり貢献していない | 4. ほとんど貢献していない |

「社会貢献や地域貢献」とは

業務として提供しているサービスを除き、例えば地域行事への協力、施設開放、人材派遣、学習会の開催など、制度に定まっていない自主事業や活動のことです。

問 23 あなたは、孤立死について見聞きしたことがありますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------|
| 1. 見聞きしたことがある |
| 2. 見聞きしたことはない |

「孤立死」とは

孤立死は、人とつながることができずに、社会的に孤立することにより生活がしにくくなり、誰にもみとられることなく亡くなることをいいます。孤立死を防止するには、日常のつながりが課題となります。現在、藤井寺市では、市社協と福祉総務課で孤立死防止対策事業を行っています。

問 24 孤立死を防止するには、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 日ごろから、家族が連絡を密にする |
| 2. 日ごろから、近所の人たちが声かけをしたり、見守りをする |
| 3. 日ごろから、地域の民生委員児童委員が声かけをしたり、見守りをする |
| 4. どの家庭がひとり暮らしかを近隣の人たちが把握しておく |
| 5. 町内会や自治会、団地単位などで地域住民が高齢者の見守り活動をする(ごみ出しや安否確認など) |
| 6. 高齢者用住宅を整備する |
| 7. 自宅に緊急通報システムなどを設置する |
| 8. 行政が高齢者の生きがい対策を充実させる |
| 9. 生活についての相談窓口を充実させる |
| 10. その他(具体的に) |

問 25 地域で活動する中で、あなたが住民の福祉に関する課題と感じていることがありますか。

(○はいくつでも)

1. 保健・福祉サービスについて住民に知られていない
2. 高齢者世帯（ひとり暮らしや夫婦のみなど）やその他支援を必要とする人の住所などの情報が得にくい
3. 児童や高齢者などの虐待が疑われる家庭があっても、どのように対応していいのかわからない
4. 障害のある人に対する接し方など、障害の種類や程度に応じた対応ができるよう、知識や技術を身につけたい
5. 大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある
6. 地域で子どもが安全に遊べる場所が少ない
7. 子どもの食生活が乱れている
8. 障害のある人との交流の機会が少ない
9. 障害のある人や高齢者が憩える場が少ない
10. 地域コミュニティが希薄化している
11. 支援をボランティアで行うかどうかの判断が難しい
12. 他の団体やグループとの情報交換など交流する機会が乏しい
13. その他（具体的に
14. 特になし

問 26 地域住民が安心して暮らせるようにするために、必要だと思うことは何ですか。

(○はいくつでも)

1. ボランティア活動などへの参加の促進や支援
2. 住民が共に支え合うしくみづくりへの支援（住民同士や行政との協力・連絡など、助け合う組織）
3. 身近なところでの相談窓口の充実
4. 高齢者や障害のある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実
5. 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実
6. 健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実
7. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
8. サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み
9. 福祉教育の充実
10. 高齢者、障害のある人の福祉施設の整備
11. 保育サービスや児童福祉施設の充実
12. 低所得者の自立支援
13. その他（具体的に

問 27 あなたは、今後も藤井寺市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

※今後の転居予定に関わらず、あなたのお気持ちをお答えください。

- | |
|---|
| <p>1. 住み続けたい</p> <p>2. 住み続けたくない</p> <p>3. どちらでもない</p> |
|---|

■最後に、次のような項目について、ご意見やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

★地域での福祉活動を活発にするために

★地域で福祉活動を行う人を増やすために

★福祉に関する研修や学習機会、内容等に関して

調査は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票を返信用封筒に入れ、

令和2年3月20日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。